まちづくり調査　結果報告書

令和８年11月

小　牧　市

目　次

Ⅰ　調査の概要 1
　１　調査の目的 1
　２　調査対象 1
　３　調査期間 1
　４　調査方法 1
　５　回収状況 1
　６　調査結果の表示方法 1
　７　アンケート調査における標本誤差 2
Ⅱ　調査結果 3
　問１　あなたの性別は、次のどれにあたりますか。（○は１つだけ） 3
　問２　あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。（○は１つだけ） 3
　問３　あなたの職業は、次のどれにあたりますか。なお、兼業の方は、主な職業を次の中から１つだけ選んでください。（○は１つだけ） 3
　問４　あなたのお住まいの小学校区は、次のどれにあたりますか。（○は１つだけ） 4
　問５　あなたが市外から小牧市へ転入した理由は、次のどれにあたりますか。（○は１つだけ） 4
　問６　（市外から小牧市へ転入した方のみ）あなたが小牧市へ転入したのはいつ頃ですか。（○は１つだけ） 5
　問７　あなたは、小牧市にお住まいになって、通算で何年になりますか。（○は１つだけ） 5
　問８　（お勤めの方のみ）あなたの通勤時間（片道）はどれくらいですか。（○は１つだけ） 5
　問９　現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。（○は１つだけ） 6
　問 10　現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を 10 点、「とても不満」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。（○は１つだけ） 7
　問 11　あなたの町内の人々は、大体において、どれぐらい幸せだと思いますか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。ここでは自分の同居家族は除いて考えてください。（○は１つだけ） 8
　問 12　自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思いますか。（○は１つだけ） 10
　問 13　あなたは、総合的にみて小牧市は住みやすいまちだと思いますか。（○は１つだけ） 11
　問 14　あなたは、今後も小牧市で暮らしたいと思いますか。（○は１つだけ） 14
　問 15　『小牧市』について連想される事柄やイメージについて自由にお書きください。（できるだけ詳しく文章でご記入ください） 16
　問 16　知りたい情報があるとき、あなたは何を見ますか？（○は２つまで） 17
　問 17　小牧市に定住・移住してもらうために、市ができる取組のアイデアをお寄せください。 18
　問 18　あなたの楽しみ、生きがいについて教えてください。 19
　問 19　小牧市が行う、各施策の満足度は次のどれにあたりますか。（基本施策ごとに、あてはまる数字に１つだけ○） 20
　「防災・減災」 21
　「交通安全・防犯」 22

「消防・救急」..... 23
「ごみ・資源・エネルギー」..... 24
「自然・生活環境」..... 25
「健康・予防」..... 26
「地域福祉」..... 27
「介護・高齢者福祉」..... 28
「障がい者（児）福祉」..... 29
「医療保険・地域医療」..... 30
「学校教育」..... 31
「出会い・結婚・子育て支援」..... 32
「幼児教育・保育」..... 33
「スポーツ」..... 34
「文化・芸術」..... 35
「生涯学習」..... 36
「男女共同参画」..... 37
「多文化共生」..... 38
「シティプロモーション」..... 39
「農業」..... 40
「商工業」..... 41
「歴史・文化財」..... 42
「市街地整備」..... 43
「都市交通」..... 44
「道路・橋りょう」..... 45
「上下水道」..... 46
「河川・水路」..... 47
「公園・緑地・緑道」..... 48
「住宅・居住」..... 49
「協働・情報共有」..... 50
「行政サービス」..... 51
「行政運営」..... 52
「財政運営」..... 53
問 53　小牧市のまちづくりについて、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。 .. 54

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

市民の行政に対する意見や要望を幅広く把握し、小牧市まちづくり推進計画を策定する上での基礎資料とすることを目的に調査を実施しました。

2　調査対象

本市に住民登録している満 18 歳以上の市民の中から、無作為抽出した 5,000 人

3　調査期間

令和８（2026）年５月 25 日（月）～６月 11 日（木）

4　調査方法

郵送による調査票の配布、郵送及びＷＥＢ（インターネット）による回収

5　回収状況

配布数	回収数	回収率
5,000件	1,477件	29.5%

6　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・回答者数が１桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が１桁の場合は、コメントを差し控えています。

7　アンケート調査における標本誤差

アンケート調査を行う場合、全母集団を対象とすることが望ましいですが、実際には適切な数の標本を抽出して調査を行うことになります。そのため、アンケートの回答結果が、どの程度の精度を持った回答結果であるのかを検討することが必要となります。その精度は、以下の式で表される標本誤差を算出することで把握できます。

$$b = k \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

ｂ＝標本誤差、Ｎ＝母集団数、ｎ＝回答者数、Ｐ＝回答の比率、ｋ＝信頼度による定数。ｋは信頼度の設定により変わり、信頼度 95%の場合、ｋ＝1.96 となります。信頼度 95%とは、100 回に 5 回がその標本誤差の範囲内におさまらないという意味であり、通常のアンケートでは信頼度として 95%がとられるケースが多いとされています。

以下の表に本調査における信頼度 95%の場合の標本誤差の早見表を整理します。

回答比率 / 回答者数	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
1,477	±1.52%	±2.03%	±2.32%	±2.48%	±2.54%
1,200	±1.69%	±2.25%	±2.58%	±2.76%	±2.82%
1,000	±1.86%	±2.47%	±2.83%	±3.02%	±3.09%
800	±2.07%	±2.76%	±3.17%	±3.38%	±3.45%

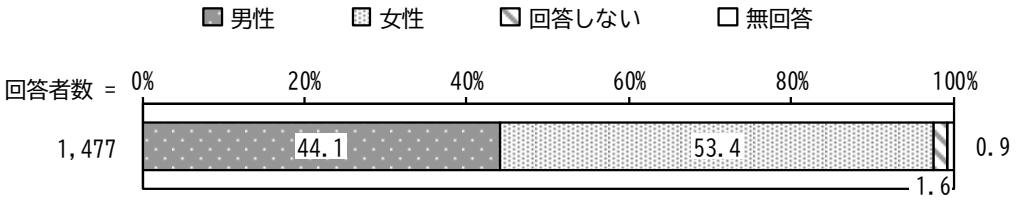
※母集団数：126,685 人（令和８年５月１日現在の満 18 歳以上の市民）

この表の見方は、例えば、「設問の回答数が 1,477 票あり、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.48%以内（57.52%～62.48%）である」とみることができます。

Ⅱ　調査結果

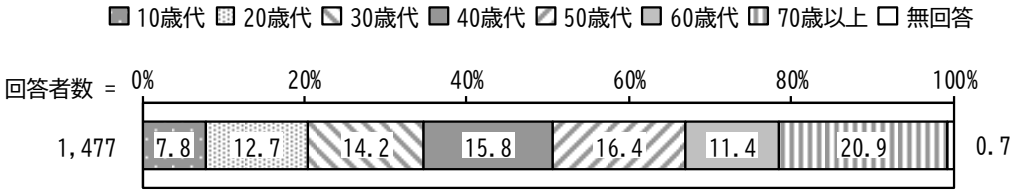
問１　あなたの性別は、次のどれにあたりますか。（○は１つだけ）

「男性」の割合が 44.1%、「女性」の割合が 53.4%となっています。



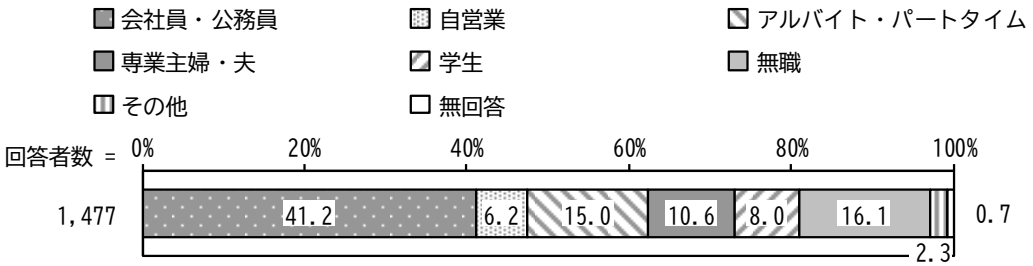
問２　あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。（○は１つだけ）

「70 歳以上」の割合が 20.9%と最も高く、次いで「50 歳代」の割合が 16.4%、「40 歳代」の割合が 15.8%となっています。



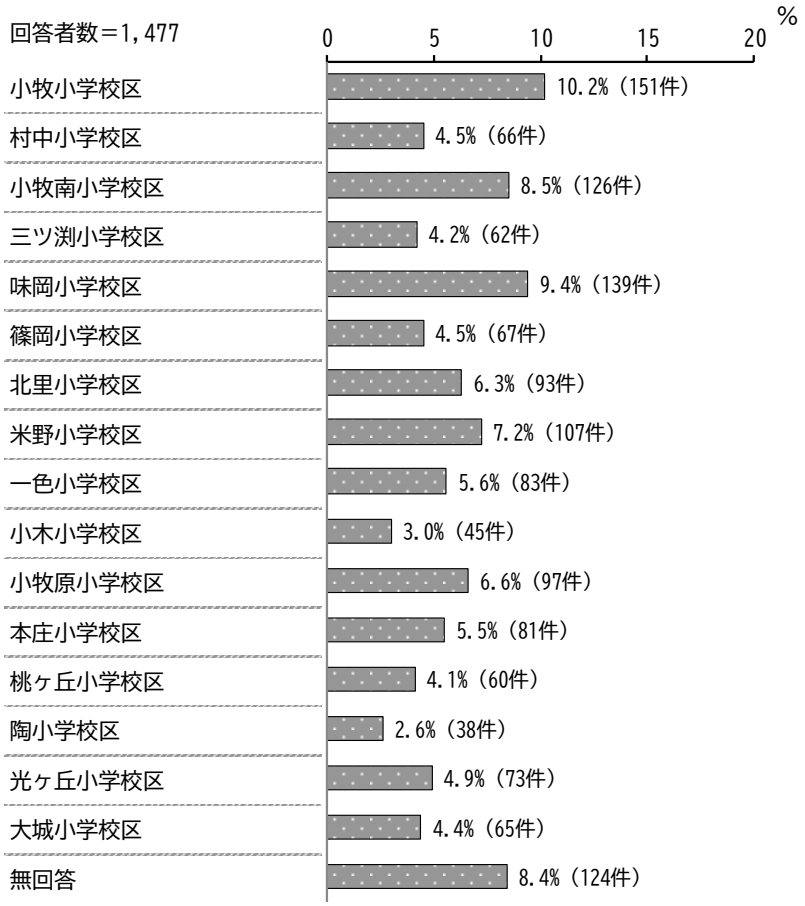
問３　あなたの職業は、次のどれにあたりますか。なお、兼業の方は、主な職業を次の中から１つだけ選んでください。（○は１つだけ）

「会社員・公務員」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「無職」の割合が 16.1%、「アルバイト・パートタイム」の割合が 15.0%となっています。



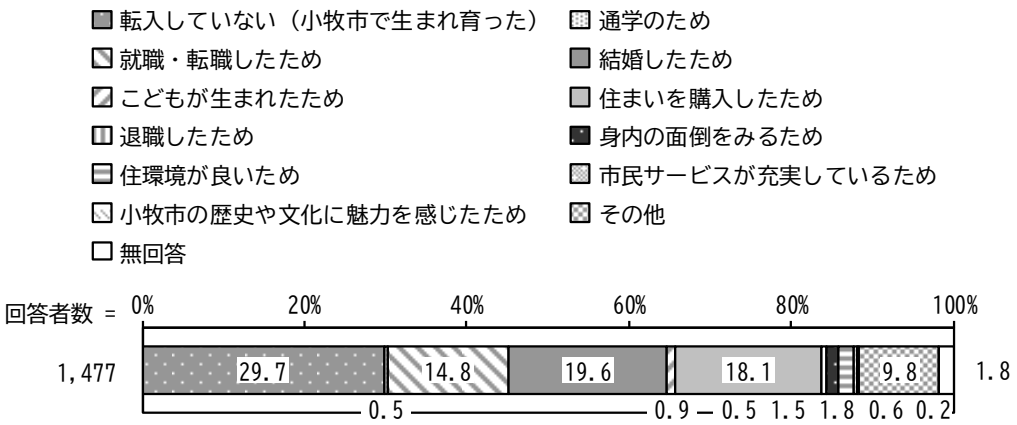
問４　あなたのお住まいの小学校区は、次のどれにあたりますか。（○は１つだけ）

「小牧小学校区」の割合が 10.2%と最も高くなっています。



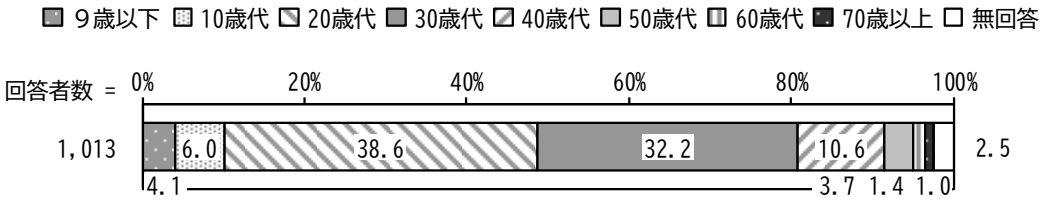
問５　あなたが市外から小牧市へ転入した理由は、次のどれにあたりますか。（○は１つだけ）

「転入していない（小牧市で生まれ育った）」の割合が 29.7%と最も高く、次いで「結婚したため」の割合が 19.6%、「住まいを購入したため」の割合が 18.1%となっています。



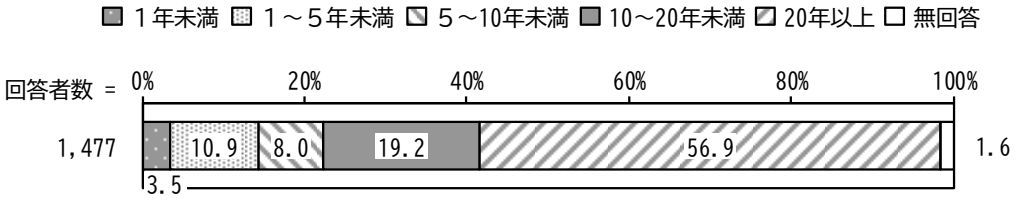
問６　（市外から小牧市へ転入した方のみ）あなたが小牧市へ転入したのはいつ頃ですか。（○は１つだけ）

「20 歳代」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「30 歳代」の割合が 32.2%、「40 歳代」の割合が 10.6%となっています。



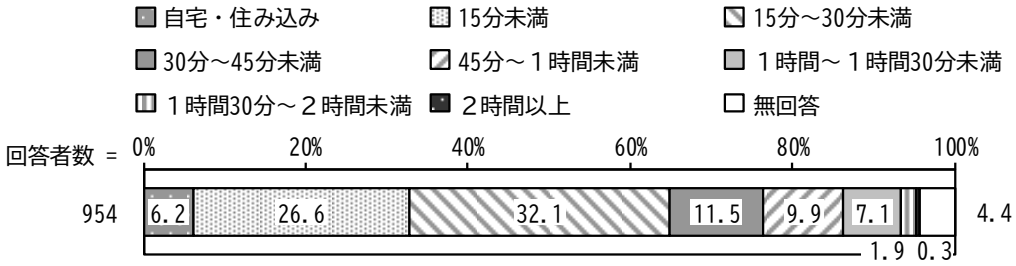
問７　あなたは、小牧市にお住まいになって、通算で何年になりますか。（○は１つだけ）

「20 年以上」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「10～20 年未満」の割合が 19.2%、「１～５年未満」の割合が 10.9%となっています。



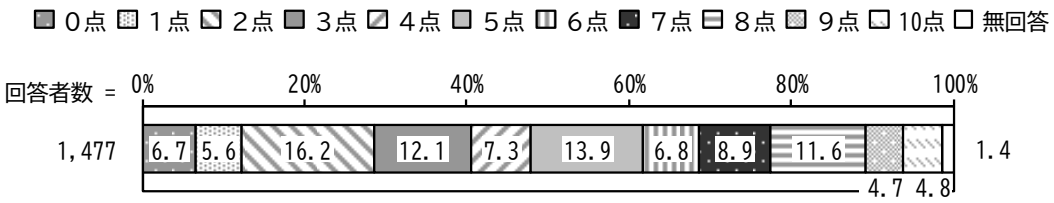
問８　（お勤めの方のみ）あなたの通勤時間（片道）はどれくらいですか。（○は１つだけ）

「15 分～30 分未満」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「15 分未満」の割合が 26.6%、「30 分～45 分未満」の割合が 11.5%となっています。



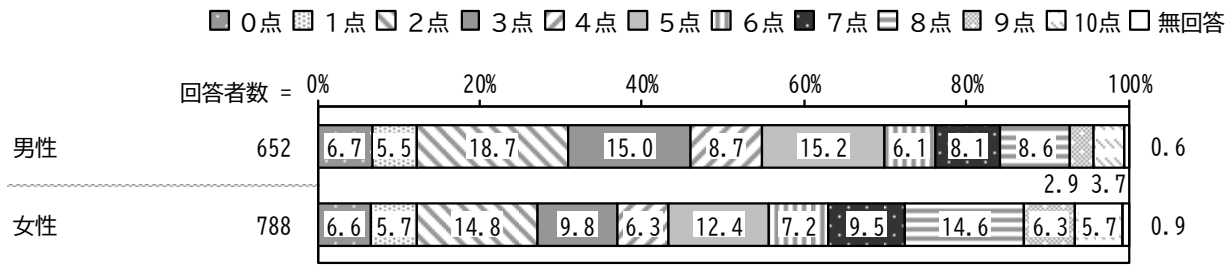
問９　現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。（○は１つだけ）

「２点」の割合が 16.2%と最も高く、次いで「５点」の割合が 13.9%、「３点」の割合が 12.1%となっています。



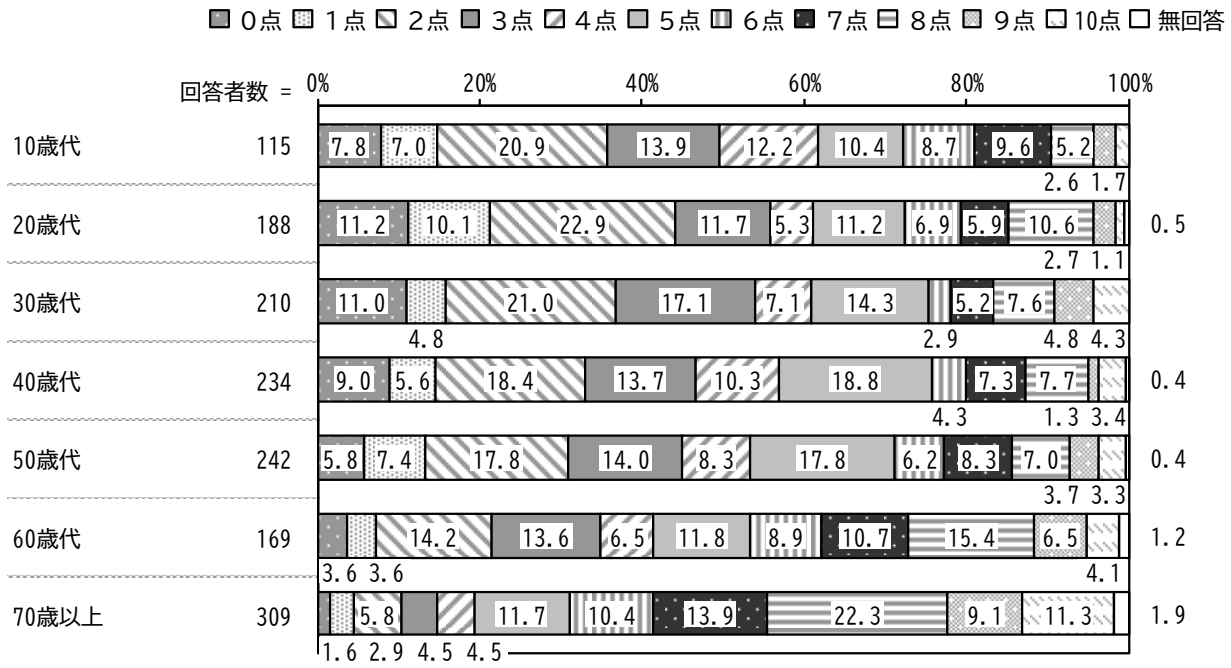
【性別】

性別でみると、男性・女性ともに「２点」の割合が高くなっています。



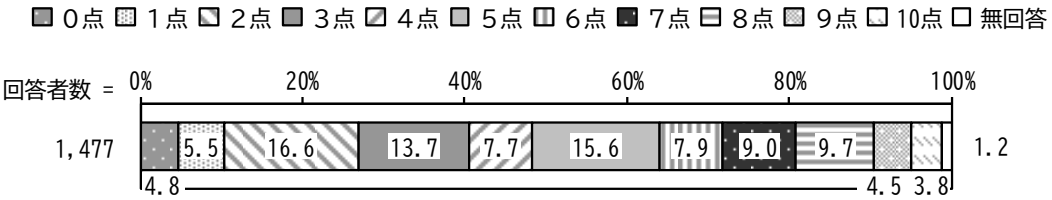
【年齢別】

年齢別にみると、70 歳以上から 20 歳代まで年齢が下がるほど「２点」の割合が高く、30 歳代から 70 歳以上まで年齢が上がるほど「７点」の割合が高く、「０点」の割合が低くなっています。また、70 歳以上で「８点」の割合が高くなっています。



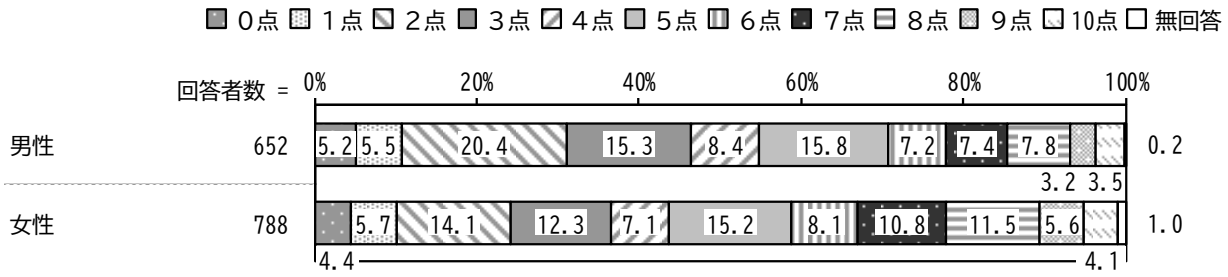
問 10　現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を 10 点、「とても不満」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。（○は１つだけ）

「２点」の割合が 16.6%と最も高く、次いで「５点」の割合が 15.6%、「３点」の割合が 13.7%となっています。



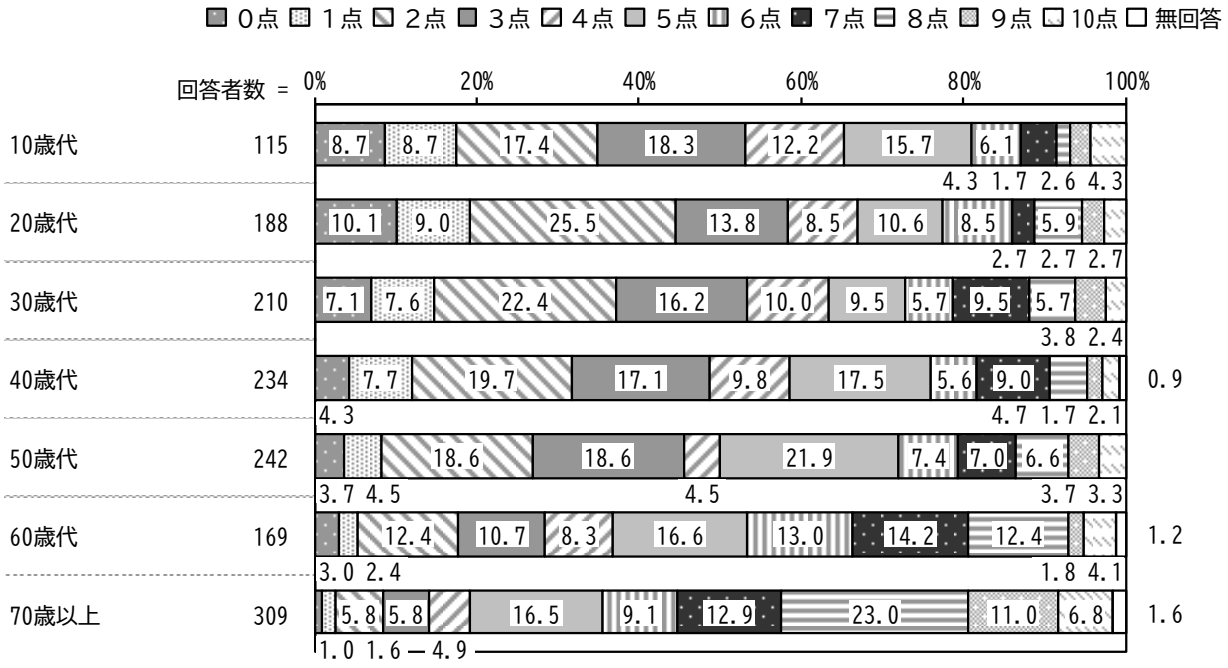
【性別】

性別でみると、男性で「２点」の割合が高くなっています。女性では「５点」の割合が高くなっています。



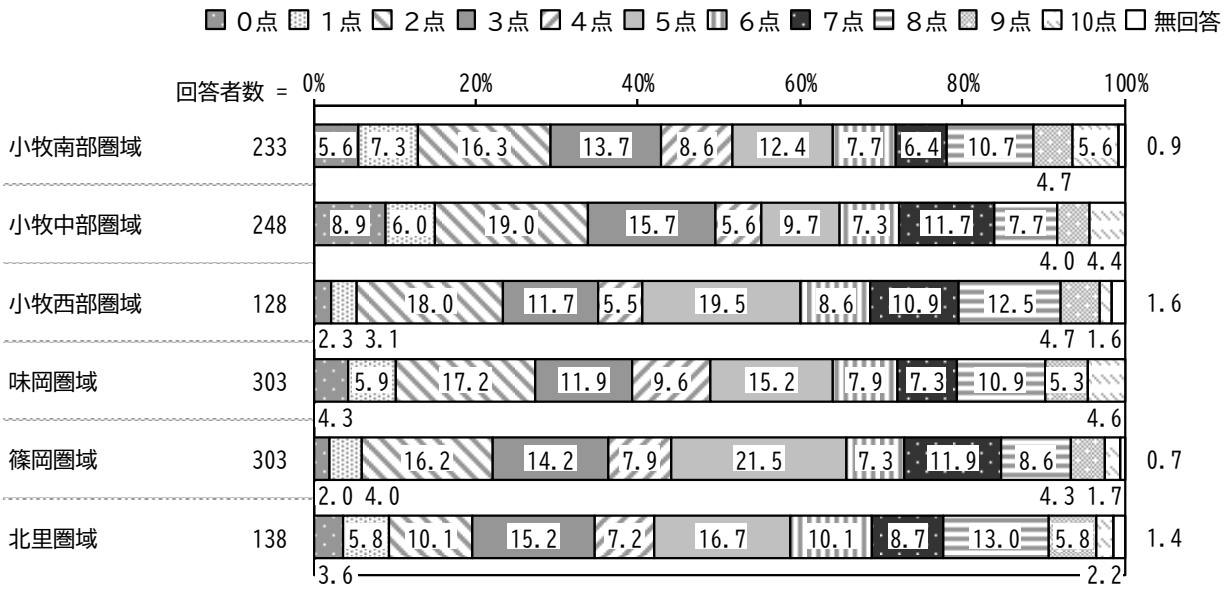
【年齢別】

年齢別にみると、70 歳以上から 20 歳代まで年齢が下がるほど「２点」の割合が高く、40 歳代から 70 歳以上まで年齢が上がるほど「８点」の割合が高くなっています。



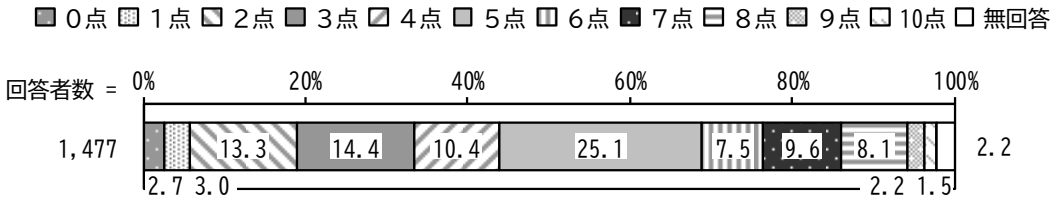
【地区別】

地区別にみると、篠岡圏域で「５点」の割合が高く、北里圏域で「２点」の割合が低くなっています。



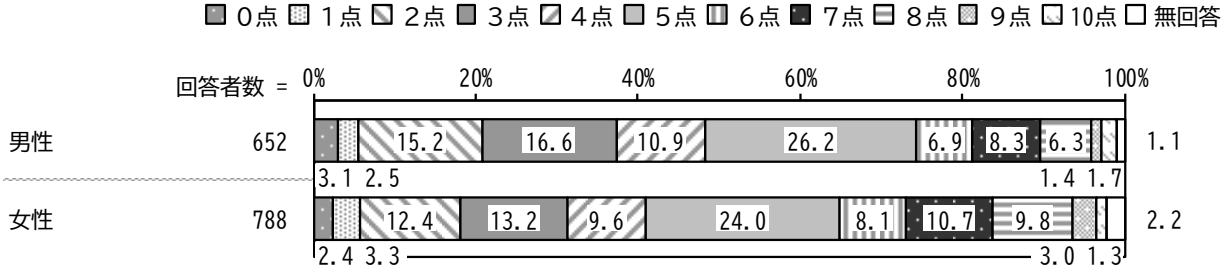
問 11　あなたの町内の人々は、大体において、どれぐらい幸せだと思いますか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。ここでは自分の同居家族は除いて考えてください。（○は１つだけ）

「５点」の割合が 25.1%と最も高く、次いで「３点」の割合が 14.4%、「２点」の割合が 13.3%となっています。



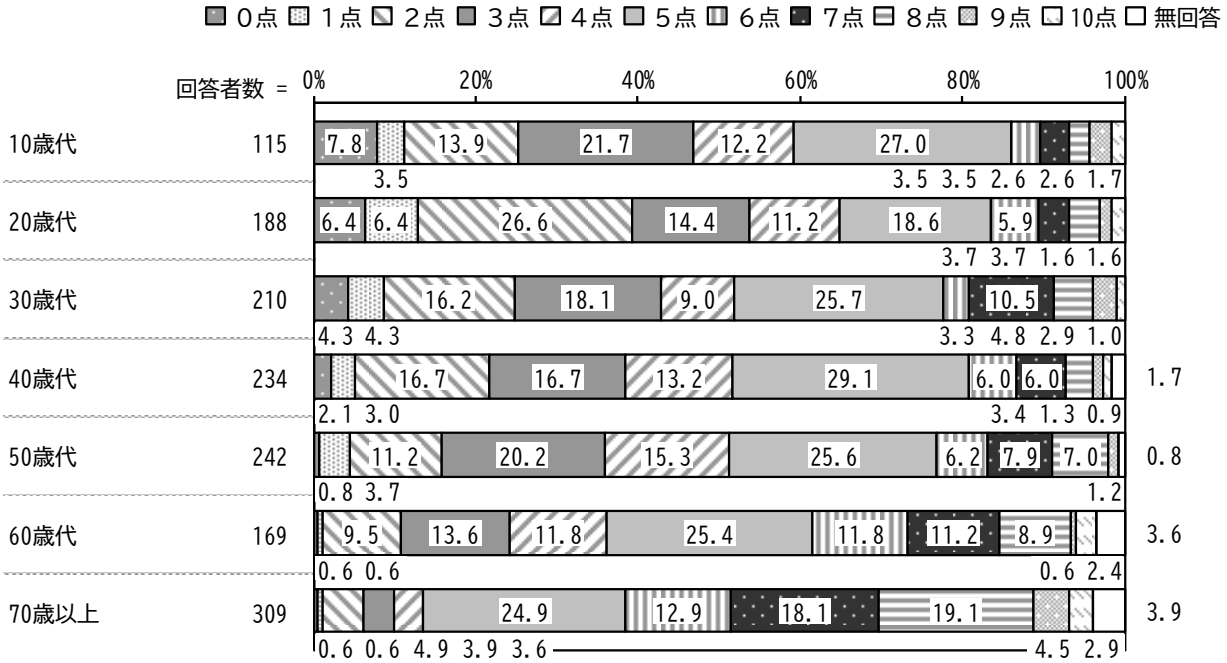
【性別】

性別でみると、男性・女性ともに「５点」の割合が高くなっています。



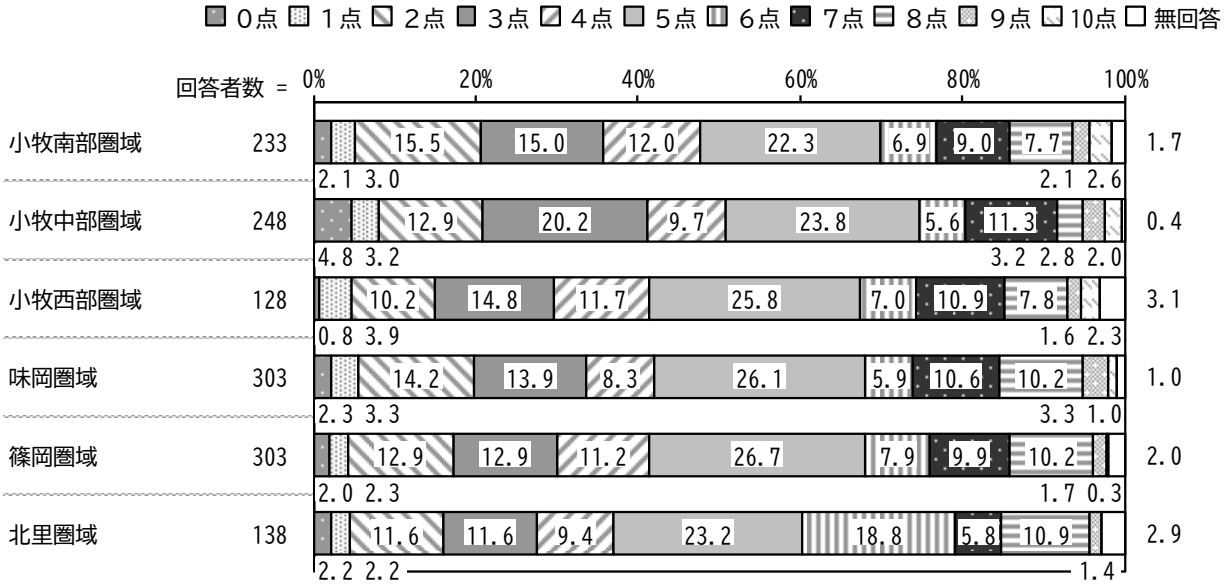
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「８点」の割合が高い傾向にあり、70 歳以上から 20 歳代まで年齢が下がるほど「２点」の割合が高い傾向にあります。また、70 歳以上で「３点」の割合が低くなっています。



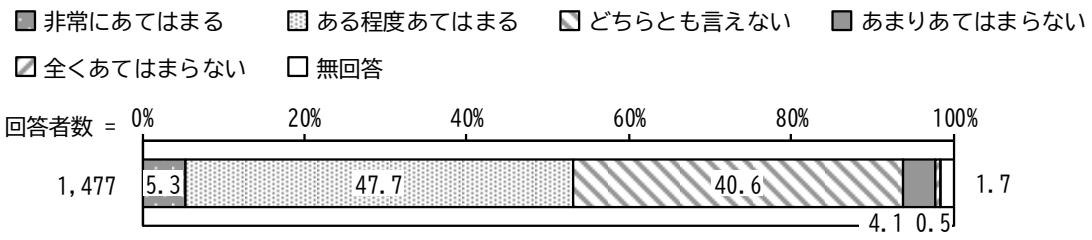
【地区別】

地区別にみると、小牧中部圏域で「３点」、北里圏域で「６点」の割合が高くなっています。



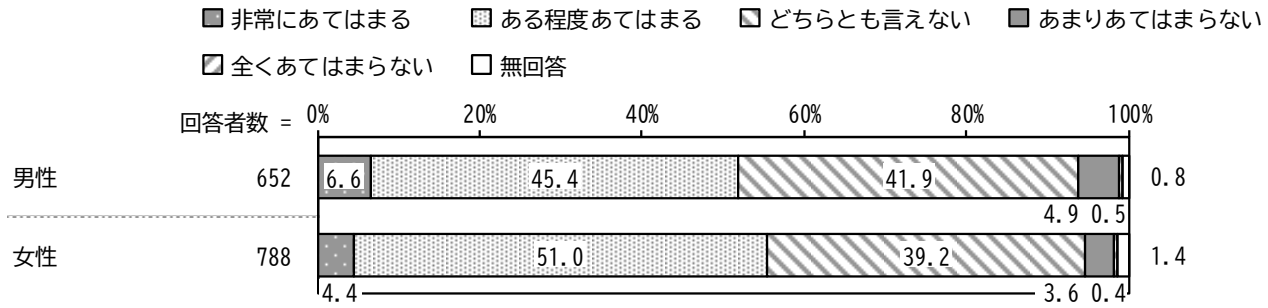
問 12　自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思いますか。（○は１つだけ）

「非常にあてはまる」「ある程度あてはまる」を合わせた“あてはまる”の割合が 53.0%、「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」を合わせた“あてはまらない”の割合が 4.6%となっています。



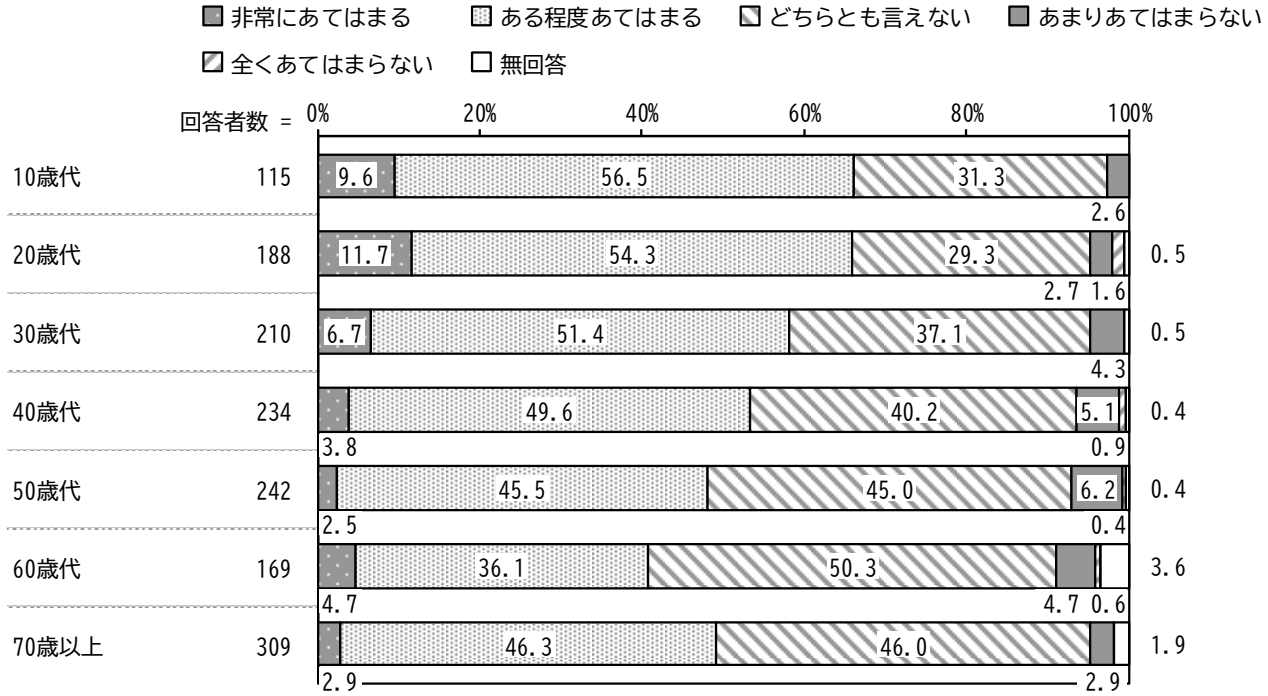
【性別】

性別にみると、女性で「ある程度あてはまる」の割合が高くなっています。



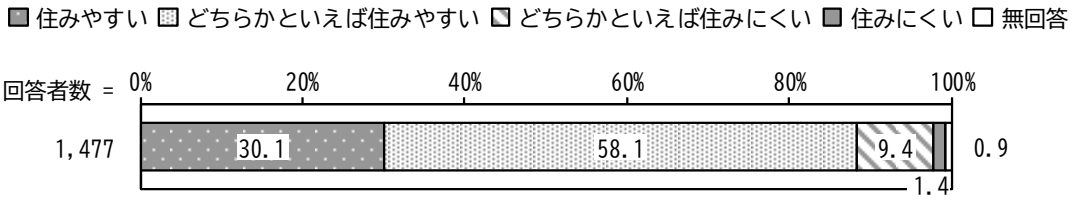
【年齢別】

年齢別にみると、60 歳代から 10 歳代まで年齢が下がるほど“あてはまる”の割合が高くなっています。また、60 歳代で「ある程度あてはまる」、20 歳代で「どちらとも言えない」の割合が低くなっています。



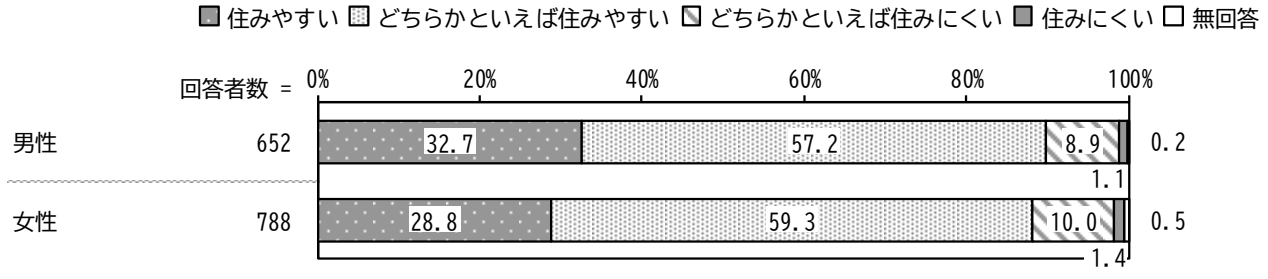
問 13　あなたは、総合的にみて小牧市は住みやすいまちだと思いますか。（○は１つだけ）

「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”の割合が 88.2%、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を合わせた“住みにくい”の割合が 10.8%となっています。



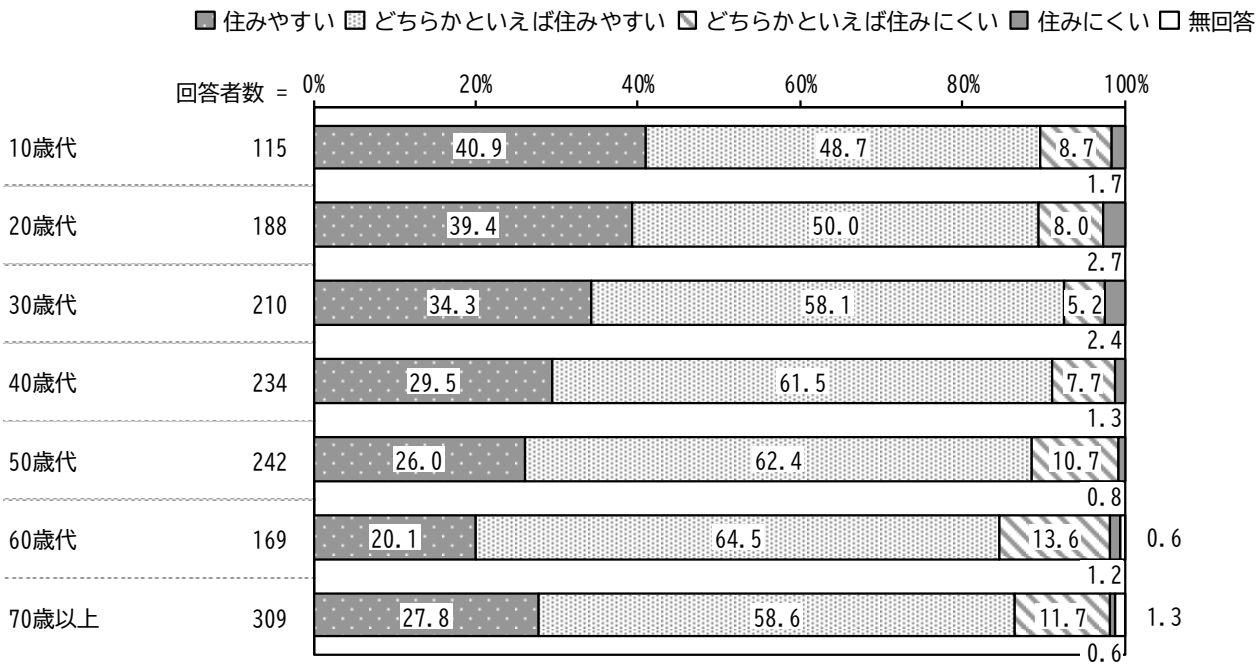
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



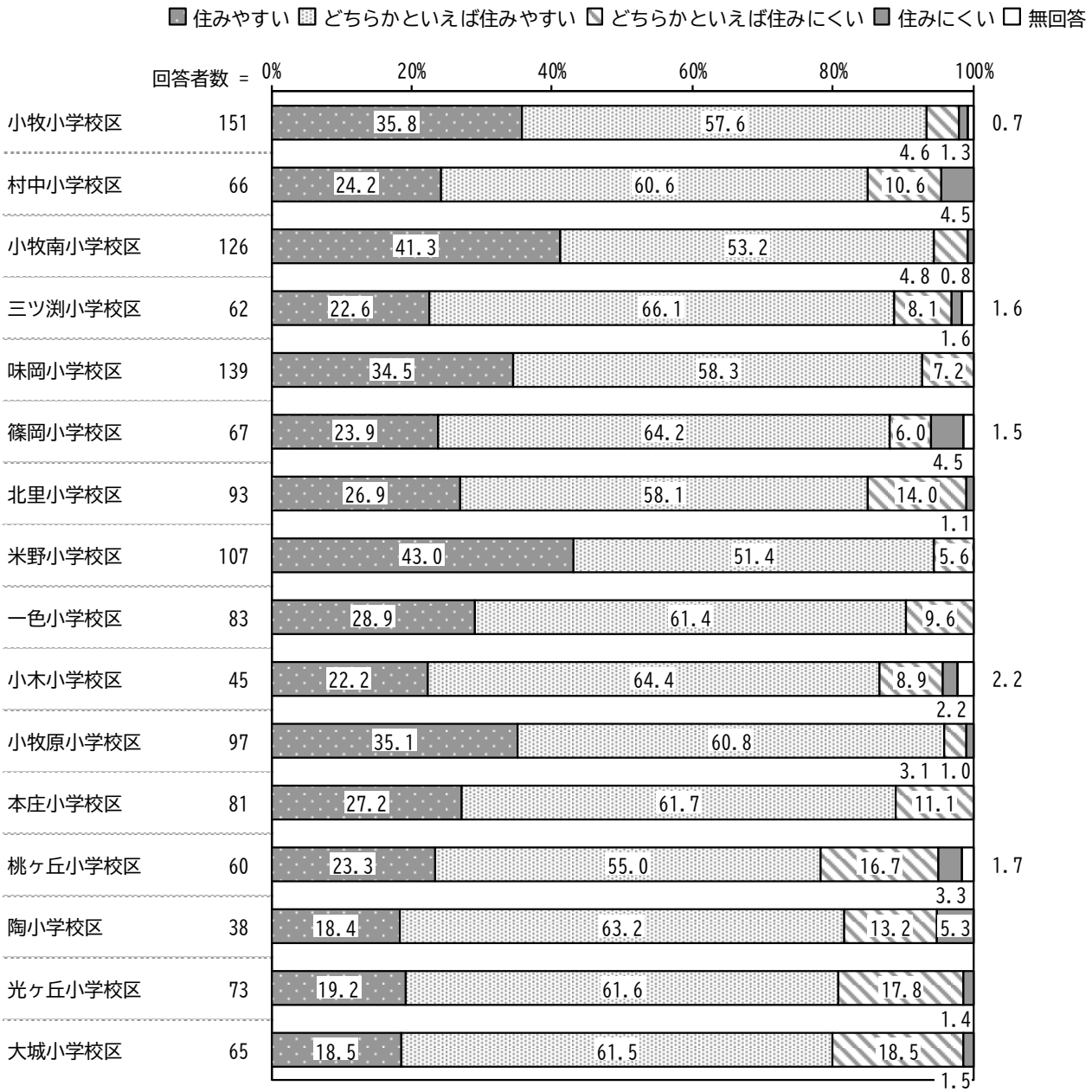
【年齢別】

年齢別にみると、30 歳代から 60 歳代まで年齢が上がるほど“住みにくい”の割合が高くなっています。また、10 歳代で「住みやすい」の割合が高くなっています。



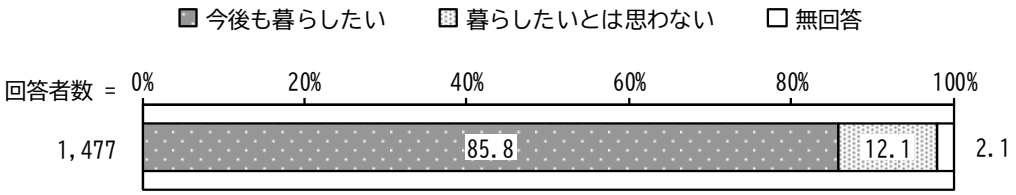
【校区別】

校区別にみると、小牧小学校区、小牧南小学校区、米野小学校区、小牧原小学校区で“住みやすい”、桃ヶ丘小学校区、陶小学校区、光ヶ丘小学校区、大城小学校区で“住みにくい”の割合が高くなっています。



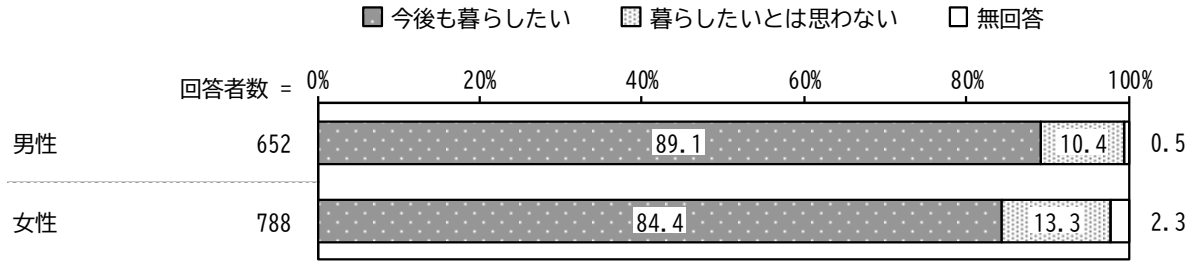
問 14　あなたは、今後も小牧市で暮らしたいと思いますか。（○は１つだけ）

「今後も暮らしたい」の割合が 85.8%、「暮らしたいとは思わない」の割合が 12.1%となっています。



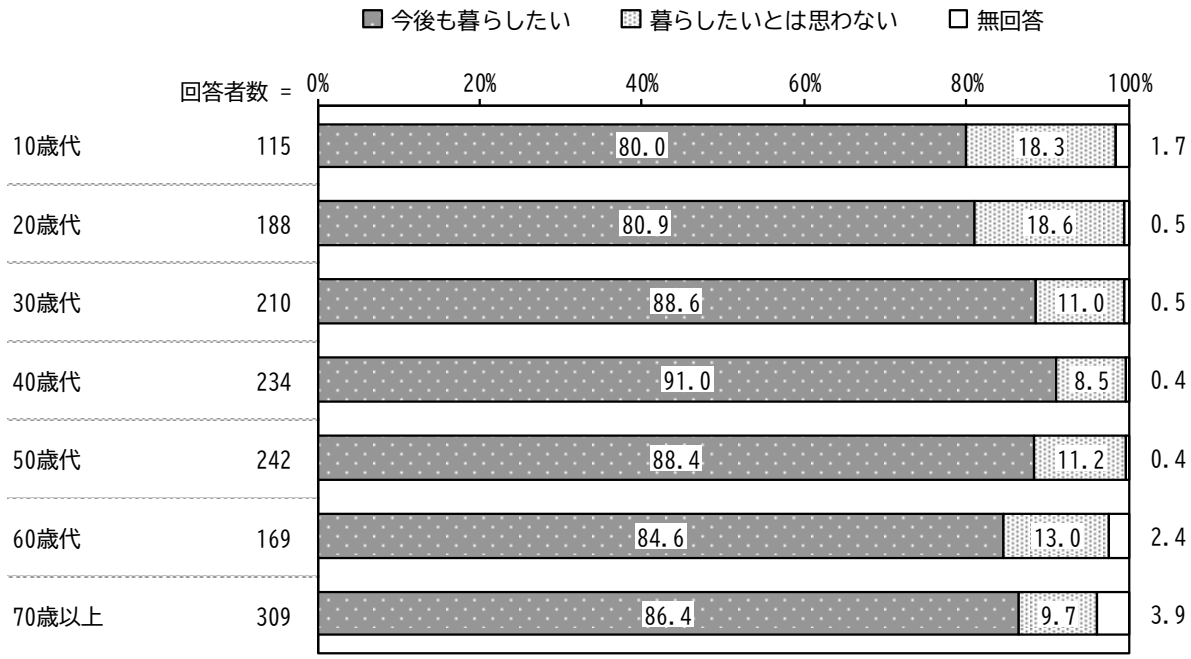
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



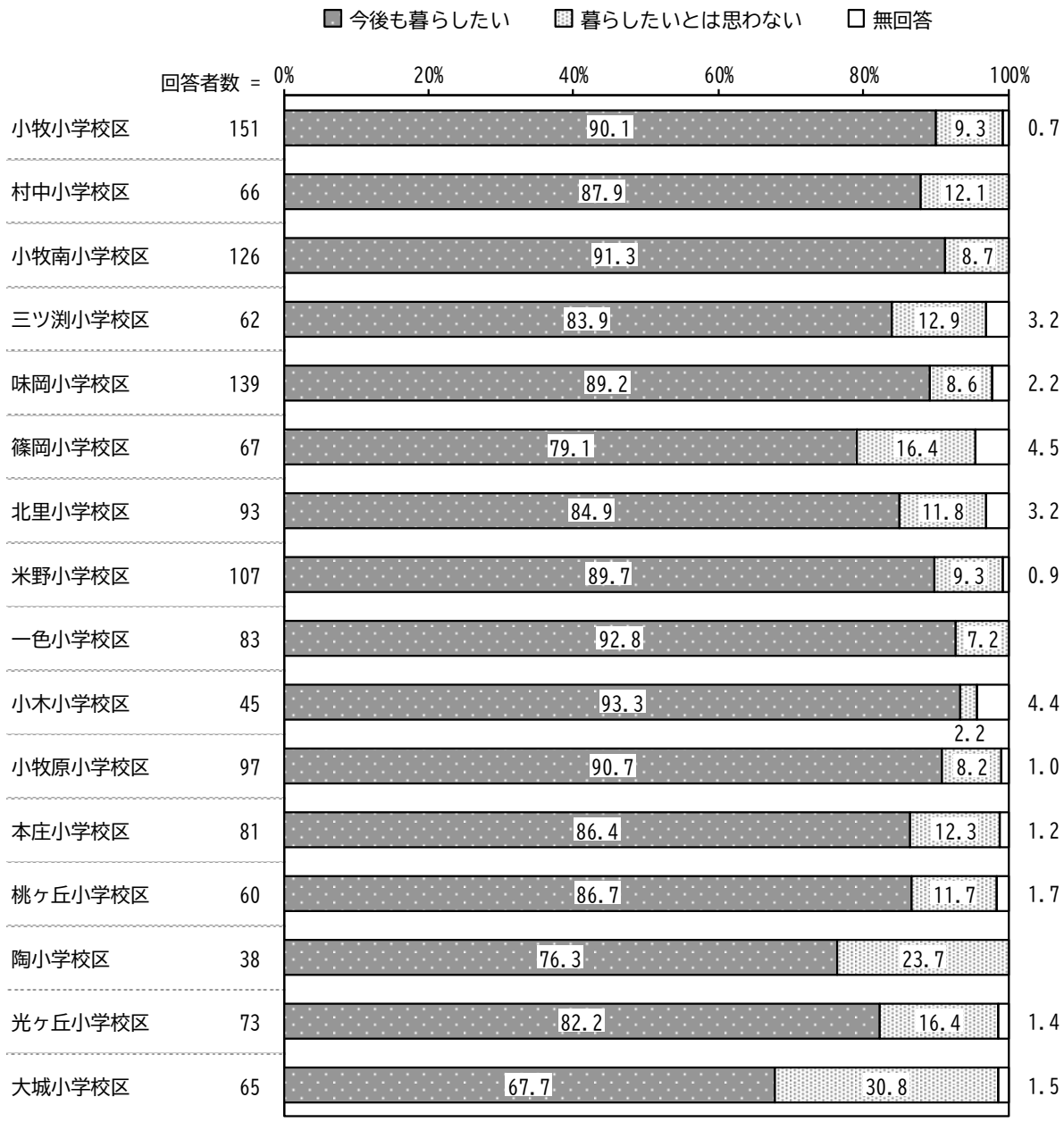
【年齢別】

年齢別にみると、10 歳代から 40 歳代まで年齢が上がるほど「今後も暮らしたい」の割合が高くなっています。



【校区別】

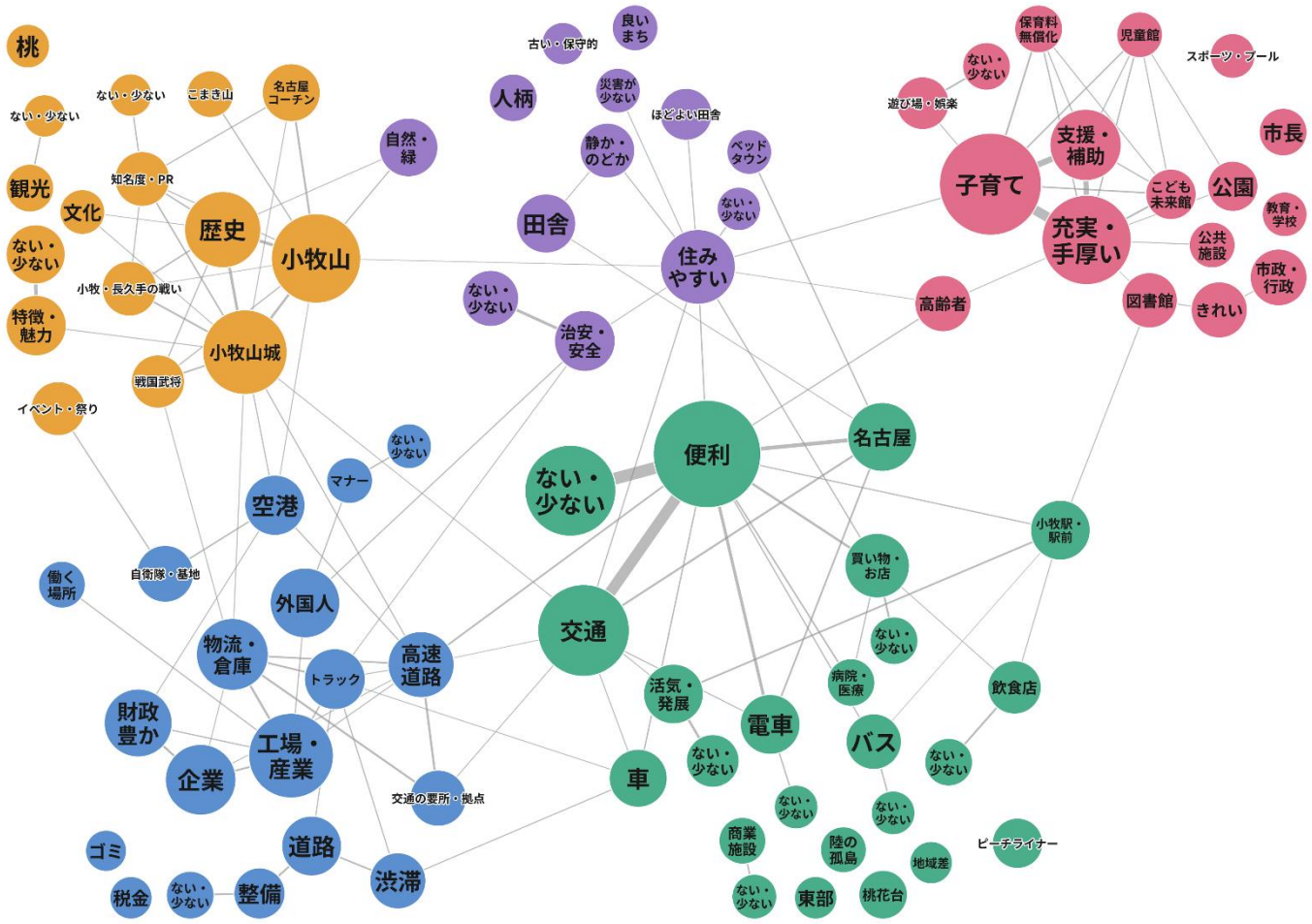
校区別にみると、大城小学校区で「暮らしたいとは思わない」の割合が高くなっています。



問 15　『小牧市』について連想される事柄やイメージについて自由にお書きください。（できるだけ詳しく文章でご記入ください）

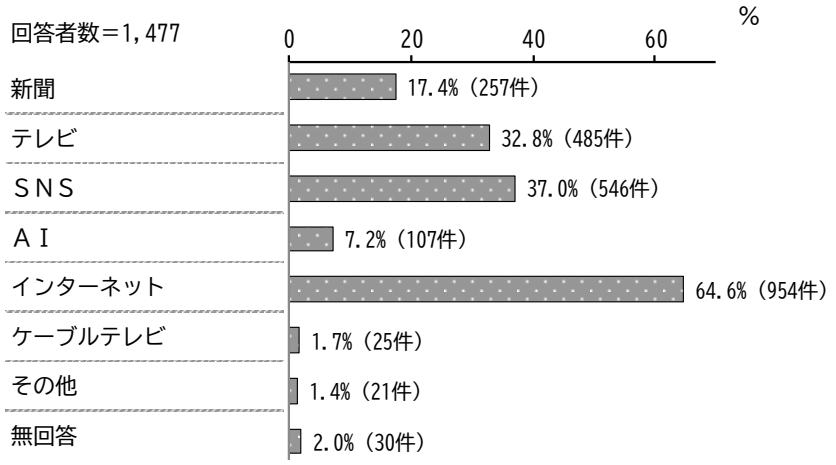
意見を分類すると以下のようになっています。

No	内容	件数
1	子育て・教育支援	138 件
2	高齢者福祉・医療・健康	11 件
3	公共交通・交通アクセス	88 件
4	産業・企業・財政	124 件
5	道路・交通環境・渋滞	44 件
6	公共施設・公園・生活利便性	53 件
7	歴史・観光・地域資源・名物	170 件
8	多文化共生・外国人・治安・マナー	23 件
9	行政運営・市政・基地問題	43 件
10	総合的な住みやすさ・地域イメージ	136 件
11	その他	6 件



問 16　知りたい情報があるとき、あなたは何を見ますか？（○は２つまで）

「インターネット」の割合が 64.6%と最も高く、次いで「ＳＮＳ」の割合が 37.0%、「テレビ」の割合が 32.8%となっています。



【性別】

性別にみると、男性で「インターネット」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	新聞	テレビ	ＳＮＳ	ＡＩ	インターネット	ケーブルテレビ	その他	無回答
全　体	1,477	17.4	32.8	37.0	7.2	64.6	1.7	1.4	2.0
男性	652	16.4	31.1	35.7	7.7	68.7	1.2	1.2	0.9
女性	788	18.7	34.6	39.0	6.9	61.5	2.2	1.6	1.8

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代から 70 歳以上まで年齢が上がるほど「新聞」の割合が高く、「ＳＮＳ」の割合が低く、70 歳以上から 30 歳代まで年齢が下がるほど「ＡＩ」の割合が高くなっています。また、70 歳以上で「テレビ」、40 歳代で「インターネット」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	新聞	テレビ	ＳＮＳ	ＡＩ	インターネット	ケーブルテレビ	その他	無回答
全　体	1,477	17.4	32.8	37.0	7.2	64.6	1.7	1.4	2.0
10歳代	115	5.2	25.2	67.0	8.7	56.5	0.9	0.9	2.6
20歳代	188	1.1	14.9	74.5	9.0	65.4	1.1	0.5	1.1
30歳代	210	1.4	19.5	61.4	12.4	74.3	1.0	0.0	0.5
40歳代	234	5.6	15.8	37.6	11.1	85.0	0.4	0.9	1.7
50歳代	242	10.3	32.2	28.5	6.2	79.8	0.8	1.2	0.4
60歳代	169	23.7	43.8	12.4	4.7	70.4	4.7	3.6	1.8
70歳以上	309	54.4	63.8	7.1	1.6	31.7	2.9	2.6	2.3

問 17　小牧市に定住・移住してもらうために、市ができる取組のアイデアをお寄せください。

意見を分類すると以下のようになっています。

No	内容	件数
1	子育て・教育支援	198 件
2	高齢者・障がい福祉・医療・健康	101 件
3	公共交通・アクセス利便性	195 件
4	産業振興・企業誘致・雇用・財政	47 件
5	道路・交通環境・安全・渋滞	73 件
6	商業施設・公共施設・生活環境	181 件
7	歴史・観光・イベント・地域 PR	85 件
8	多文化共生・外国人住民・マナー	33 件
9	行政運営・住宅移住支援・税・給付	196 件
10	総合的な住みやすさ・地域イメージ	29 件
11	その他	7件

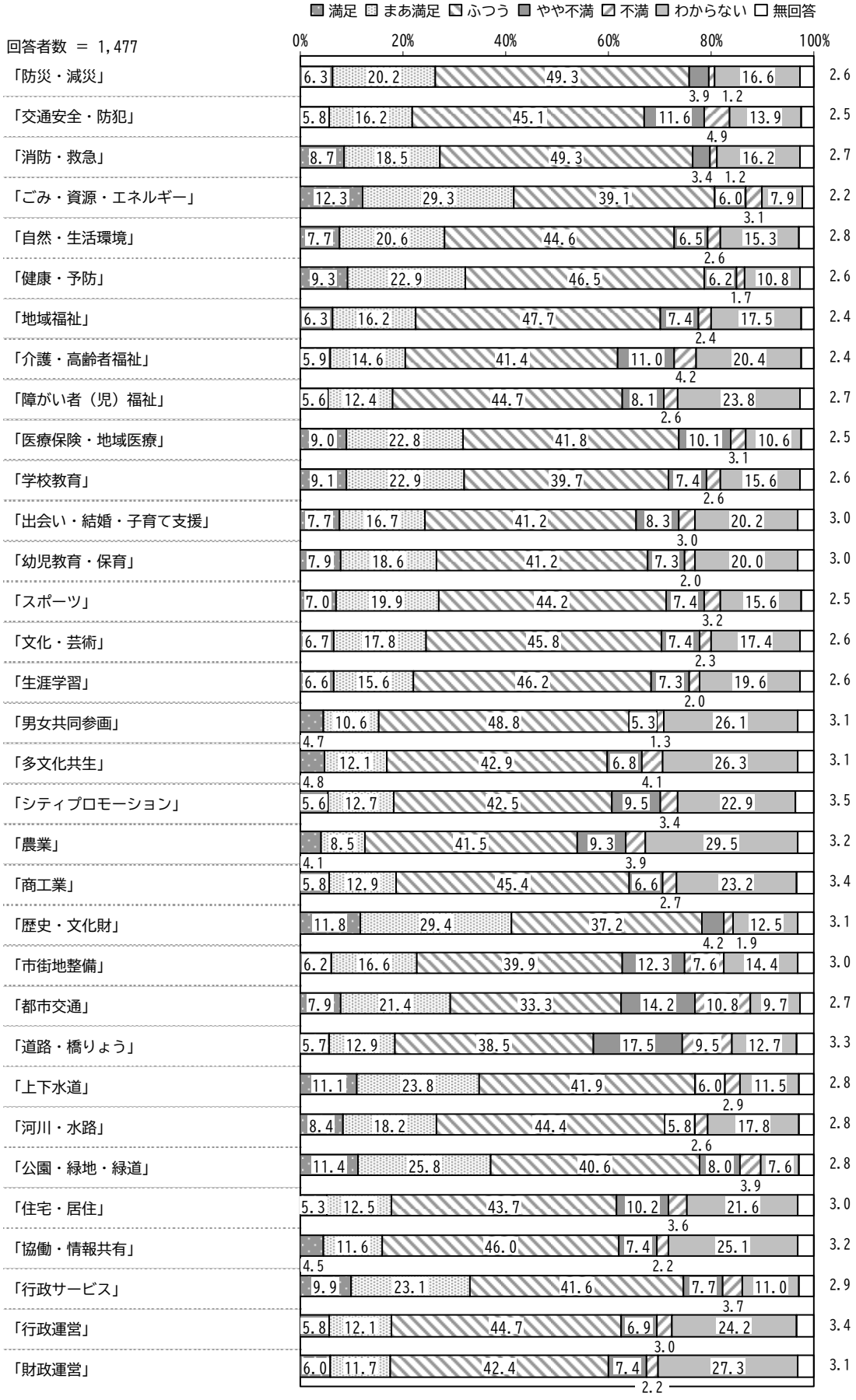
問 18　あなたの楽しみ、生きがいについて教えてください。

意見を分類すると以下のようになっています。

No	内容	件数
1	子ども・孫の成長・家族との交流	227 件
2	友人・地域・人との交流	56 件
3	ペット・動物との暮らし	10 件
4	旅行・外出・ドライブ	76 件
5	自然・園芸・農作業	37 件
6	グルメ・食・お酒	56 件
7	スポーツ・運動・健康づくり	79 件
8	趣味・教養・エンターテインメント	193 件
9	仕事・就労・社会貢献	40 件
10	日常の平穏・個人の自由・生活基盤	64 件
11	行政への要望・社会課題への意見	7件
12	その他	12 件

問 19　小牧市が行う、各施策の満足度は次のどれにあたりますか。（基本施策ごとに、あてはまる数字に１つだけ○）

『防災・減災』『消防・救急』で「ふつう」の割合が高くなっています。一方、『農業』で「わからない」の割合が高くなっています。

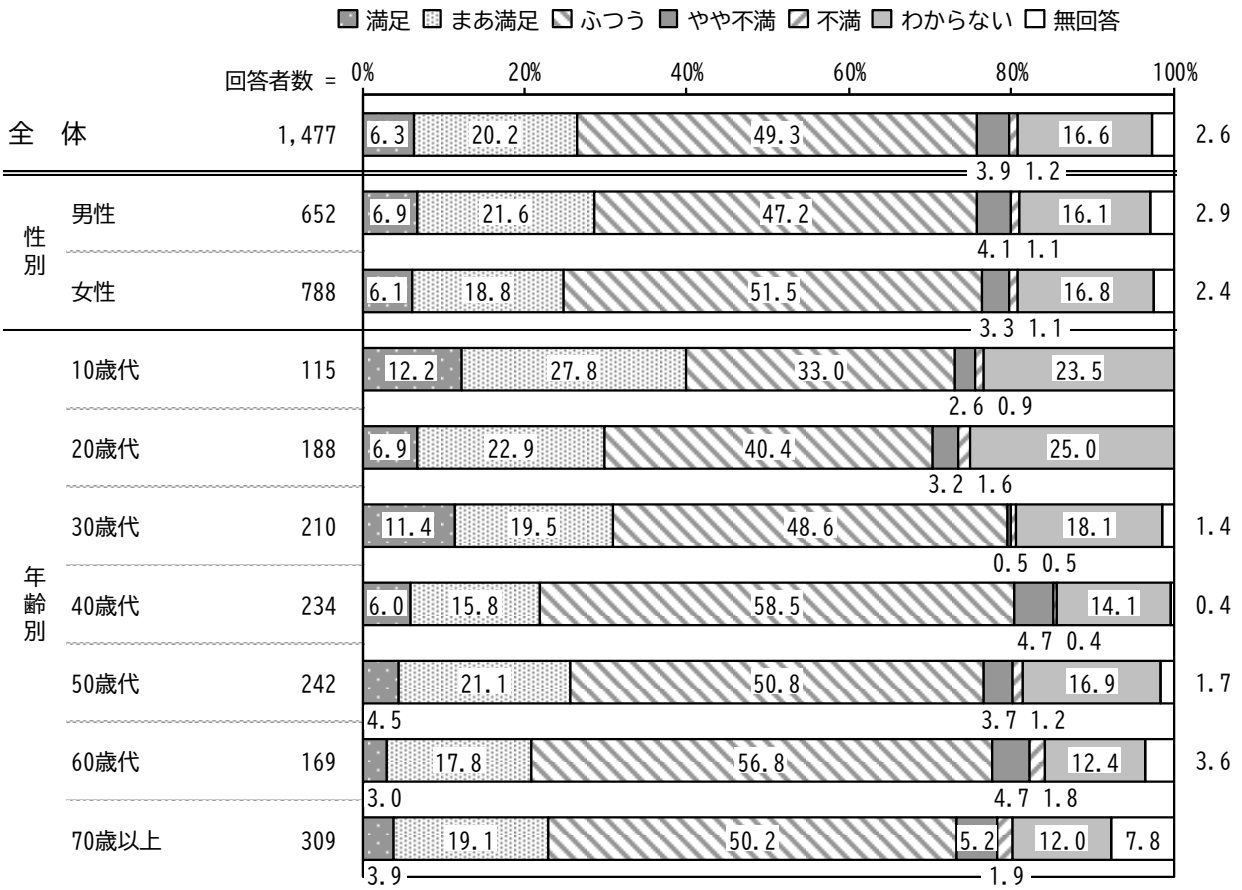


「防災・減災」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

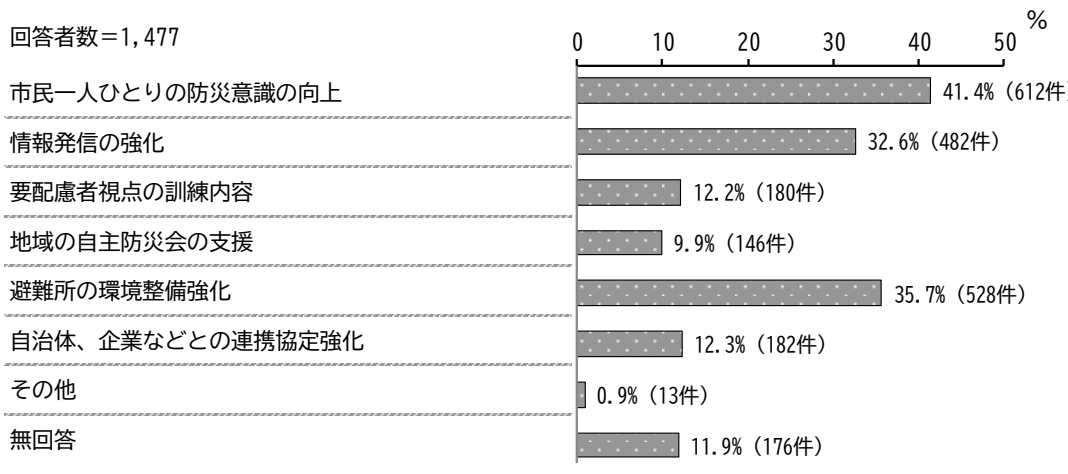
年齢別にみると、60 歳代から 30 歳代まで年齢が下がるほど「満足」の割合が高く、10 歳代から 40 歳代まで年齢が上がるほど「ふつう」の割合が高く、「まあ満足」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 20　「防災・減災」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「市民一人ひとりの防災意識の向上」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「避難所の環境整備強化」の割合が 35.7%、「情報発信の強化」の割合が 32.6%となっています。

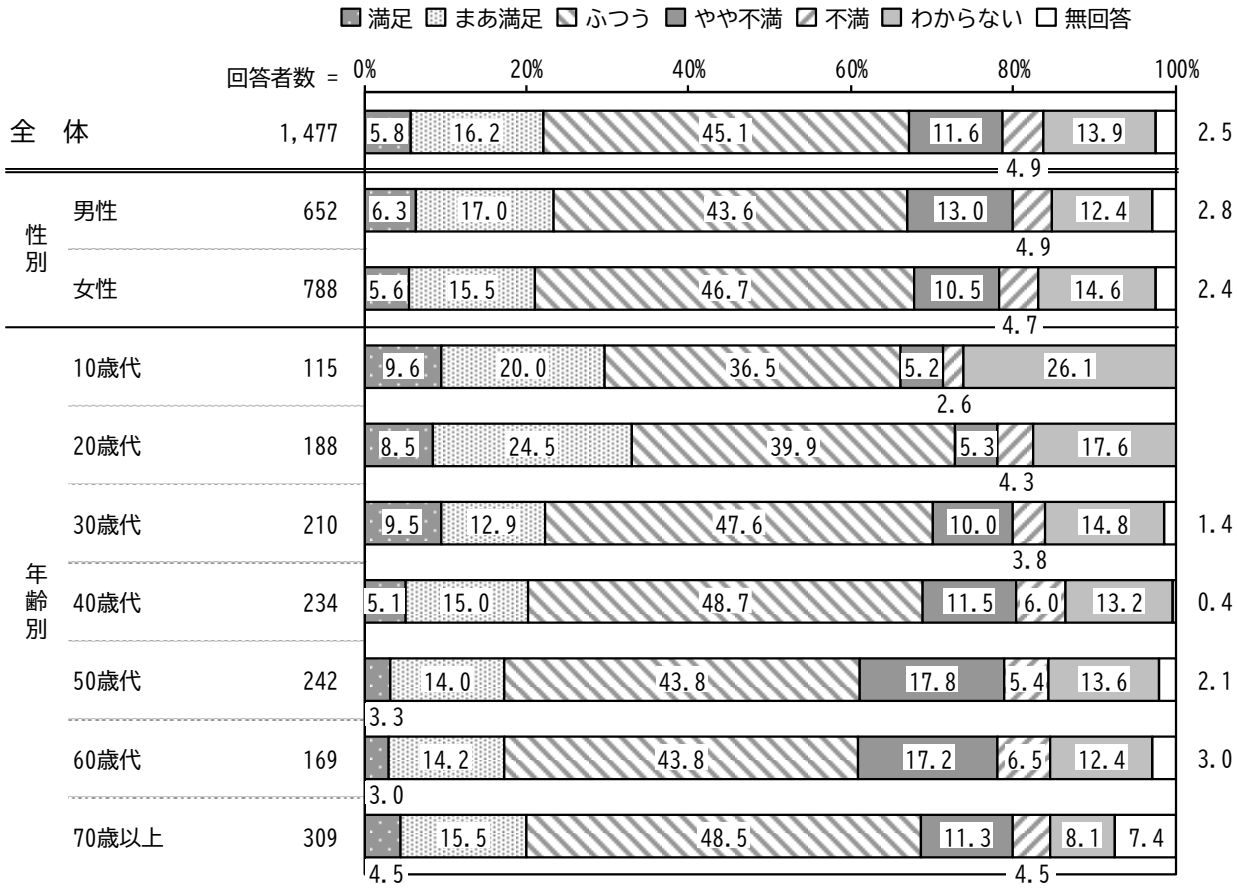


「交通安全・防犯」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

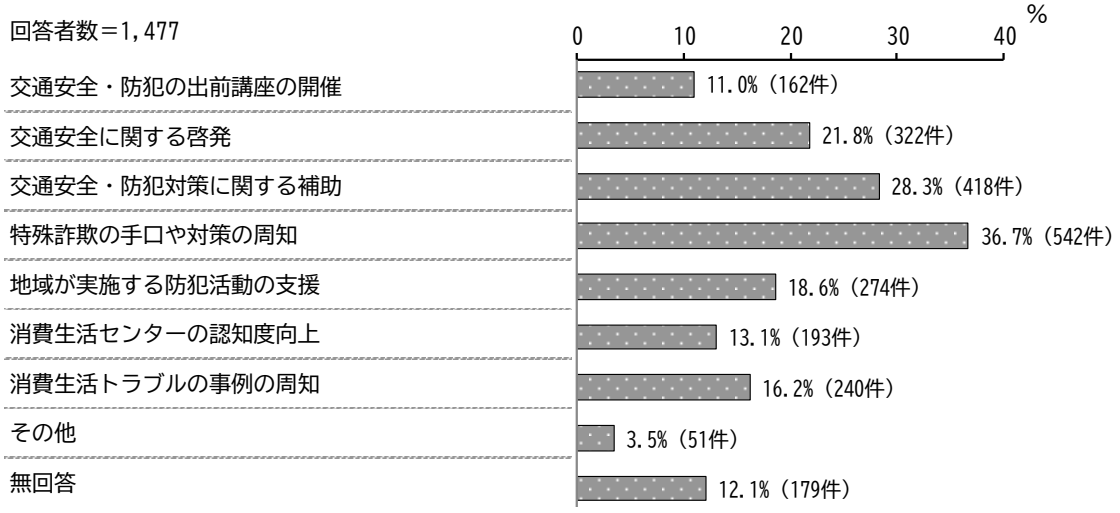
年齢別にみると、10 歳代から 60 歳代まで年齢が上がるほど“不満”の割合が高くなる傾向にあります。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 21　「交通安全・防犯」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「特殊詐欺の手口や対策の周知」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「交通安全・防犯対策に関する補助」の割合が 28.3%、「交通安全に関する啓発」の割合が 21.8%となっています。

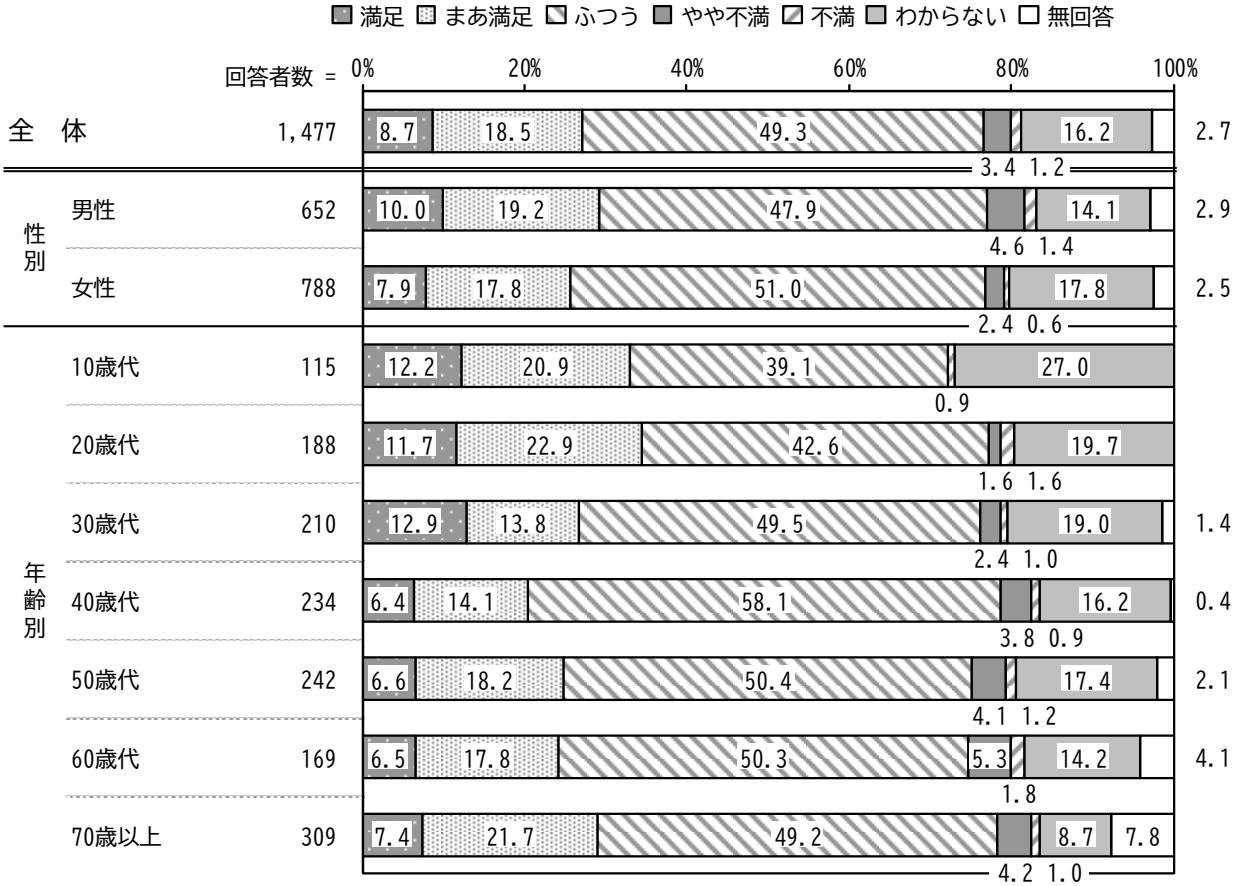


「消防・救急」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

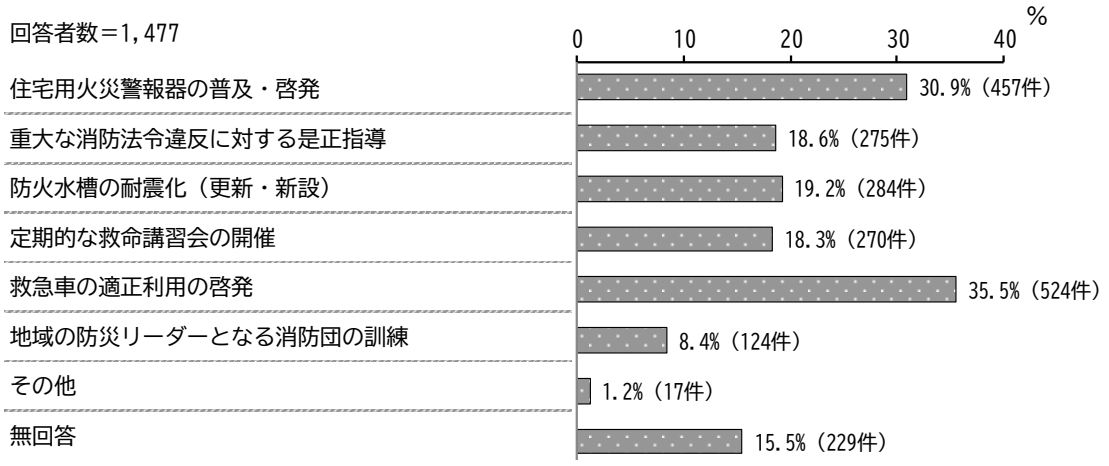
年齢別にみると、10 歳代から 40 歳代まで年齢が上がるほど「ふつう」の割合が高くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 22　「消防・救急」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「救急車の適正利用の啓発」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「住宅用火災警報器の普及・啓発」の割合が 30.9%、「防火水槽の耐震化（更新・新設）」の割合が 19.2%となっています。

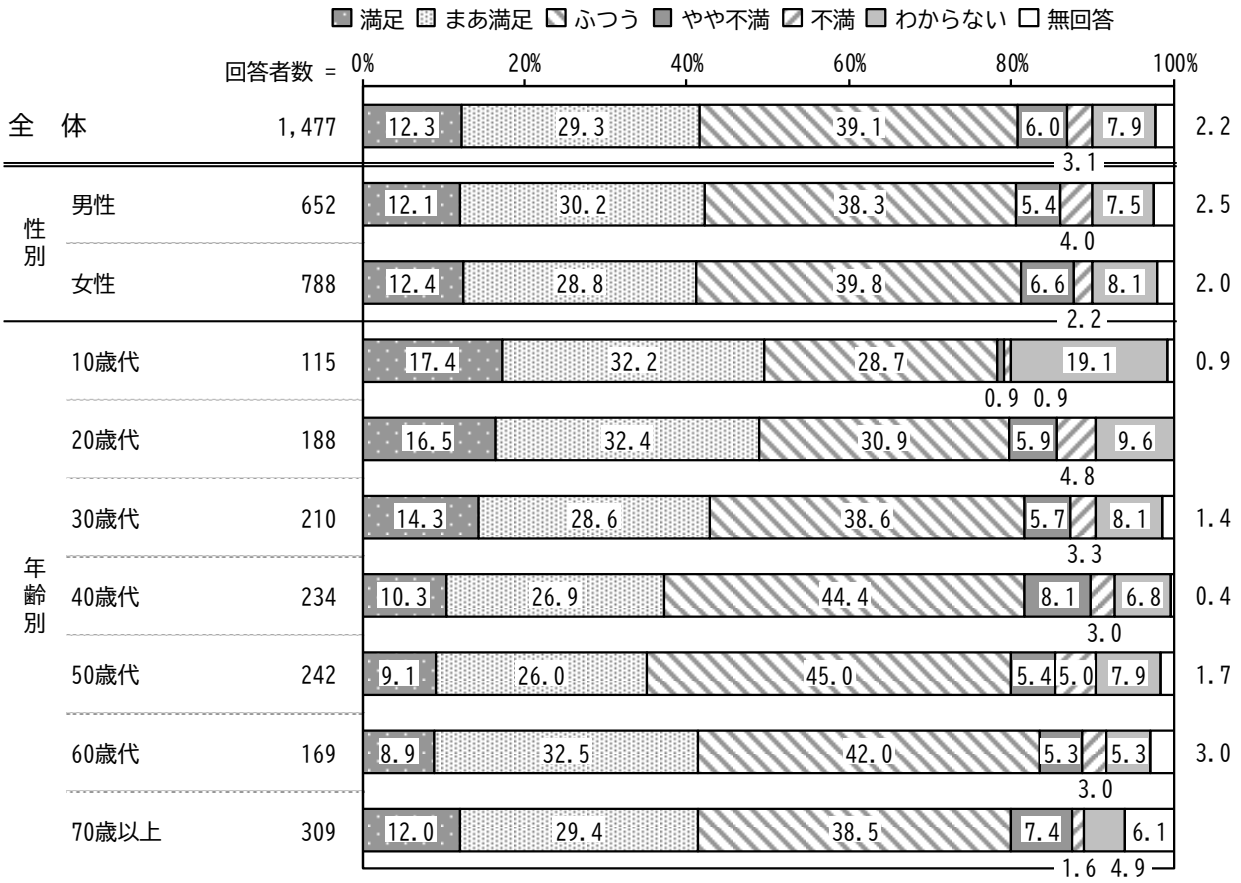


「ごみ・資源・エネルギー」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

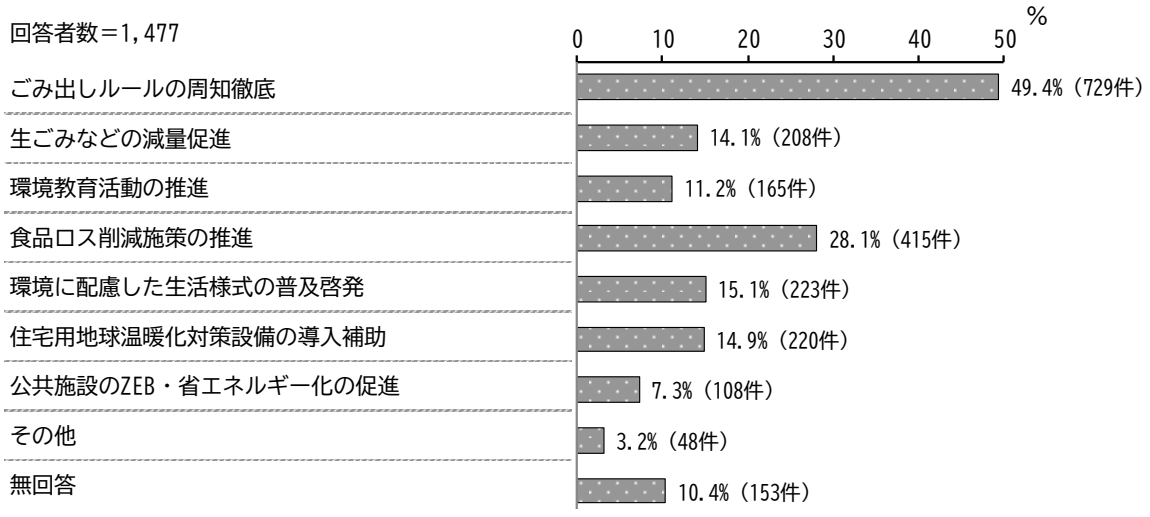
年齢別にみると、50 歳代から 10 歳代まで年齢が下がるほど“満足”の割合が高くなっています。また、10 歳代で「ふつう」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 23　「ごみ・資源・エネルギー」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「ごみ出しルールの周知徹底」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「食品ロス削減施策の推進」の割合が 28.1%、「環境に配慮した生活様式の普及啓発」の割合が 15.1%となっています。

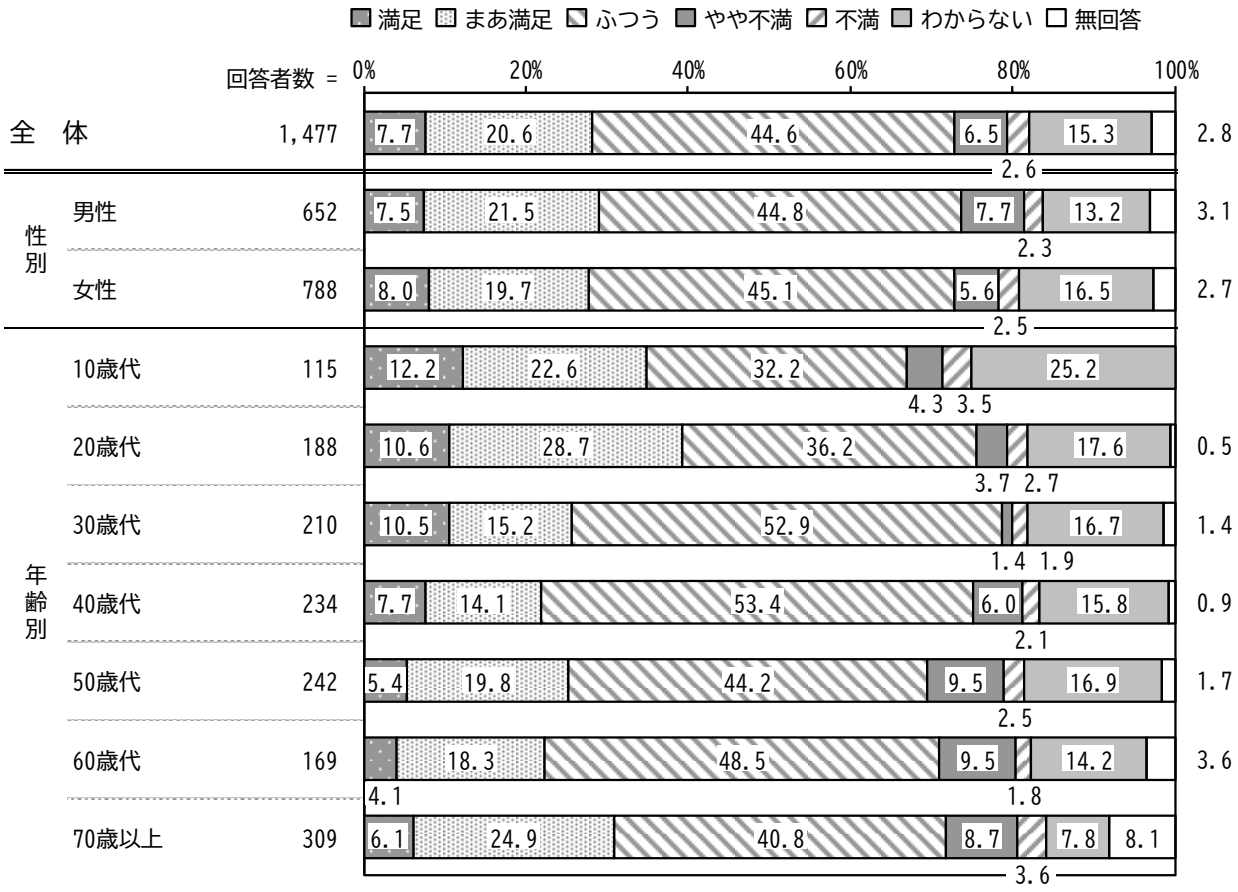


「自然・生活環境」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

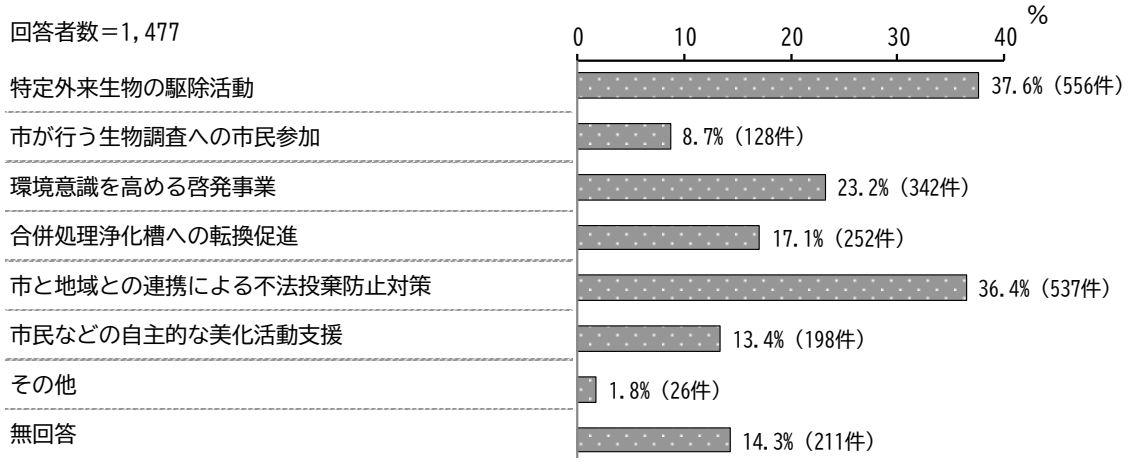
年齢別にみると、30 歳代から 70 歳以上まで年齢が上がるほど“不満”の割合が高い傾向にあります。また、10 歳代で「ふつう」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 24　「自然・生活環境」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「特定外来生物の駆除活動」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「市と地域との連携による不法投棄防止対策」の割合が 36.4%、「環境意識を高める啓発事業」の割合が 23.2%となっています。

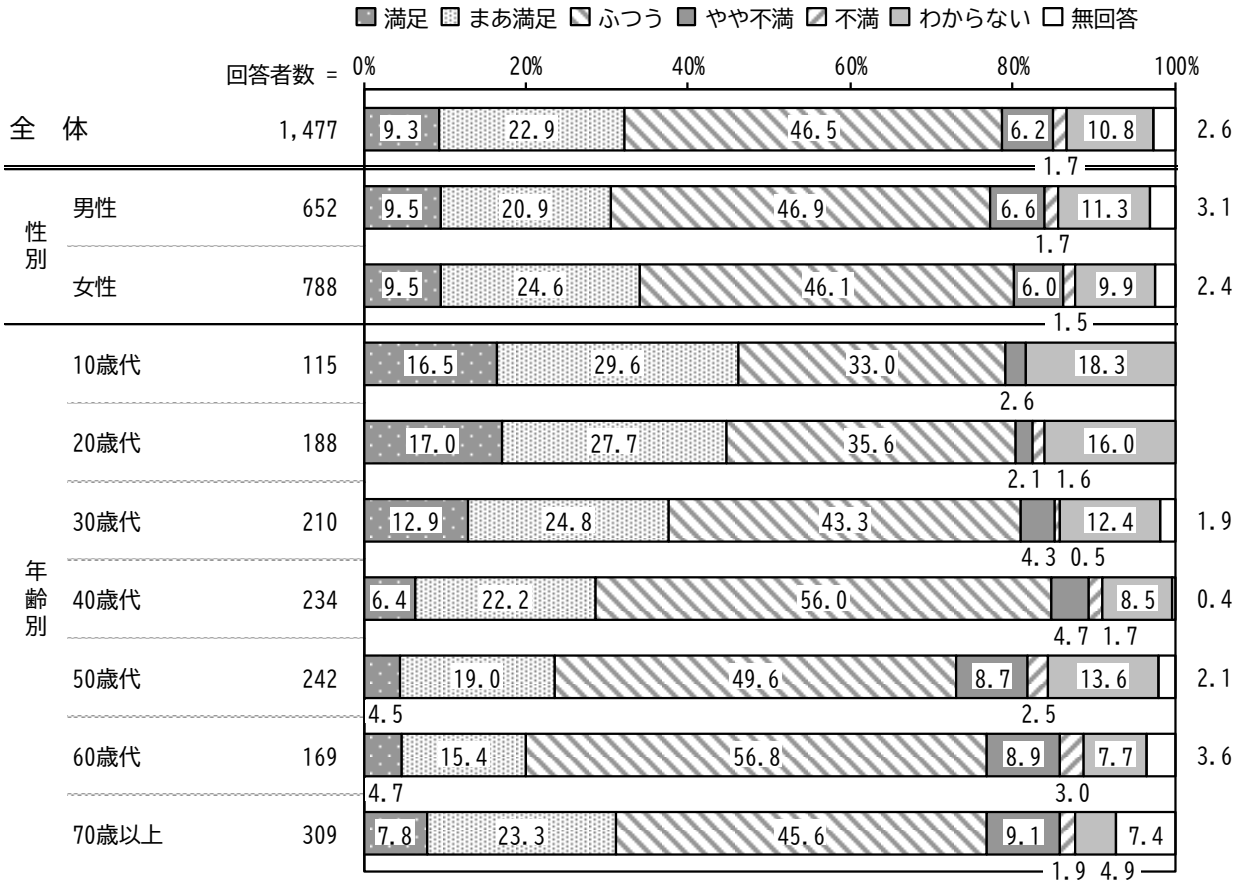


「健康・予防」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

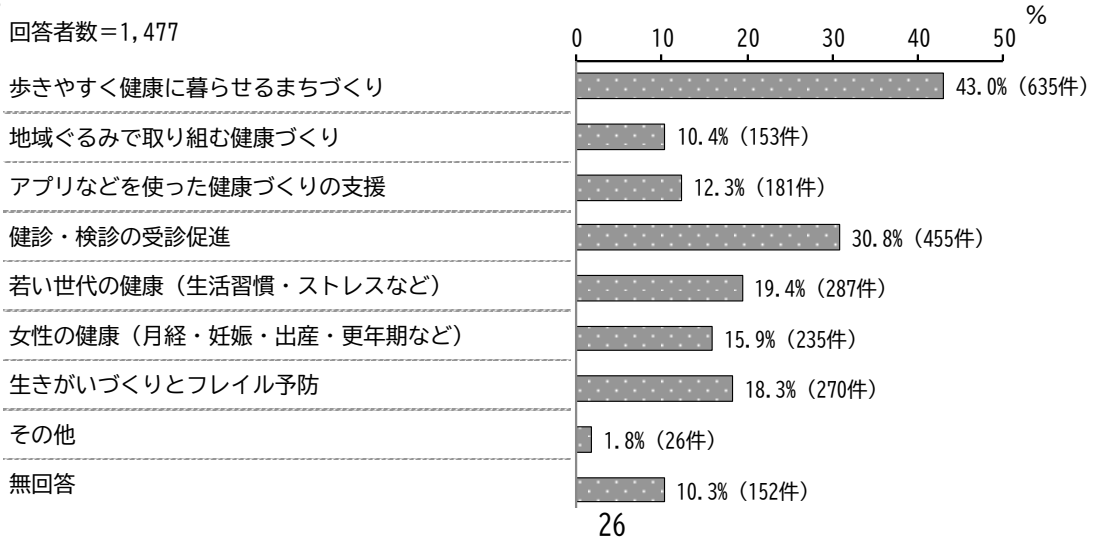
年齢別にみると、60 歳代から 10 歳代まで年齢が下がるほど“満足”の割合が高くなっています。また、60 歳代で「ふつう」の割合が高くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 25　「健康・予防」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「歩きやすく健康に暮らせるまちづくり」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「健診・検診の受診促進」の割合が 30.8%、「若い世代の健康（生活習慣・ストレスなど）」の割合が 19.4%となっています。

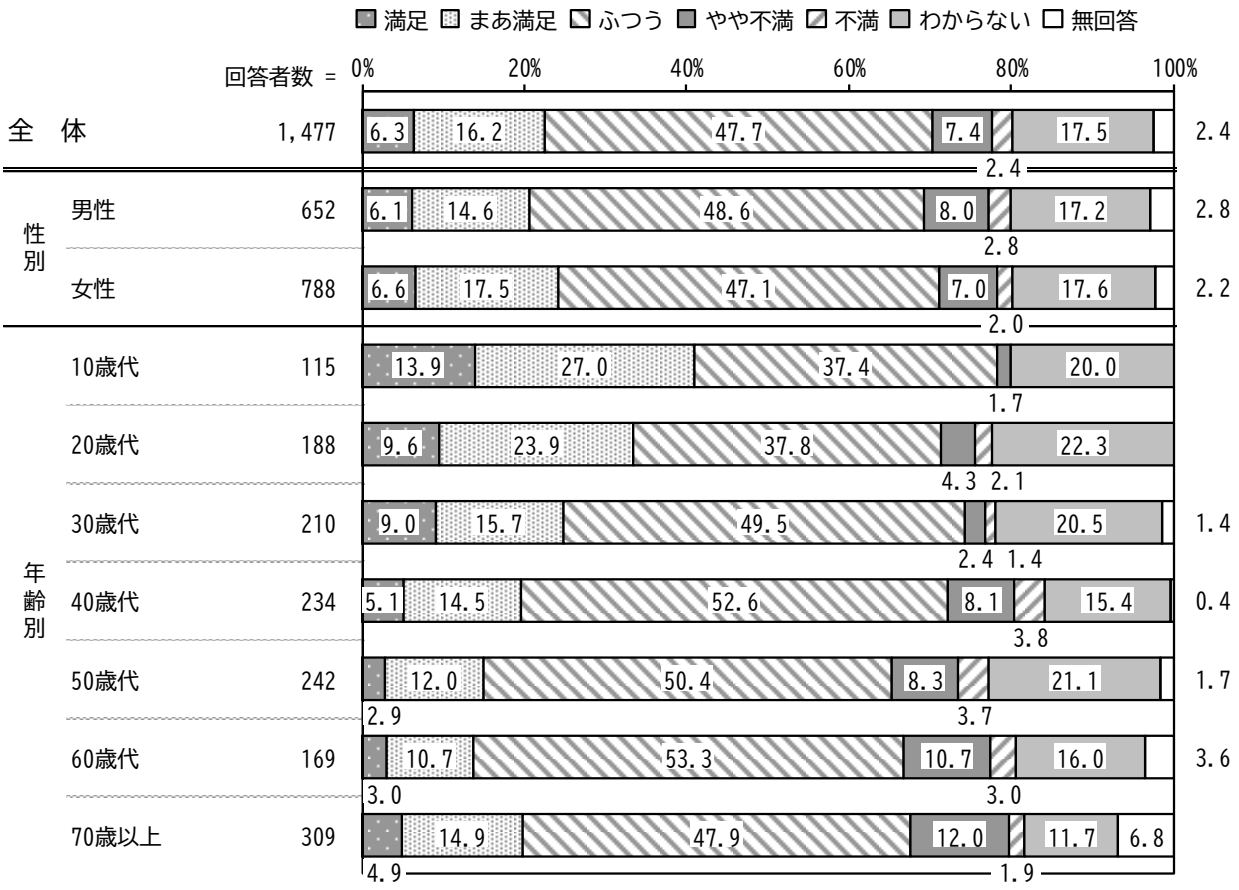


「地域福祉」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

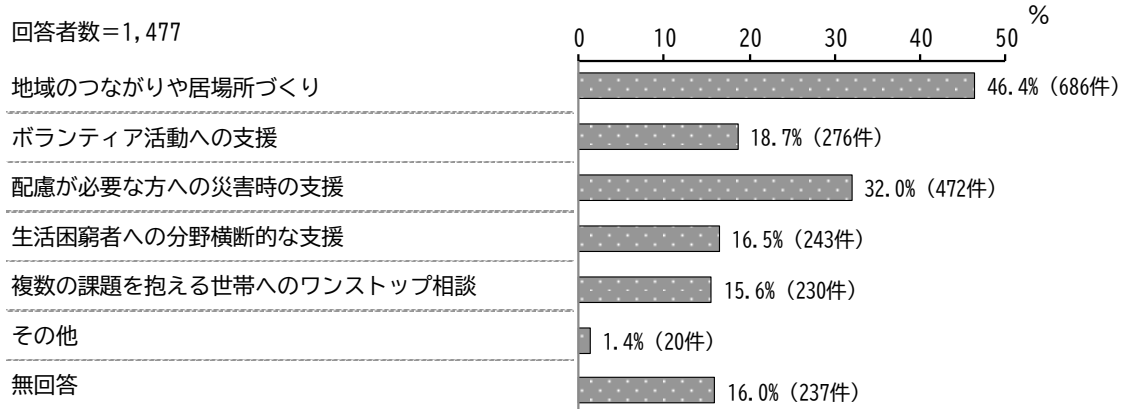
年齢別にみると、年齢が上がるほど“不満”の割合が高い傾向にあります。また、10 歳代で「まあ満足」の割合が高く、「ふつう」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 26　「地域福祉」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「地域のつながりや居場所づくり」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「配慮が必要な方への災害時の支援」の割合が 32.0%、「ボランティア活動への支援」の割合が 18.7%となっています。

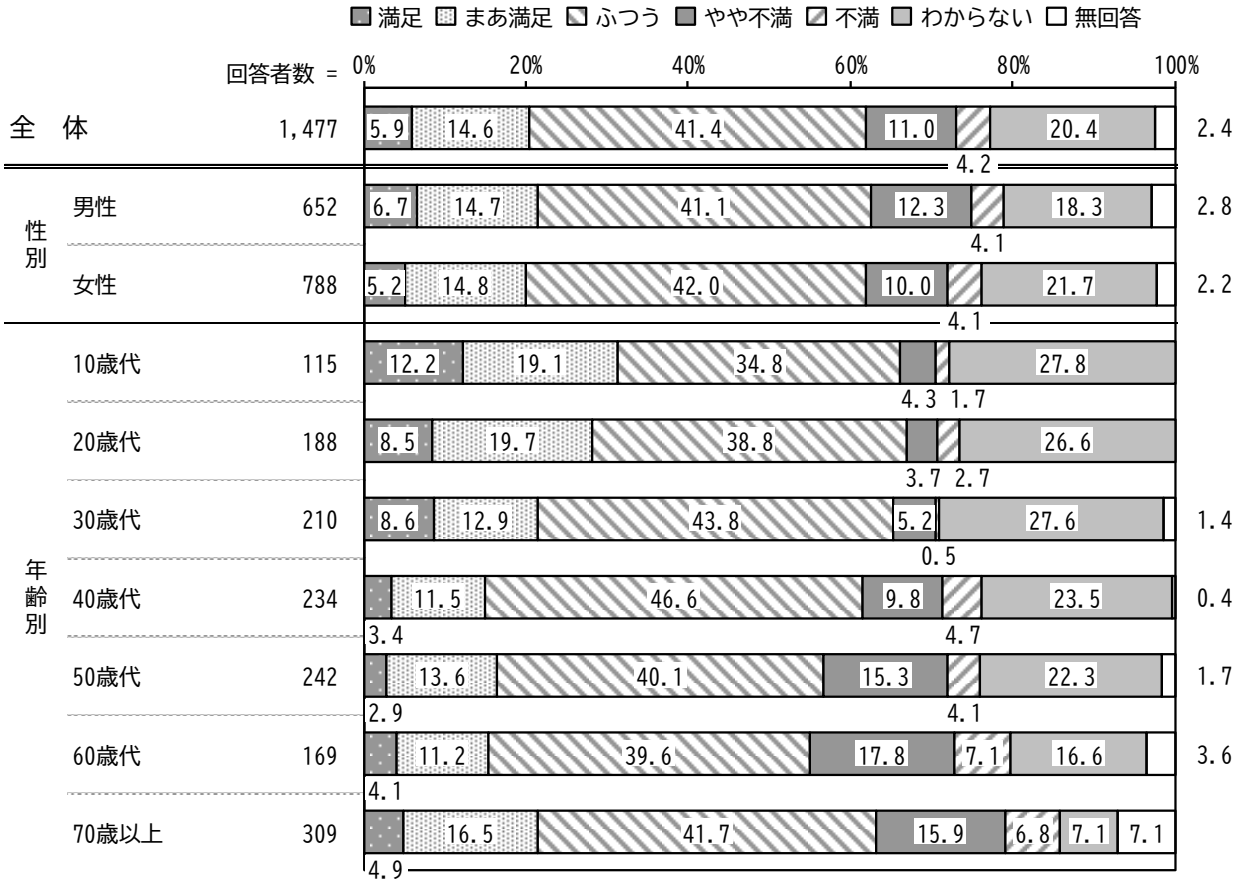


「介護・高齢者福祉」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

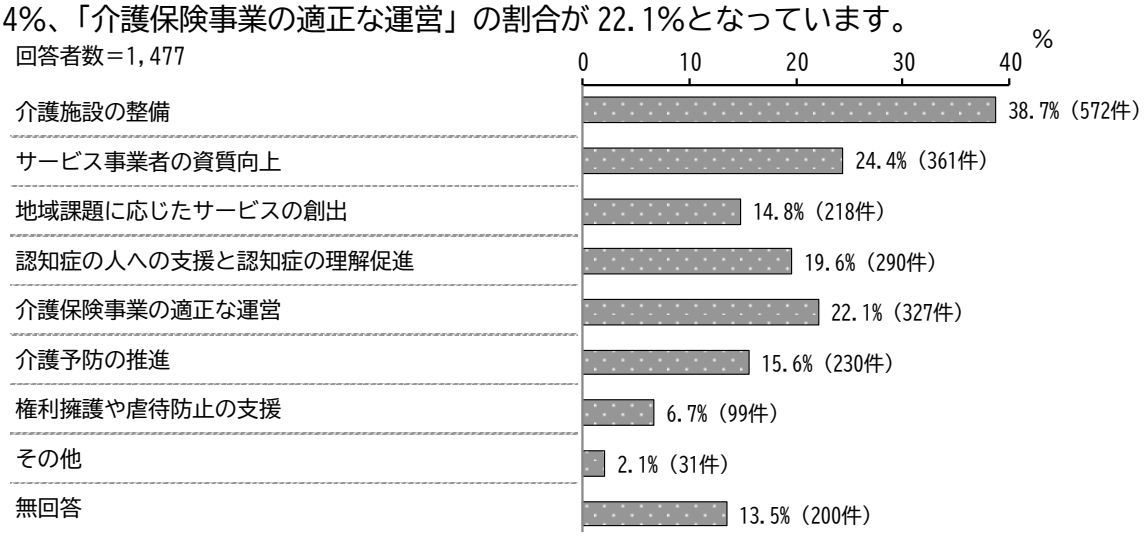
年齢別にみると、30 歳代から 60 歳代まで年齢が上がるほど“不満”の割合が高くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 27　「介護・高齢者福祉」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「介護施設の整備」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「サービス事業者の資質向上」の割合が 24.4%、「介護保険事業の適正な運営」の割合が 22.1%となっています。

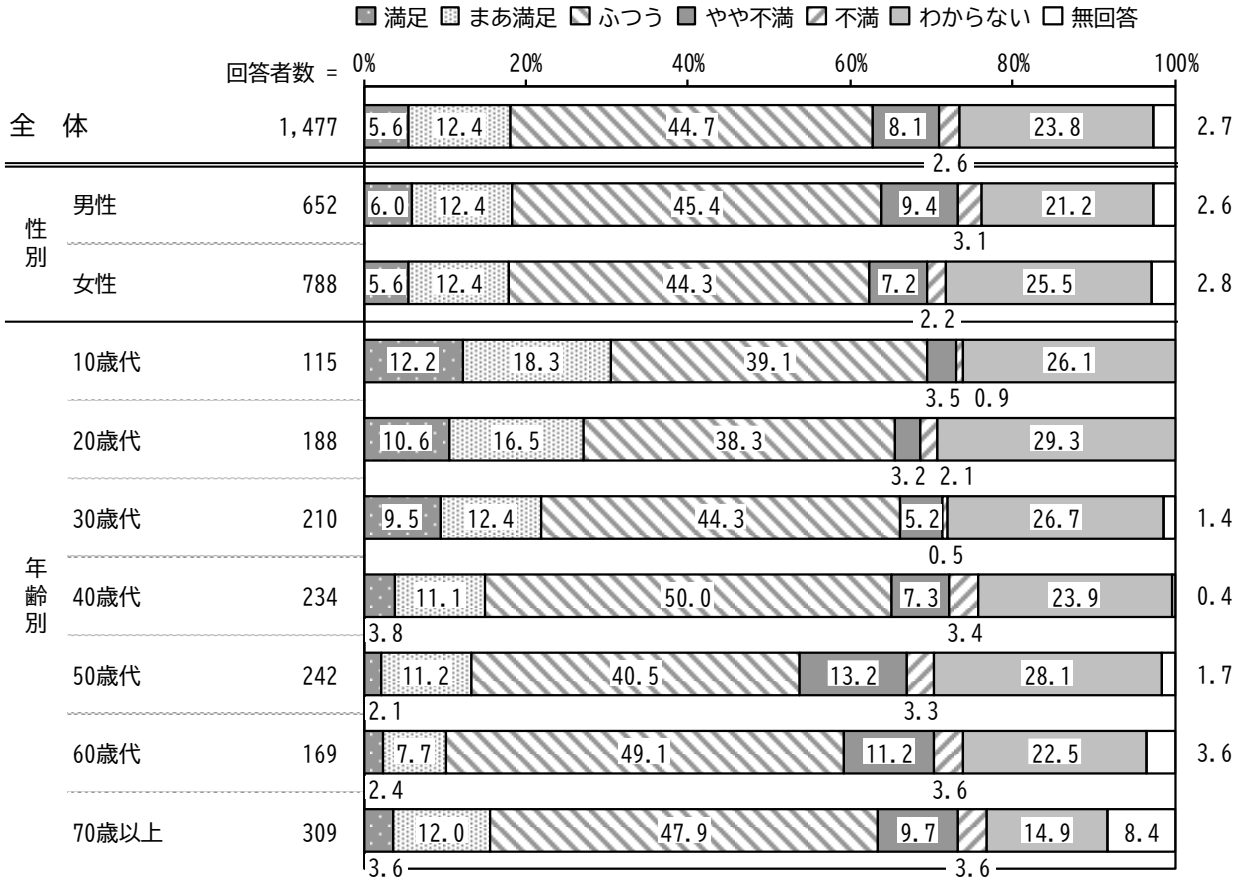


「障がい者（児）福祉」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

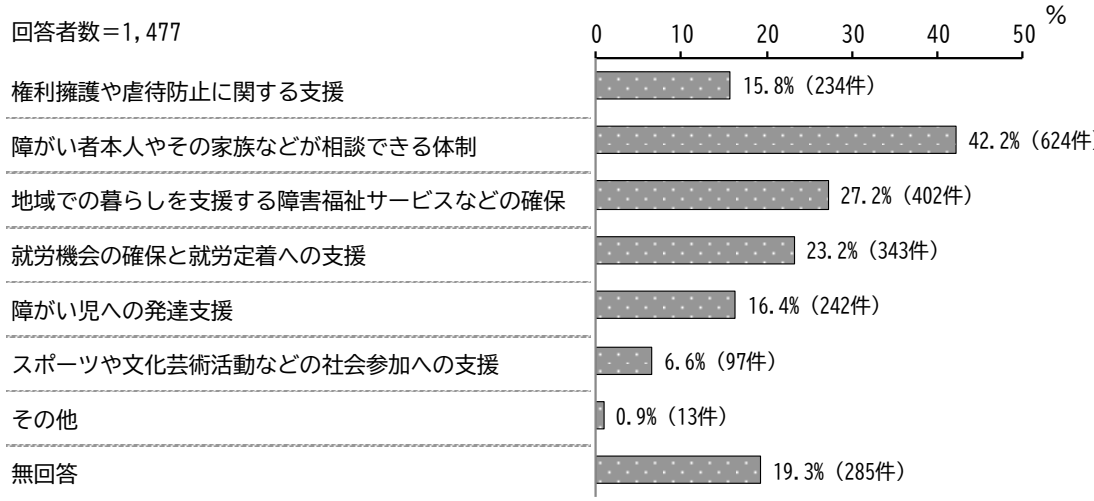
年齢別にみると、60 歳代から 10 歳代まで年齢が下がるほど“満足”の割合が高くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 28　「障がい者（児）福祉」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「障がい者本人やその家族などが相談できる体制」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「地域での暮らしを支援する障害福祉サービスなどの確保」の割合が 27.2%、「就労機会の確保と就労定着への支援」の割合が 23.2%となっています。

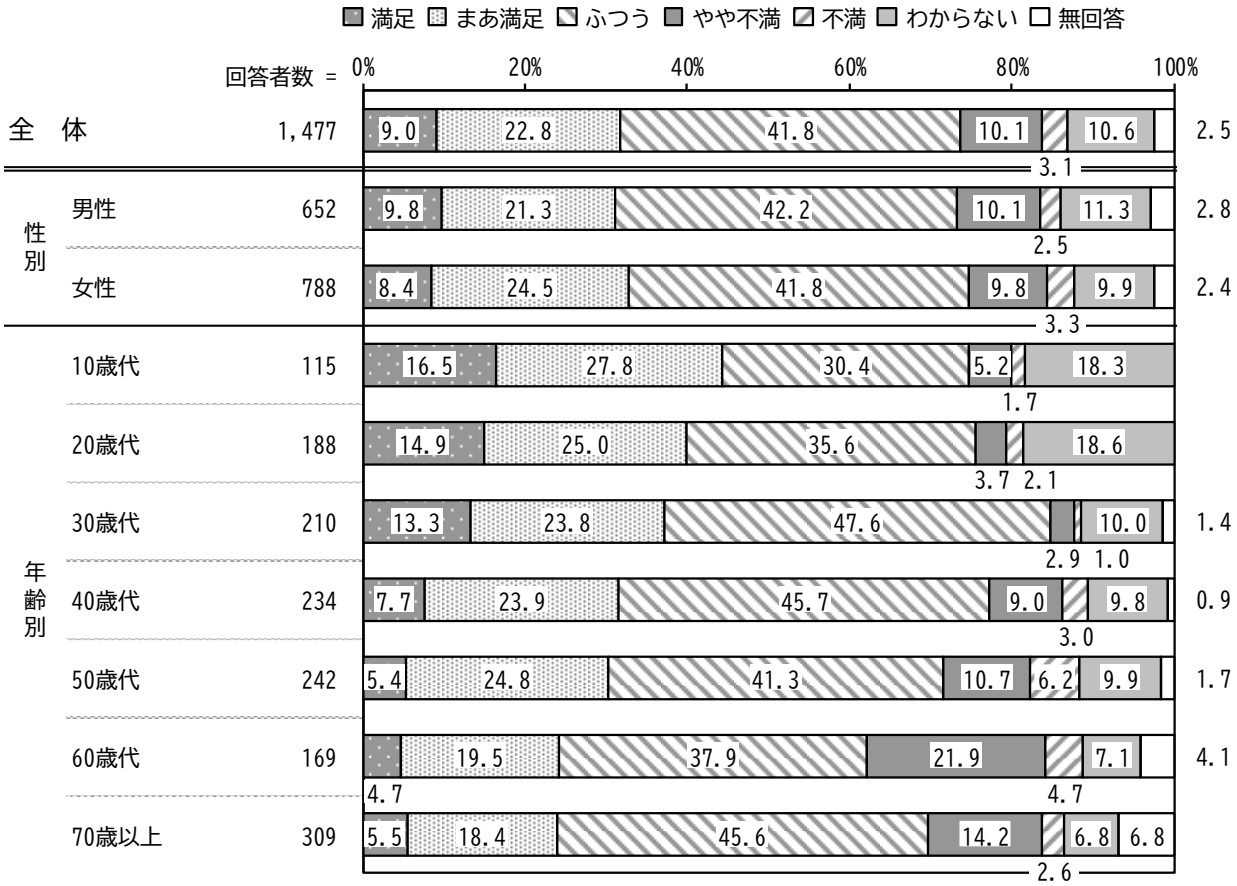


「医療保険・地域医療」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

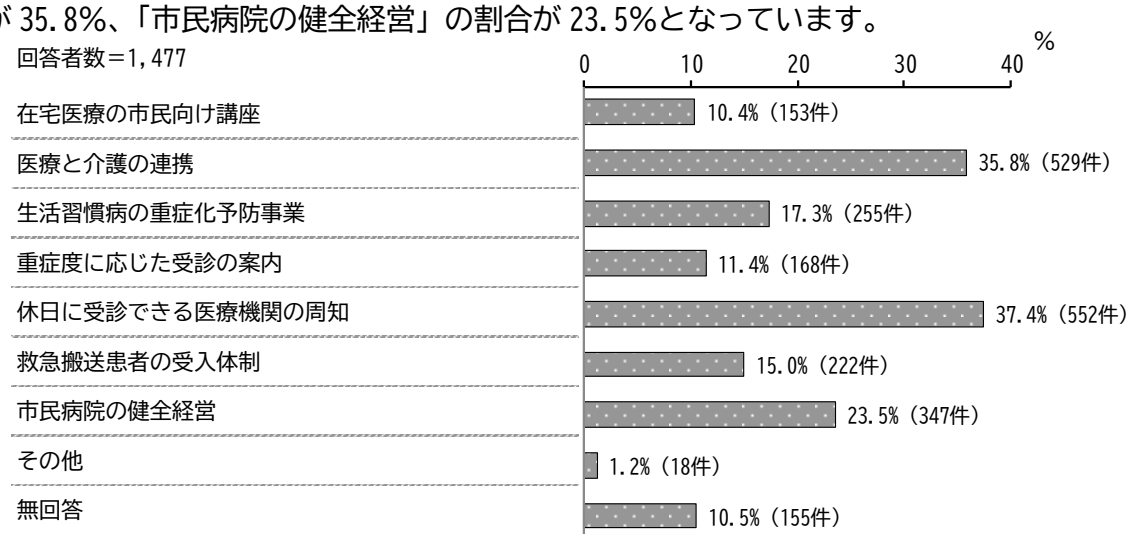
年齢別にみると、年齢が下がるほど“満足”の割合が高くなっています。また、60 歳代で「やや不満」の割合が高く、10 歳代で「ふつう」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 29　「医療保険・地域医療」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「休日に受診できる医療機関の周知」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「医療と介護の連携」の割合が 35.8%、「市民病院の健全経営」の割合が 23.5%となっています。

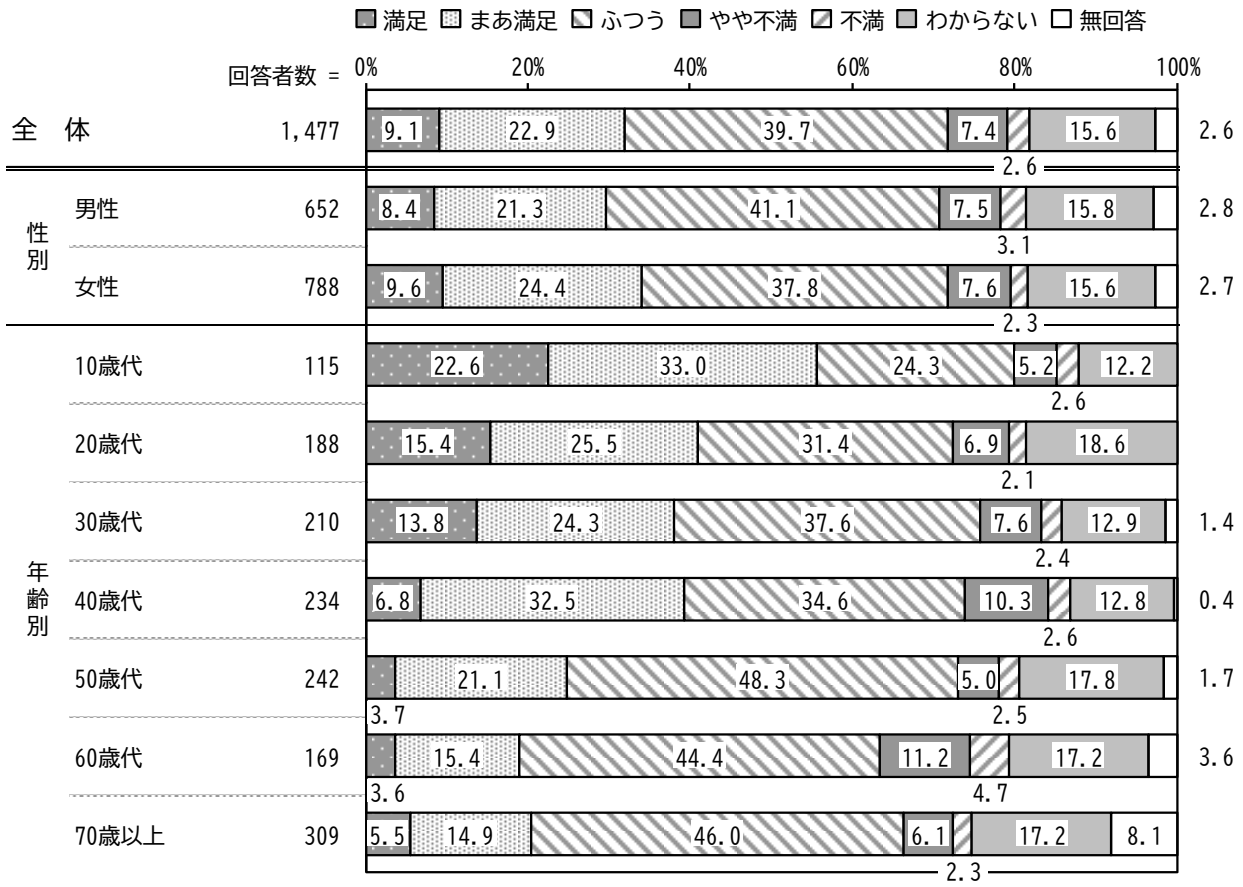


「学校教育」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

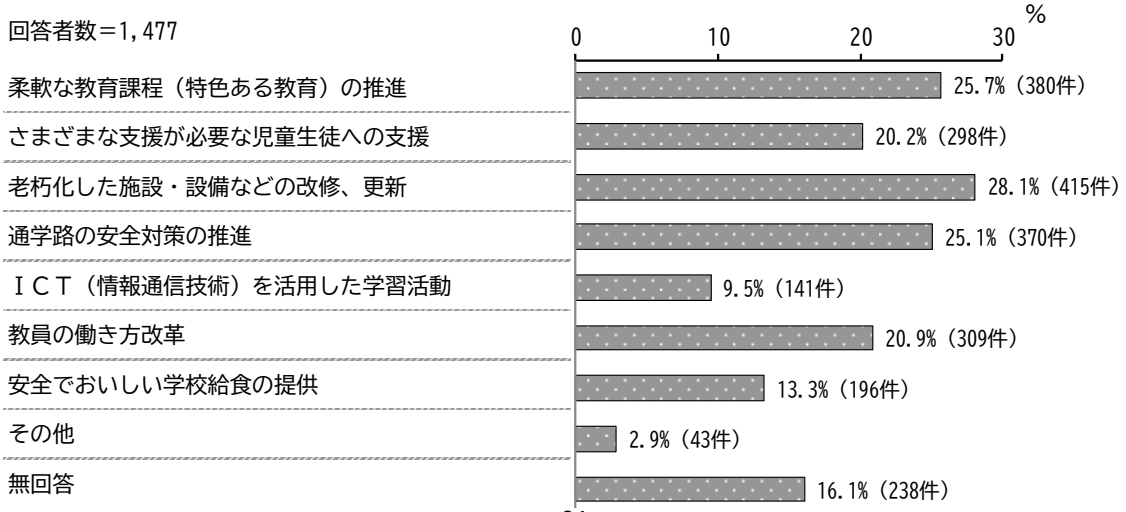
年齢別にみると、60 歳代から 10 歳代まで年齢が下がるほど“満足”の割合が高い傾向にあります。また、10 歳代で「まあ満足」の割合が高く、「ふつう」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 30　「学校教育」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「老朽化した施設・設備などの改修、更新」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「柔軟な教育課程（特色ある教育）の推進」の割合が 25.7%、「通学路の安全対策の推進」の割合が 25.1%となっています。

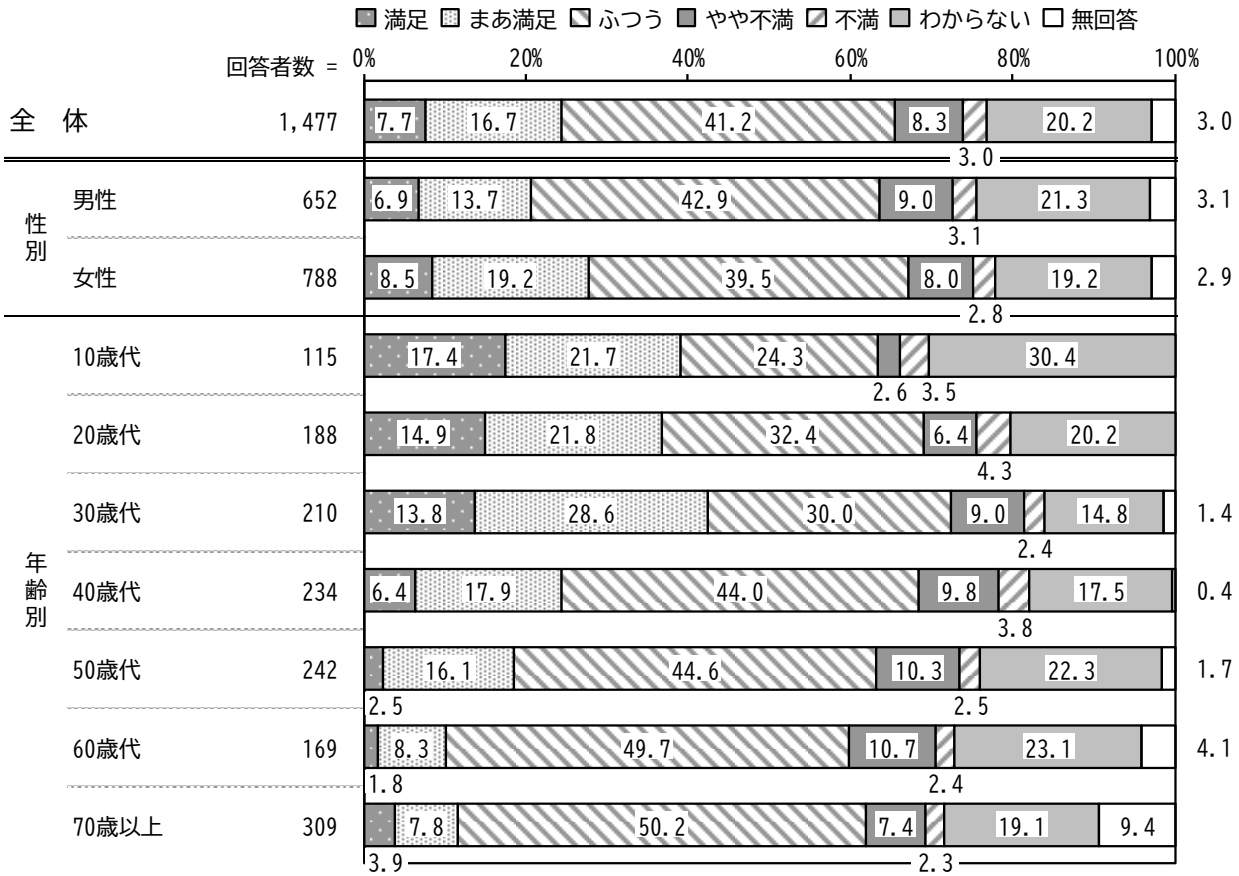


「出会い・結婚・子育て支援」

【性・年齢別】

性別にみると、女性で“満足”の割合が高くなっています。

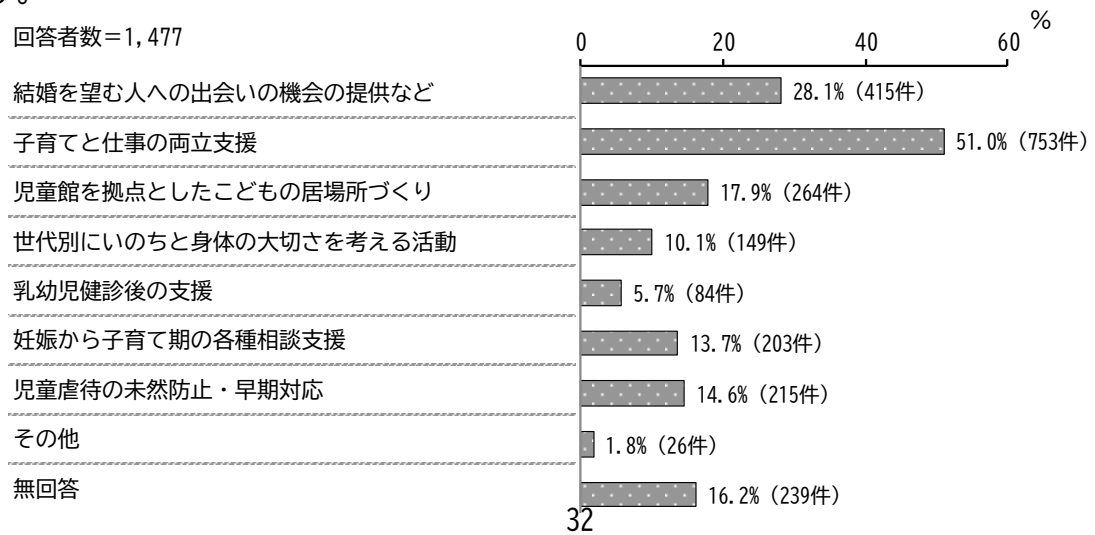
年齢別にみると、60 歳代から 30 歳代まで年齢が下がるほど“満足”の割合が高くなっています。また、30 歳代で「まあ満足」の割合が高く、10 歳代で「ふつう」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 31　「出会い・結婚・子育て支援」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「子育てと仕事の両立支援」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「結婚を望む人への出会いの機会の提供など」の割合が 28.1%、「児童館を拠点としたこどもの居場所づくり」の割合が 17.9%となっています。

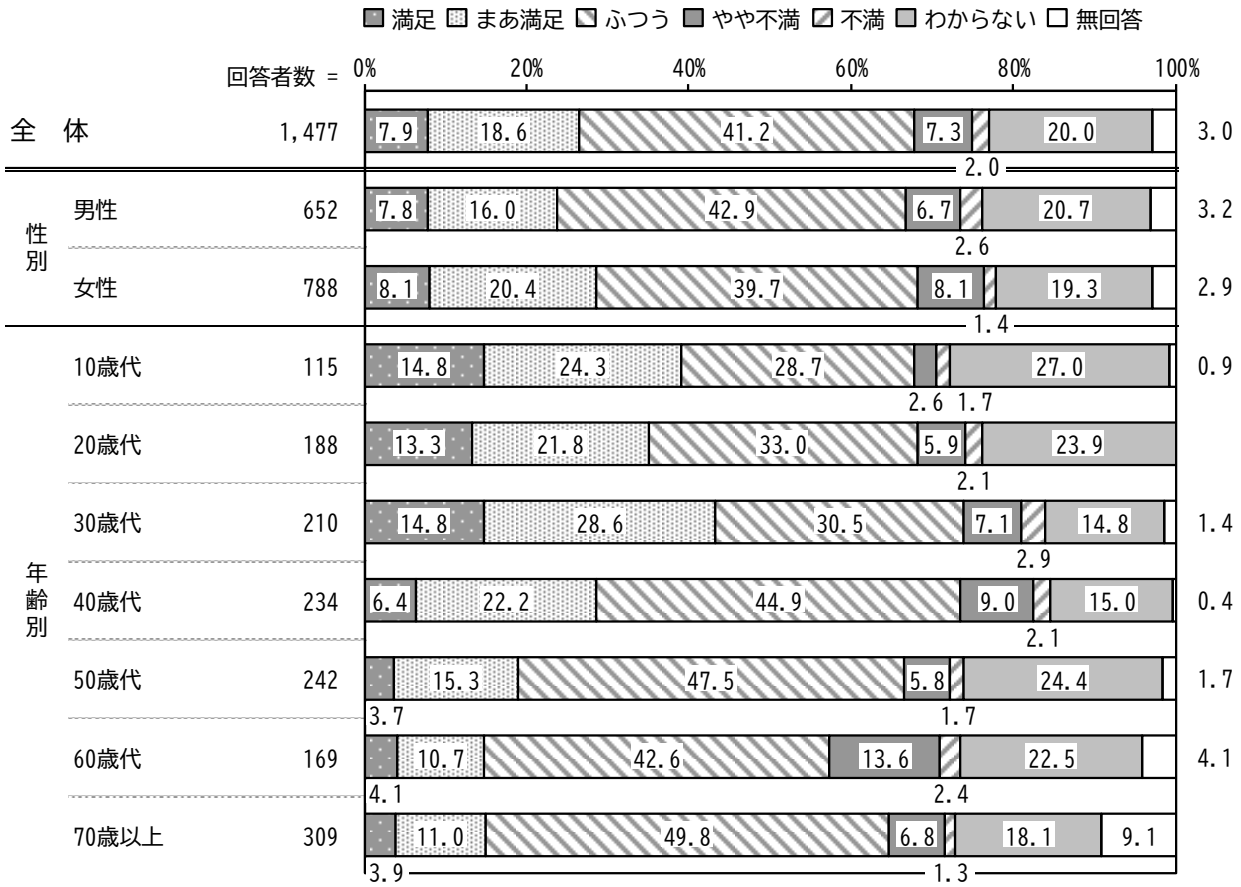


「幼児教育・保育」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

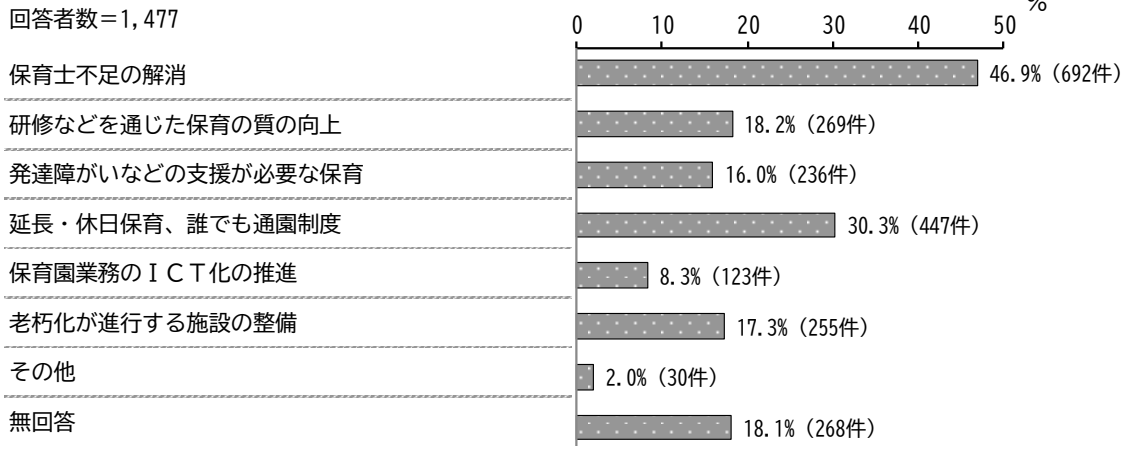
年齢別にみると、60 歳代から 30 歳代まで年齢が下がるほど“満足”の割合が高くなっています。また、30 歳代で「まあ満足」の割合が高く、10 歳代、30 歳代で「ふつう」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 32　「幼児教育・保育」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「保育士不足の解消」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「延長・休日保育、誰でも通園制度」の割合が 30.3%、「研修などを通じた保育の質の向上」の割合が 18.2%となっています。

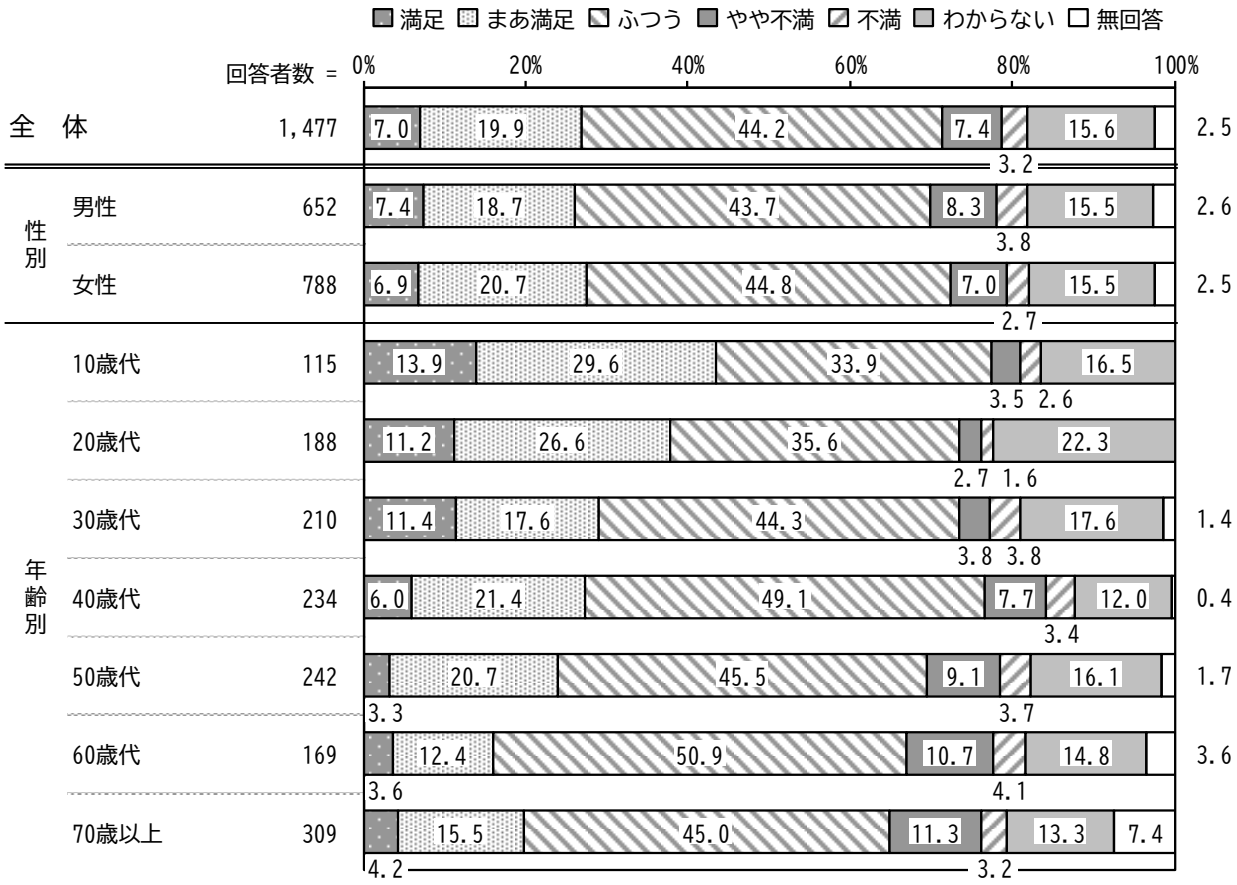


「スポーツ」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

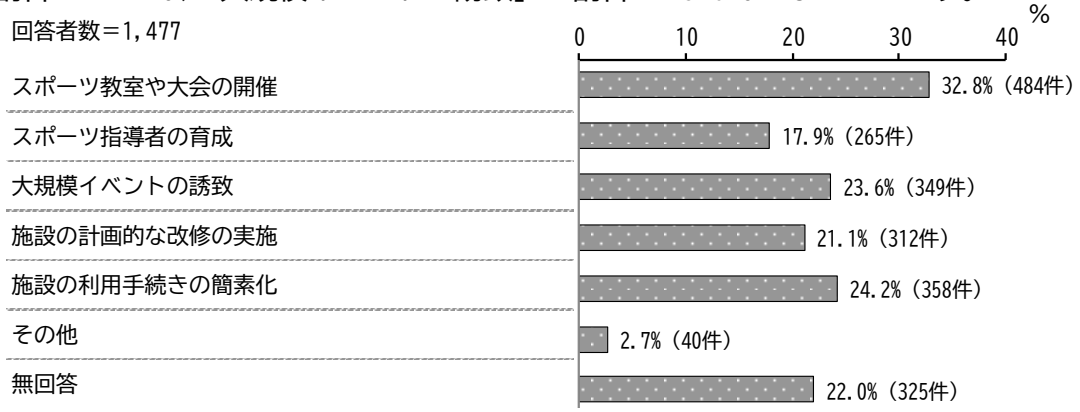
年齢別にみると、60 歳代から 10 歳代まで年齢が下がるほど“満足”の割合が高くなっています。また、10 歳代で「ふつう」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 33　「スポーツ」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「スポーツ教室や大会の開催」の割合が 32.8%と最も高く、次いで「施設の利用手続きの簡素化」の割合が 24.2%、「大規模イベントの誘致」の割合が 23.6%となっています。

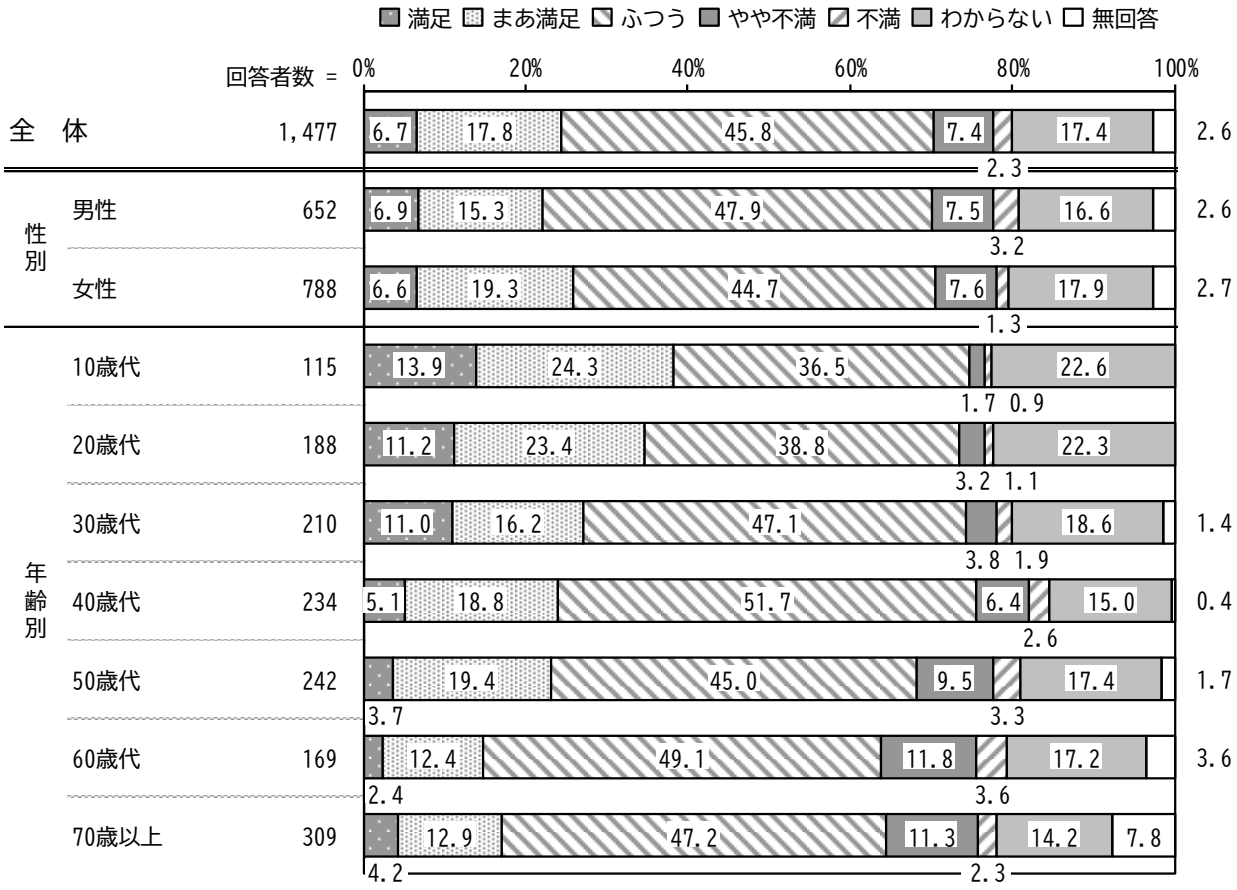


「文化・芸術」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

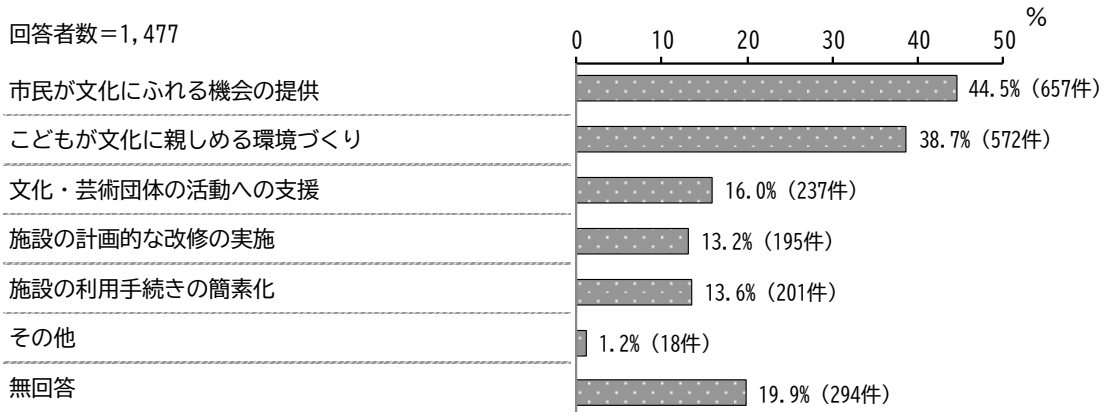
年齢別にみると、10 歳代から 60 歳代まで年齢が上がるほど“不満”の割合が高くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 34　「文化・芸術」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「市民が文化にふれる機会の提供」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「こどもが文化に親しめる環境づくり」の割合が 38.7%、「文化・芸術団体の活動への支援」の割合が 16.0%となっています。

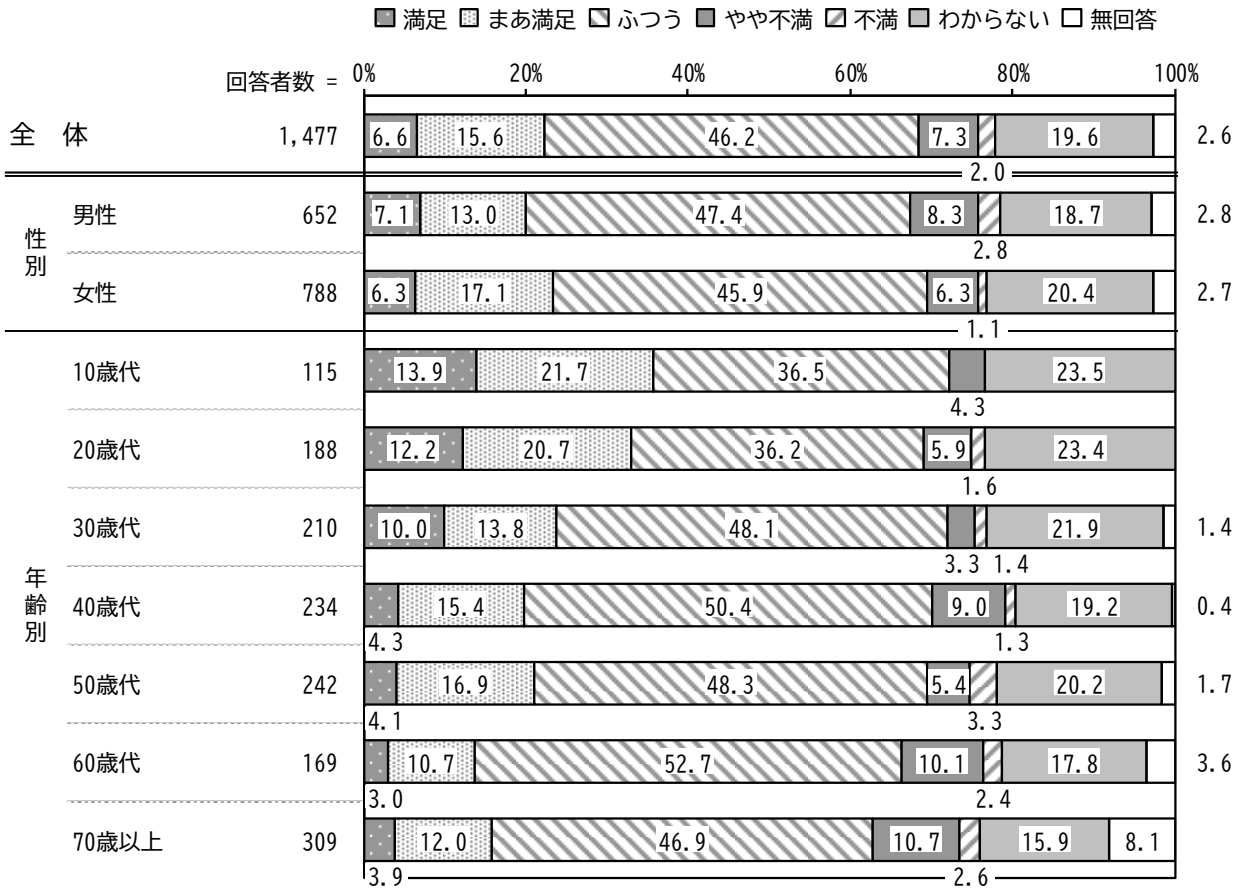


「生涯学習」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

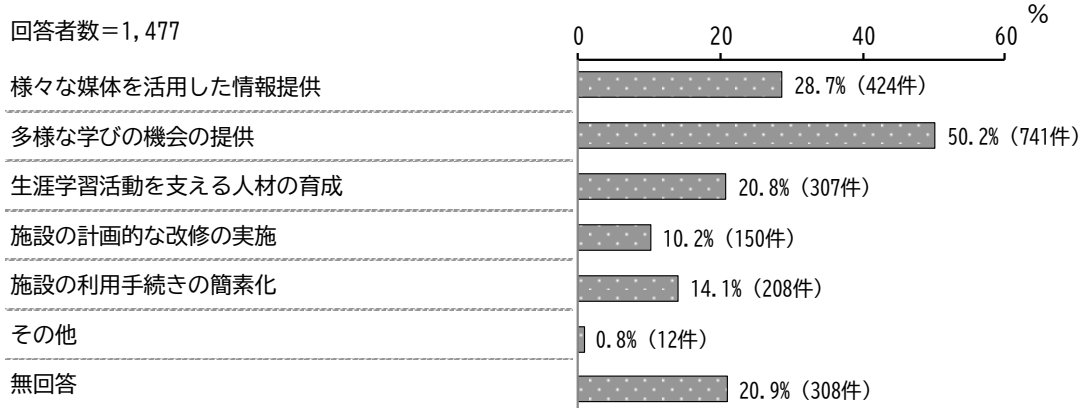
年齢別にみると、60 歳代から 10 歳代まで年齢が下がるほど“満足”の割合が高い傾向にあります。また、20 歳代で「ふつう」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 35　「生涯学習」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「多様な学びの機会の提供」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「様々な媒体を活用した情報提供」の割合が 28.7%、「生涯学習活動を支える人材の育成」の割合が 20.8%となっています。

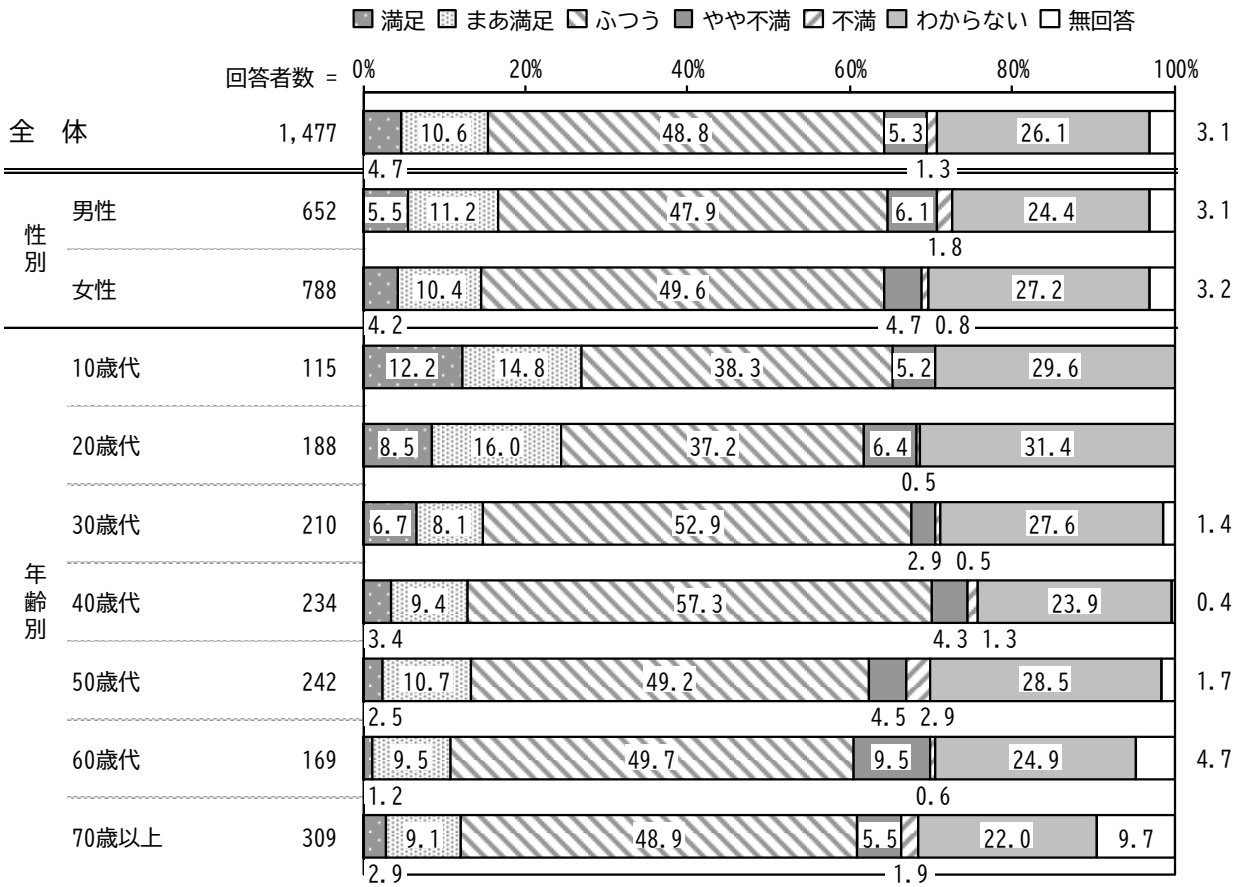


「男女共同参画」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

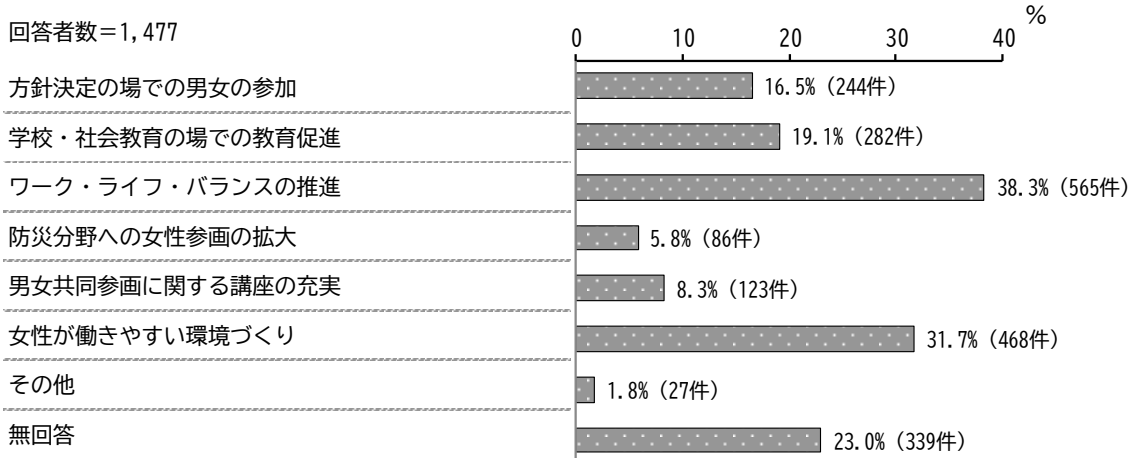
年齢別にみると、60 歳代から 10 歳代まで年齢が下がるほど“満足”の割合が高い傾向にあります。また、10 歳代、20 歳代で「ふつう」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 36　「男女共同参画」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「ワーク・ライフ・バランスの推進」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「女性が働きやすい環境づくり」の割合が 31.7%、「学校・社会教育の場での教育促進」の割合が 19.1%となっています。

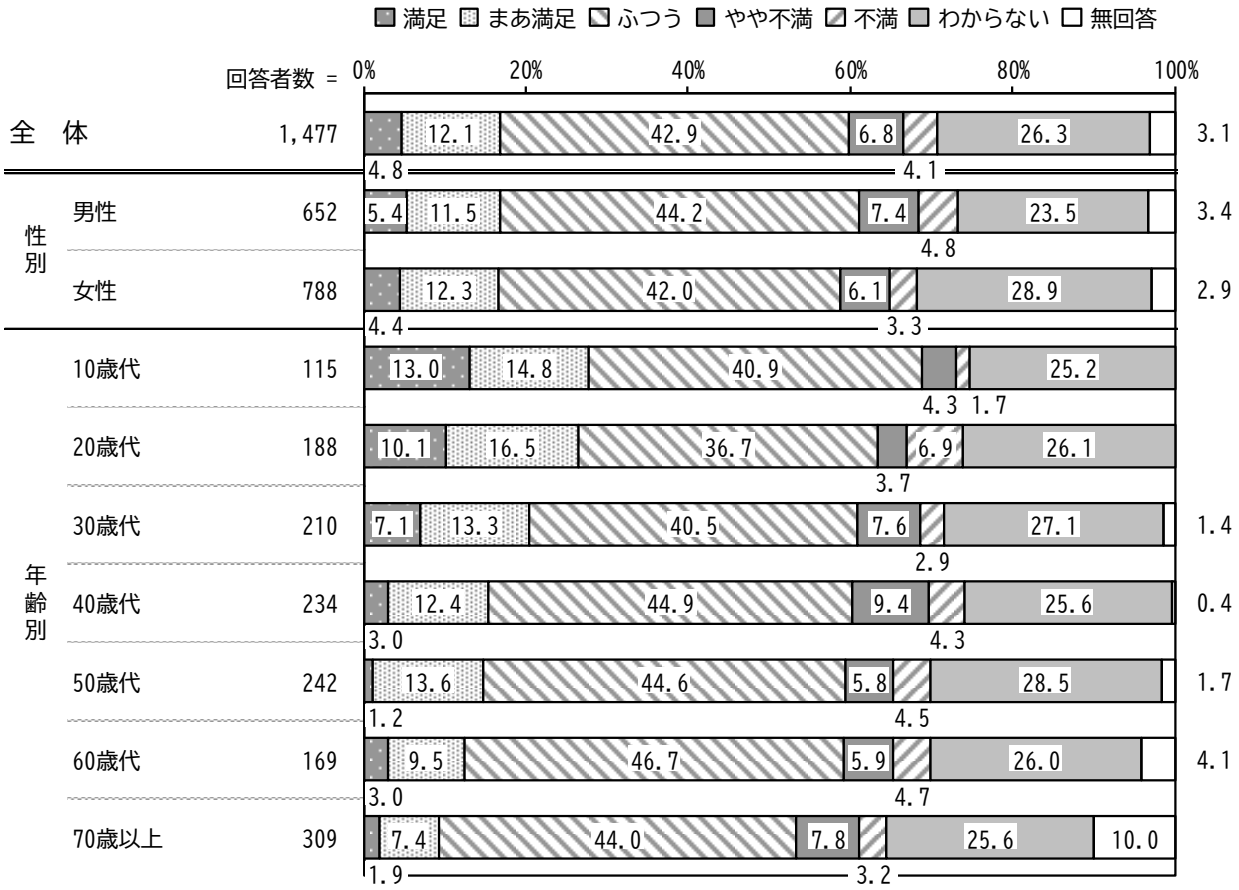


「多文化共生」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

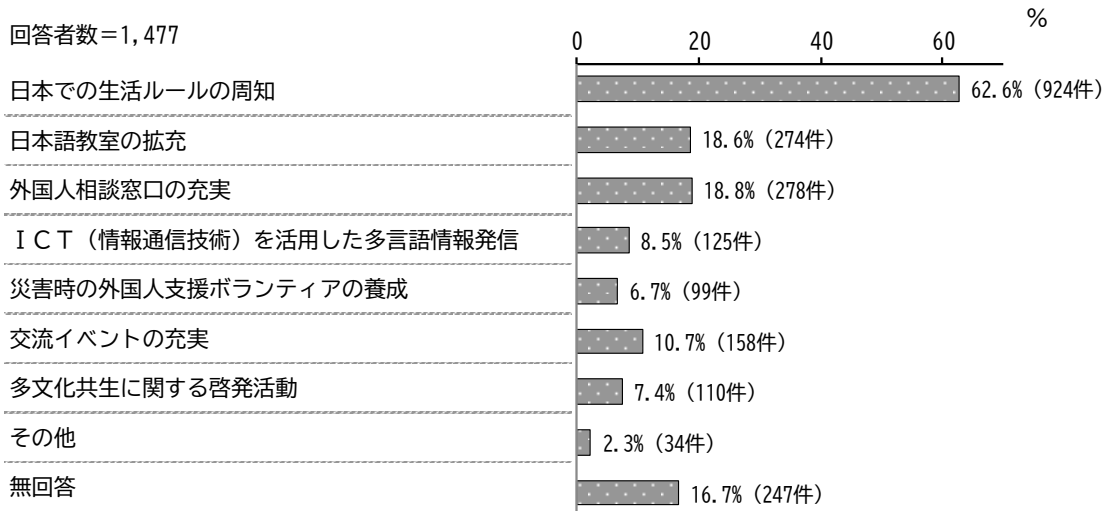
年齢別にみると、年齢が下がるほど“満足”の割合が高くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 37　「多文化共生」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「日本での生活ルールの周知」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「外国人相談窓口の充実」の割合が 18.8%、「日本語教室の拡充」の割合が 18.6%となっています。

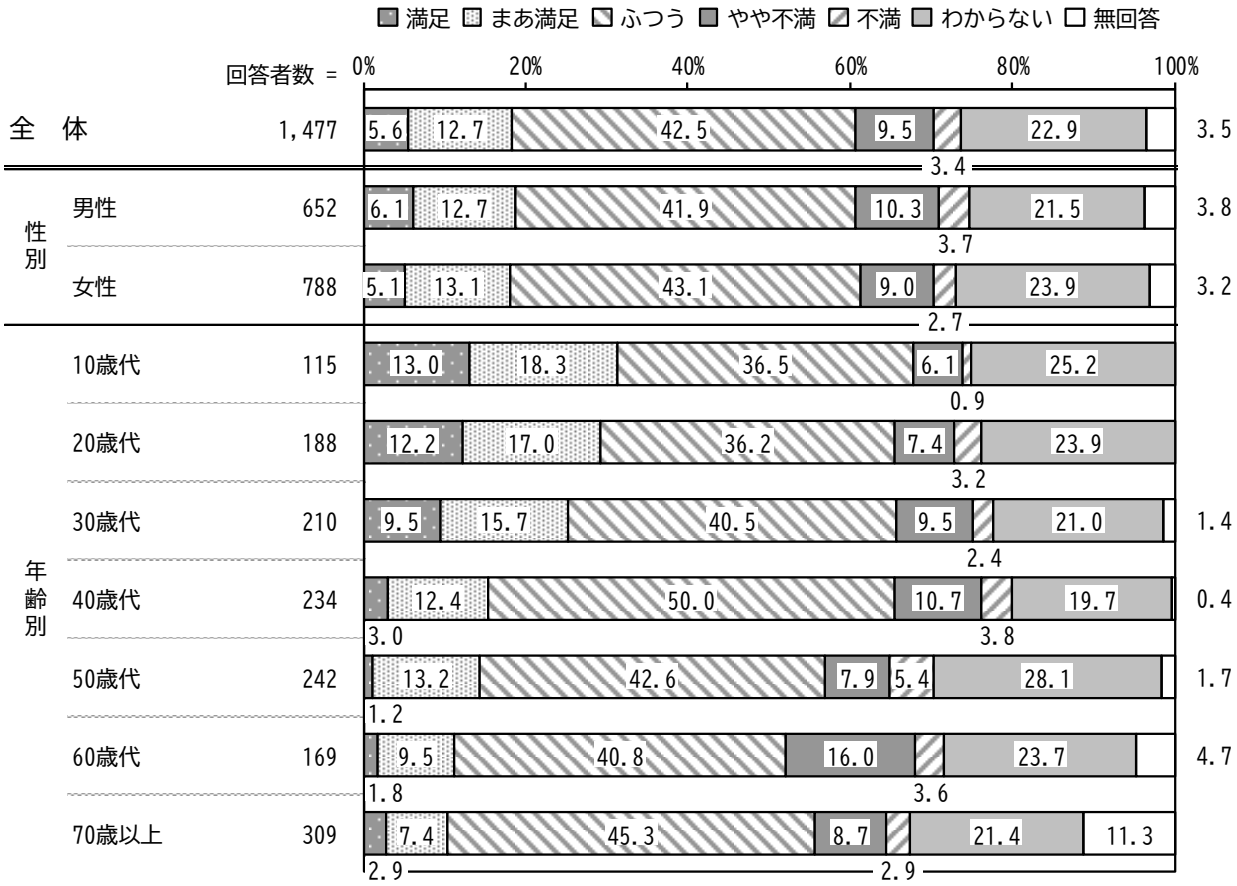


「シティプロモーション」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

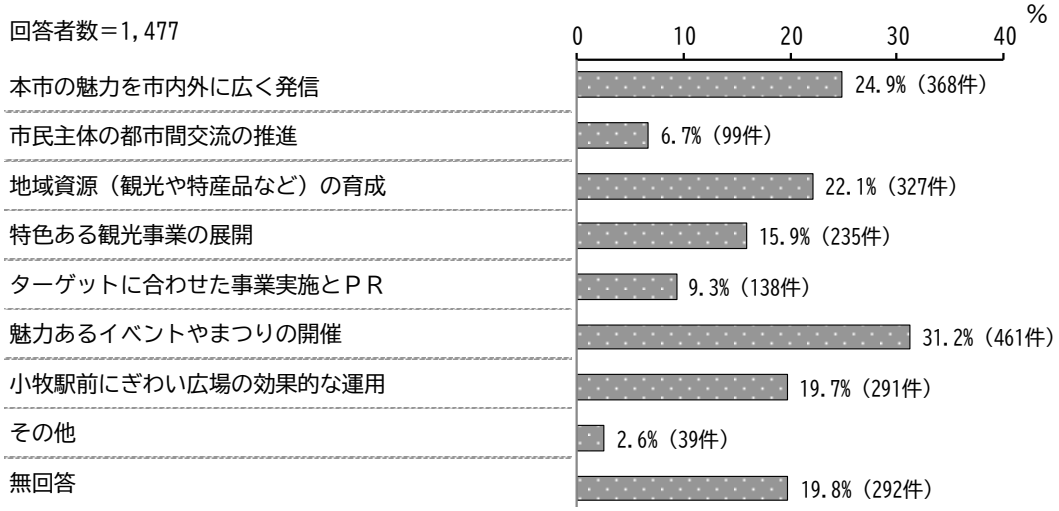
年齢別にみると、年齢が下がるほど“満足”の割合が高くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 38　「シティプロモーション」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「魅力あるイベントやまつりの開催」の割合が 31.2%と最も高く、次いで「本市の魅力を市内外に広く発信」の割合が 24.9%、「地域資源（観光や特産品など）の育成」の割合が 22.1%となっています。

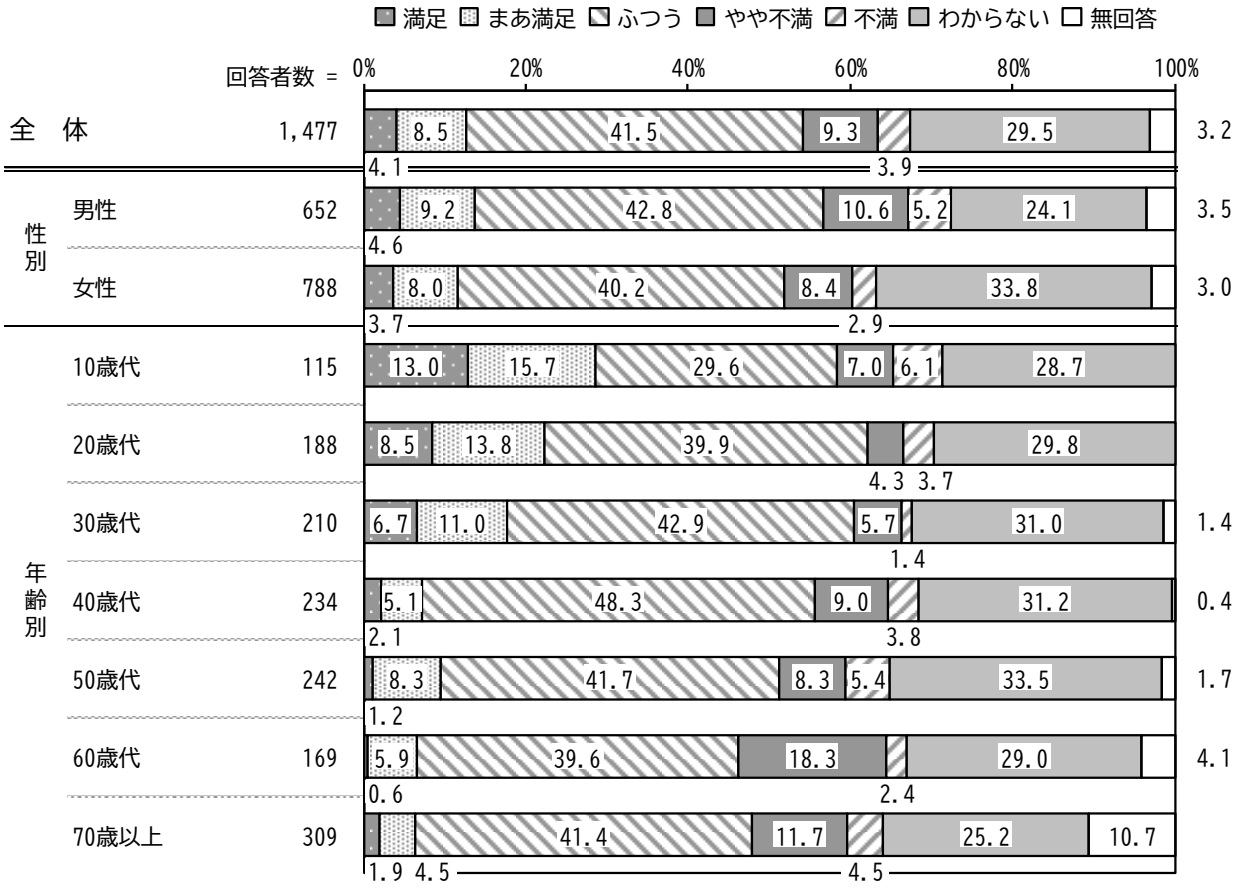


「農業」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

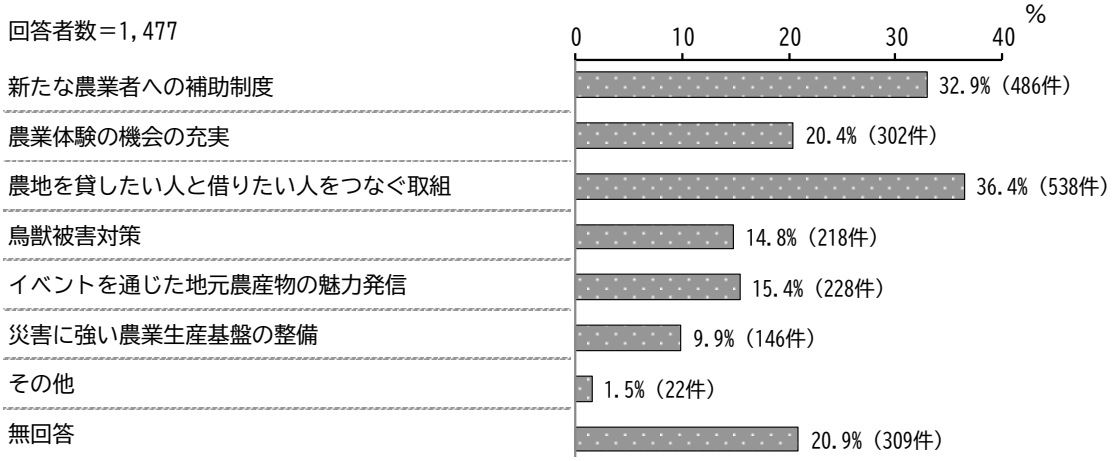
年齢別にみると、年齢が下がるほど“満足”の割合が高い傾向にあります。また、10 歳代で「ふつう」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 39　「農業」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「農地を貸したい人と借りたい人をつなぐ取組」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「新たな農業者への補助制度」の割合が 32.9%、「農業体験の機会の充実」の割合が 20.4%となっています。

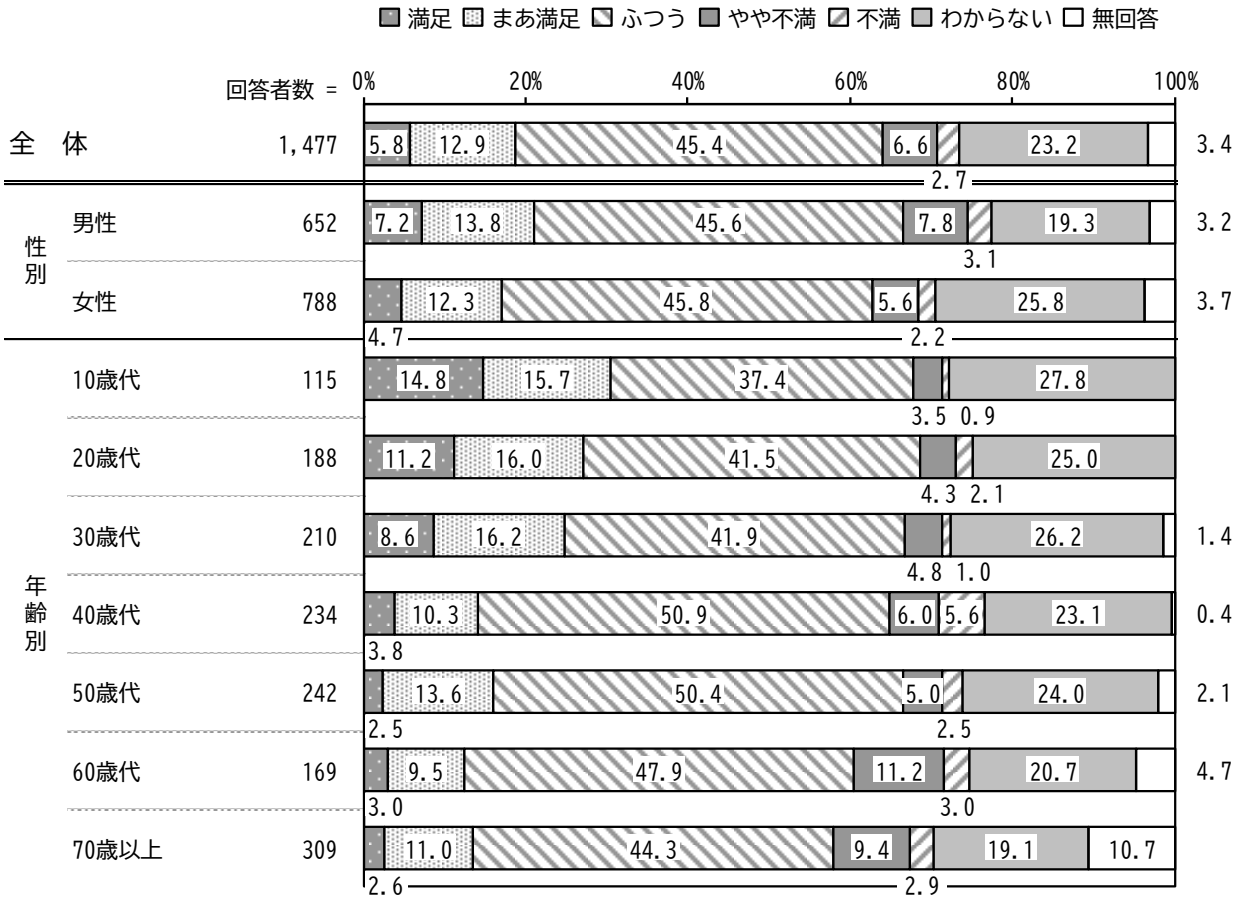


「商工業」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

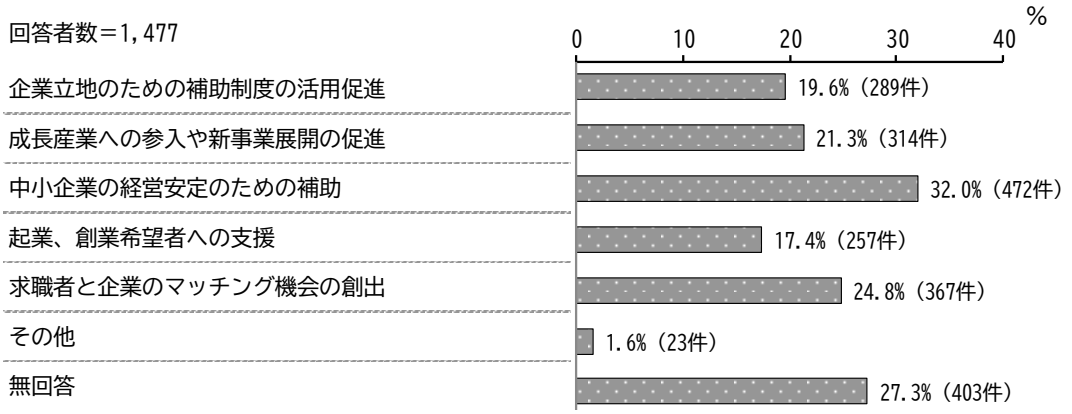
年齢別にみると、60 歳代から 10 歳代まで年齢が下がるほど“満足”の割合が高い傾向にあります。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 40　「商工業」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「中小企業の経営安定のための補助」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「求職者と企業のマッチング機会の創出」の割合が 24.8%、「成長産業への参入や新事業展開の促進」の割合が 21.3%となっています。

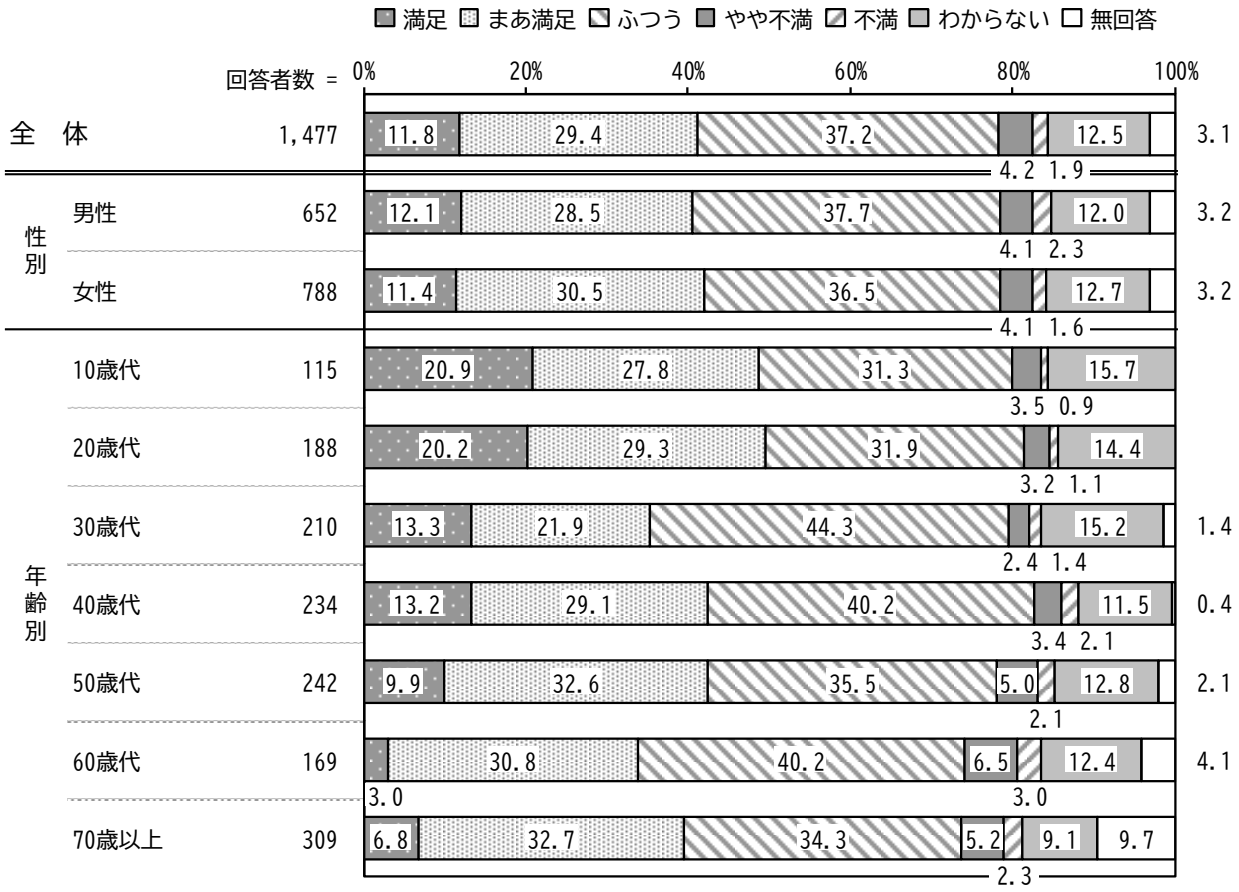


「歴史・文化財」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

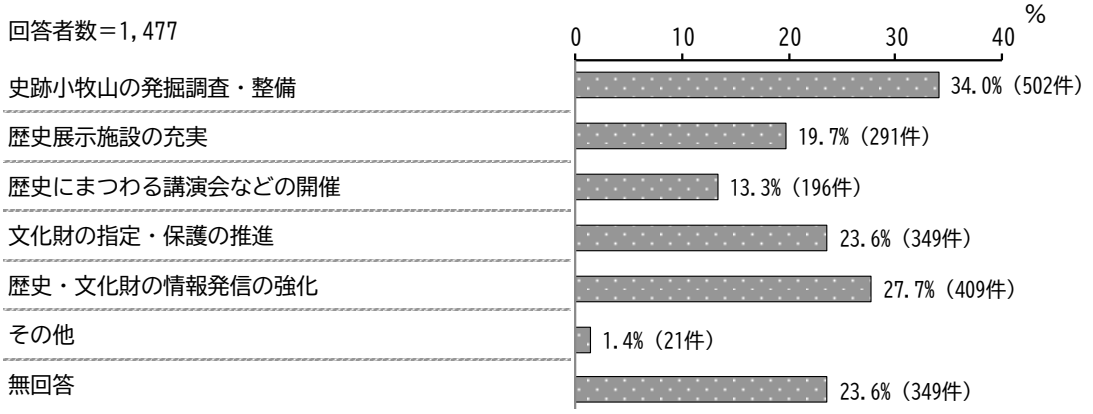
年齢別にみると、60 歳代から 10 歳代まで年齢が下がるほど「満足」の割合が高く、30 歳代から 70 歳以上まで年齢が上がるほど「まあ満足」の割合が高い傾向にあります。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 41　「歴史・文化財」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「史跡小牧山の発掘調査・整備」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「歴史・文化財の情報発信の強化」の割合が 27.7%、「文化財の指定・保護の推進」の割合が 23.6%となっています。

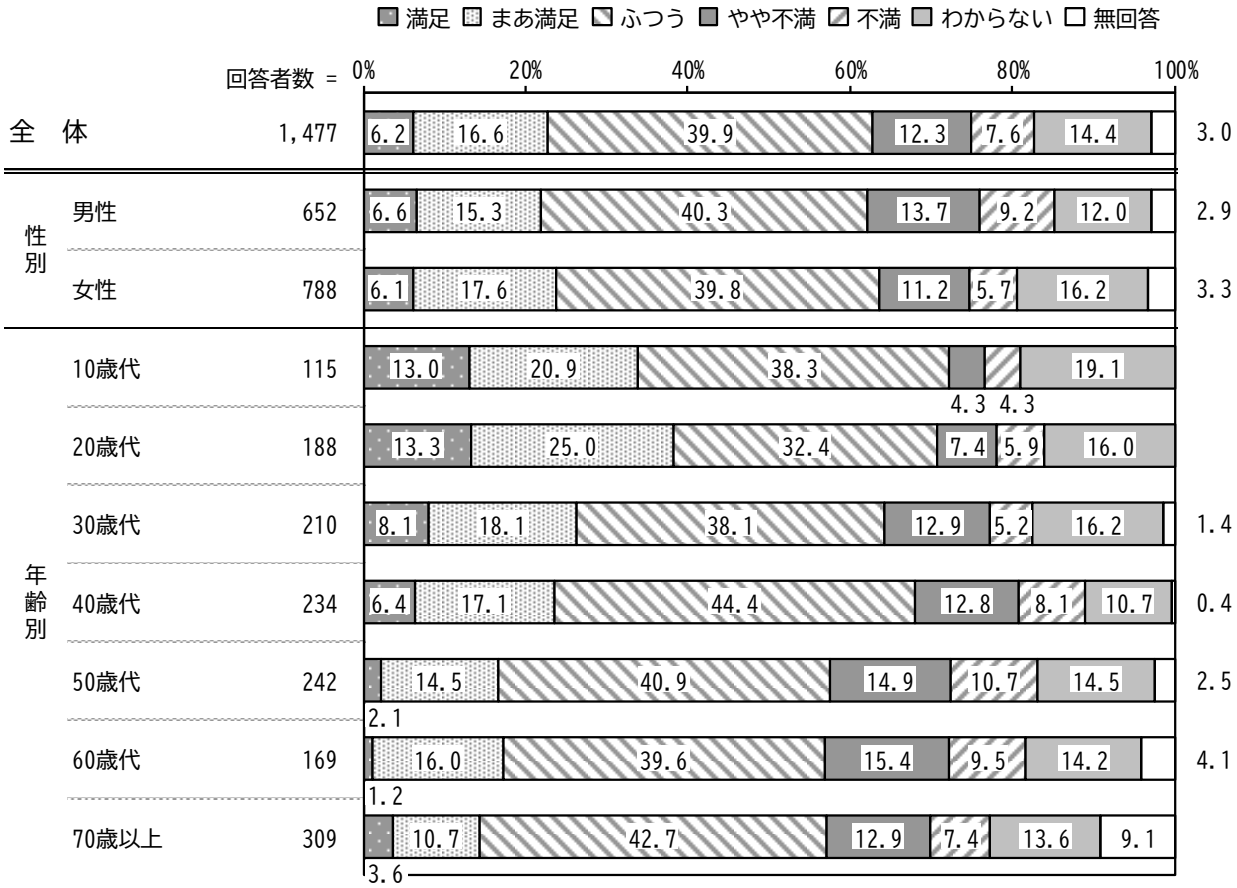


「市街地整備」

【性・年齢別】

性別にみると、男性で“不満”の割合が高くなっています。

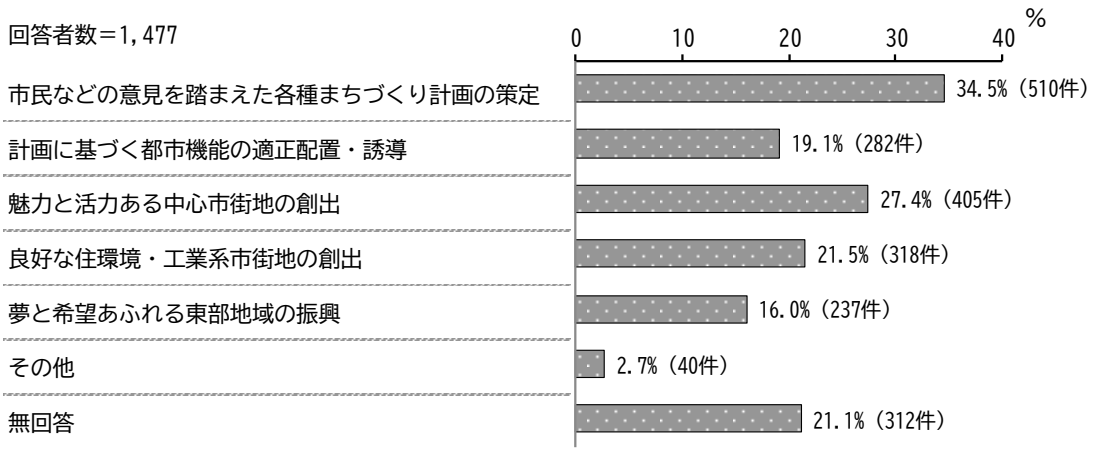
年齢別にみると、70 歳以上から 20 歳代まで年齢が下がるほど“満足”の割合が高い傾向にあります。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 42 「市街地整備」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「市民などの意見を踏まえた各種まちづくり計画の策定」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「魅力と活力ある中心市街地の創出」の割合が 27.4%、「良好な住環境・工業系市街地の創出」の割合が 21.5%となっています。

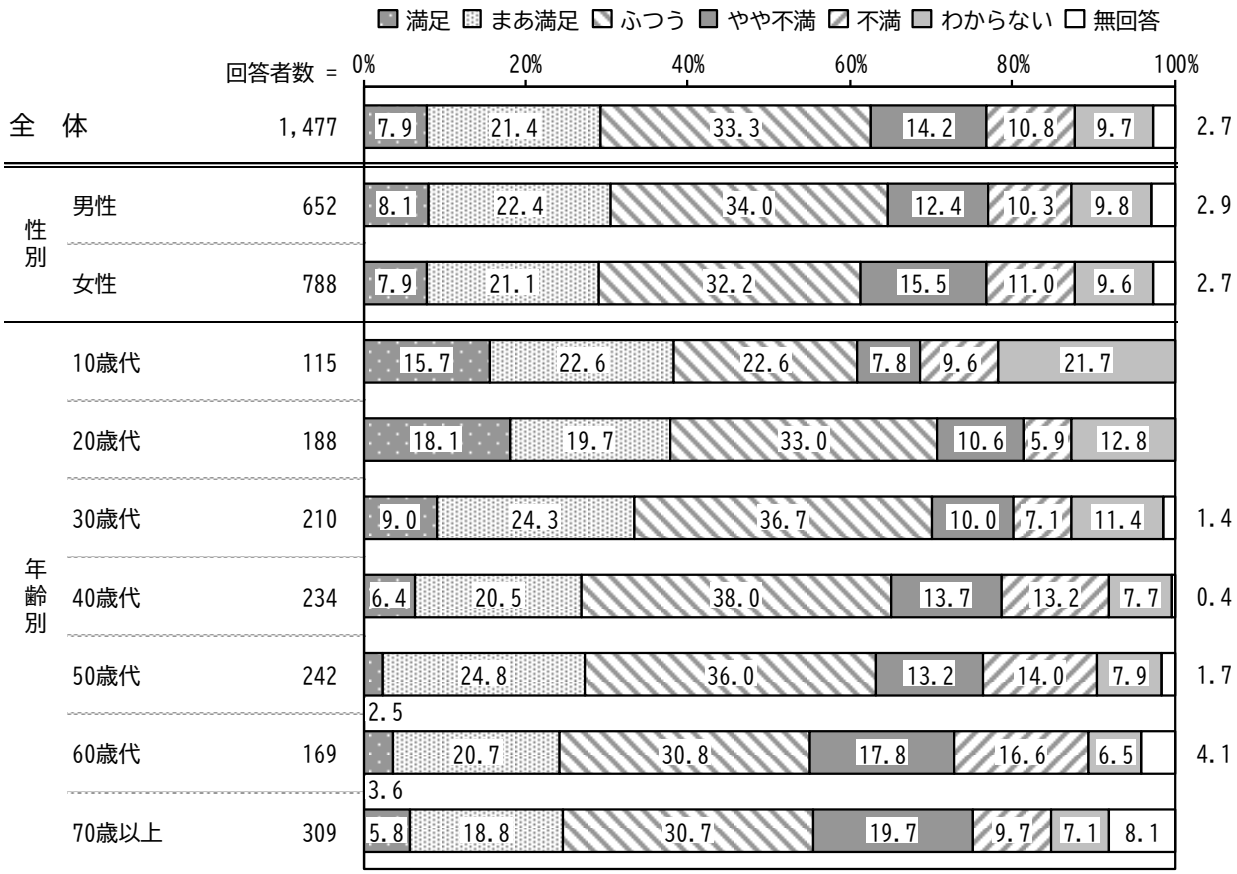


「都市交通」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

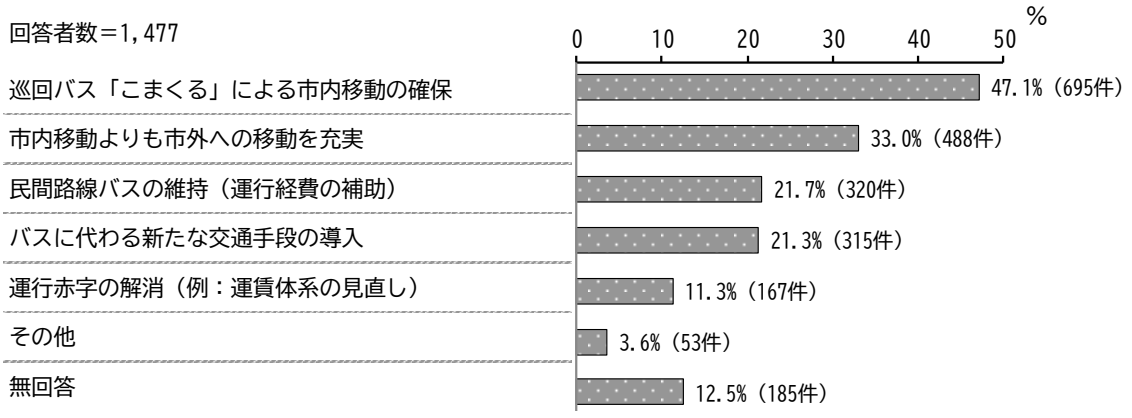
年齢別にみると、60 歳代から 10 歳代まで年齢が下がるほど“満足”の割合が高い傾向にあります。また、10 歳代で「ふつう」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 43 「都市交通」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「巡回バス「こまくる」による市内移動の確保」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「市内移動よりも市外への移動を充実」の割合が 33.0%、「民間路線バスの維持（運行経費の補助）」の割合が 21.7%となっています。

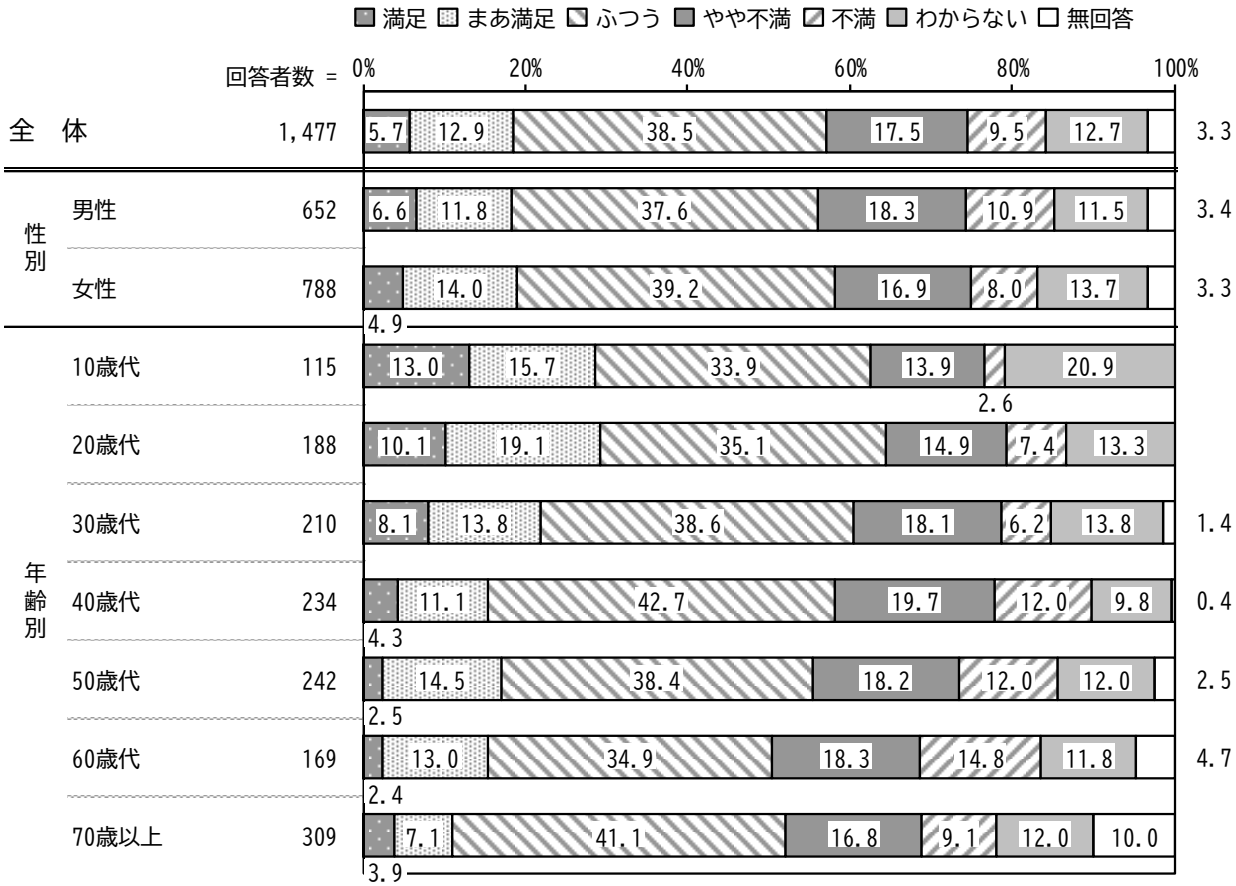


「道路・橋りょう」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

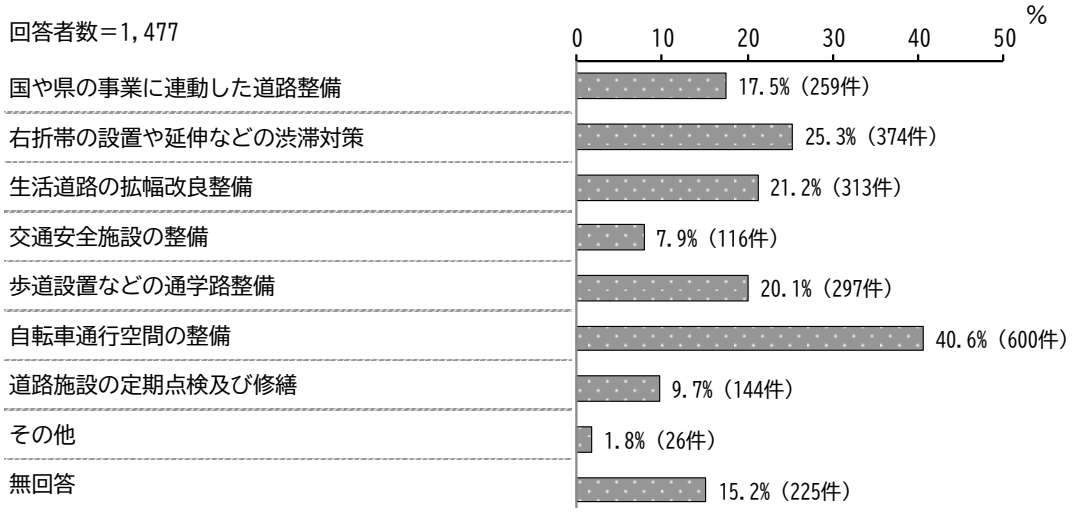
年齢別にみると、10 歳代から 60 歳代まで年齢が上がるほど“不満”の割合が高い傾向にあります。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 44　「道路・橋りょう」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「自転車通行空間の整備」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「右折帯の設置や延伸などの渋滞対策」の割合が 25.3%、「生活道路の拡幅改良整備」の割合が 21.2%となっています。

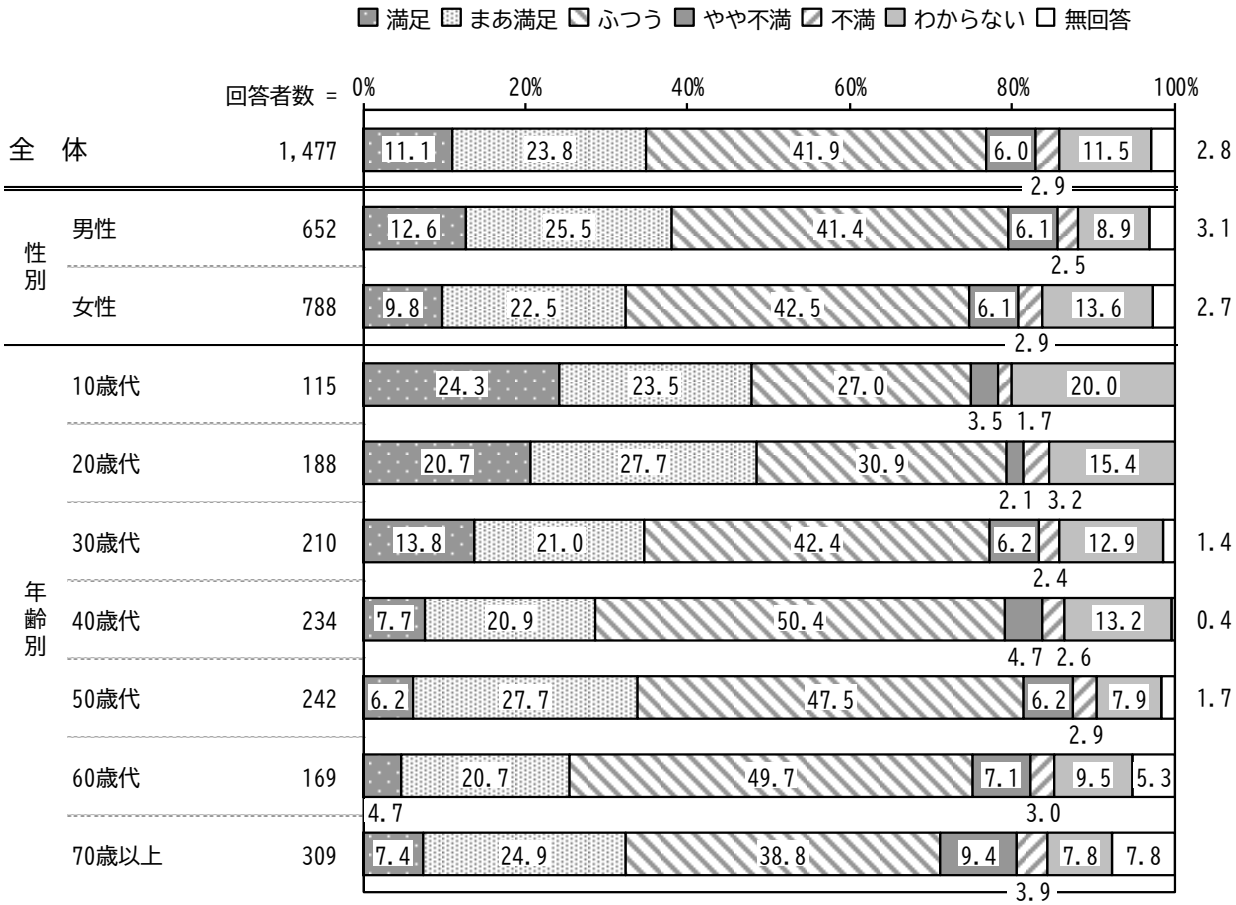


「上下水道」

【性・年齢別】

性別にみると、男性で“満足”の割合が高くなっています。

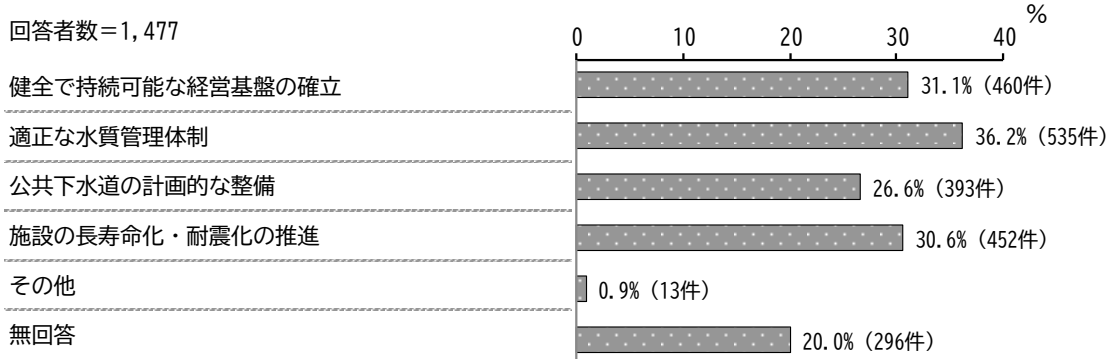
年齢別にみると、60 歳代から 10 歳代まで年齢が下がるほど「満足」の割合が高く、10 歳代から 40 歳代まで年齢が上がるほど「ふつう」の割合が高くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 45 「上下水道」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「適正な水質管理体制」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「健全で持続可能な経営基盤の確立」の割合が 31.1%、「施設の長寿命化・耐震化の推進」の割合が 30.6%となっています。

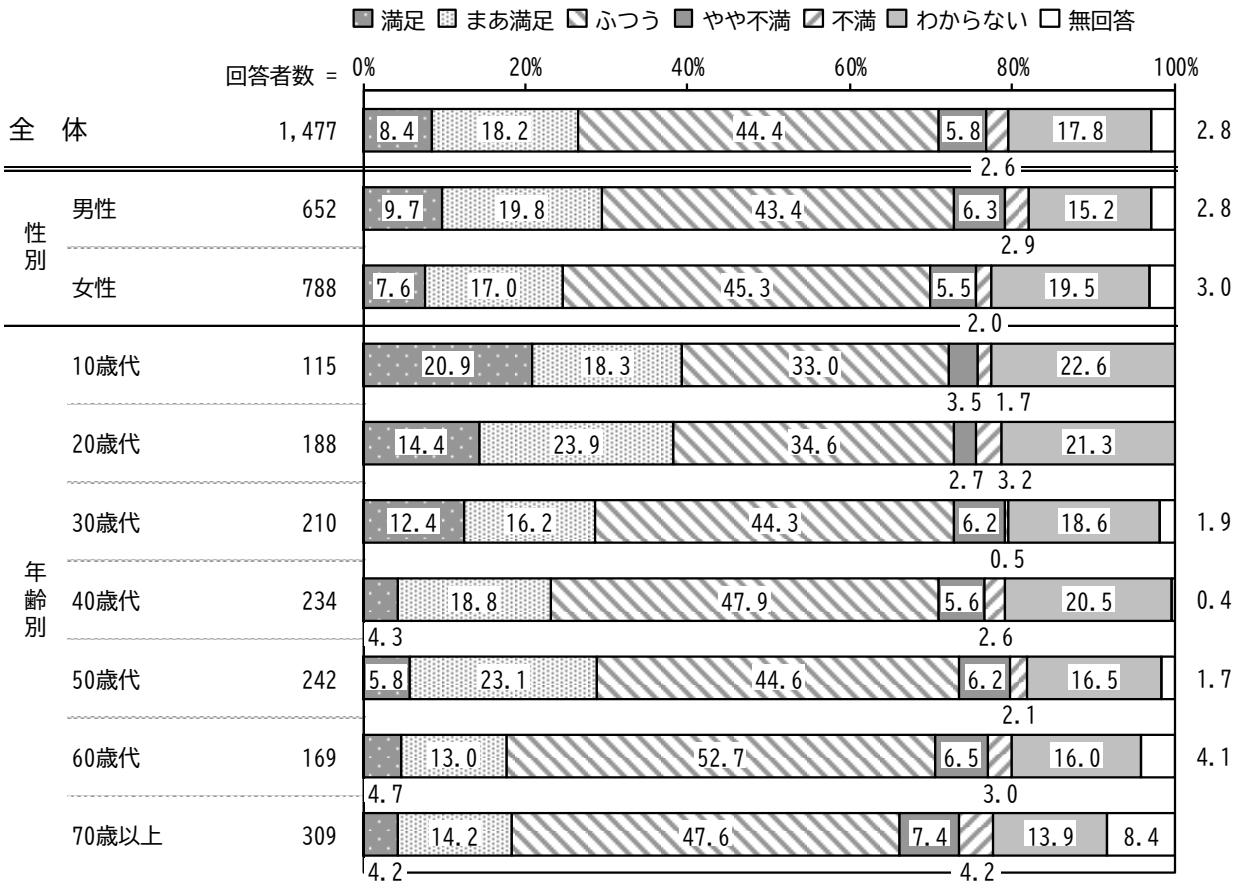


「河川・水路」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

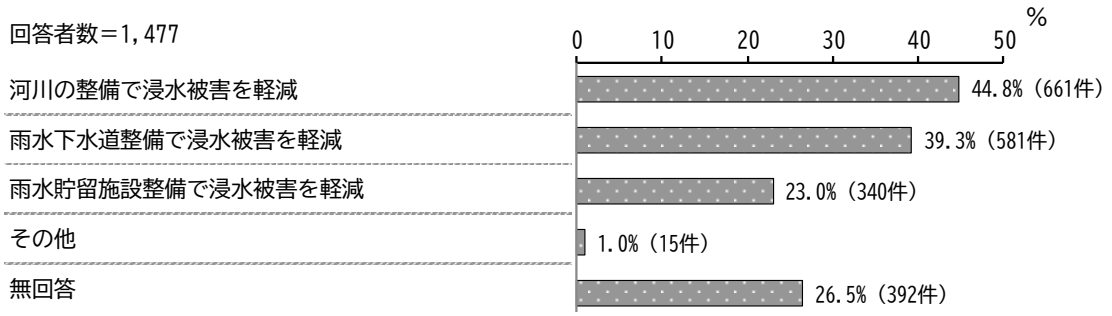
年齢別にみると、40 歳代から 10 歳代まで年齢が下がるほど“満足”の割合が高くなっています。また、10 歳代で「ふつう」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 46　「河川・水路」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「河川の整備で浸水被害を軽減」の割合が 44.8%、「雨水下水道整備で浸水被害を軽減」の割合が 39.3%、「雨水貯留施設整備で浸水被害を軽減」の割合が 23.0%となっています。

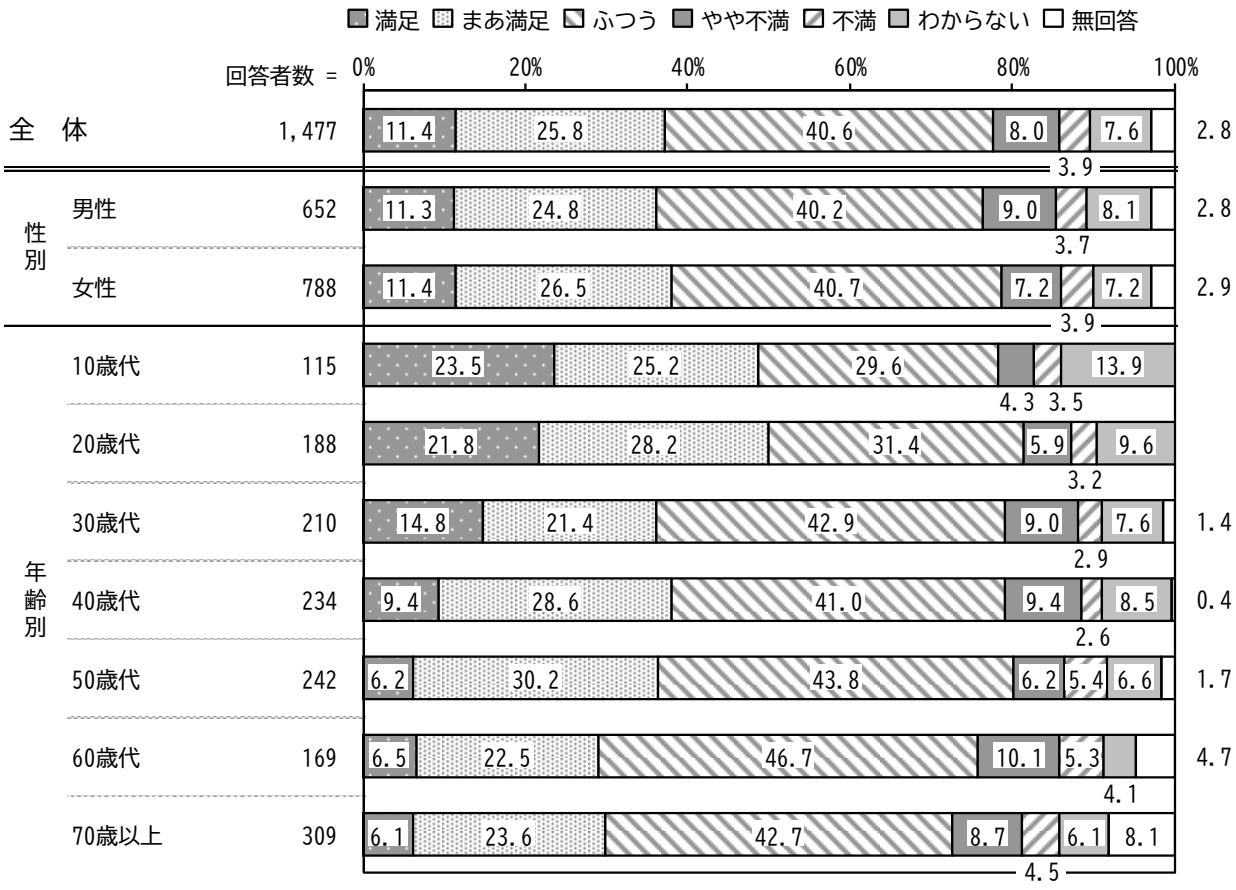


「公園・緑地・緑道」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

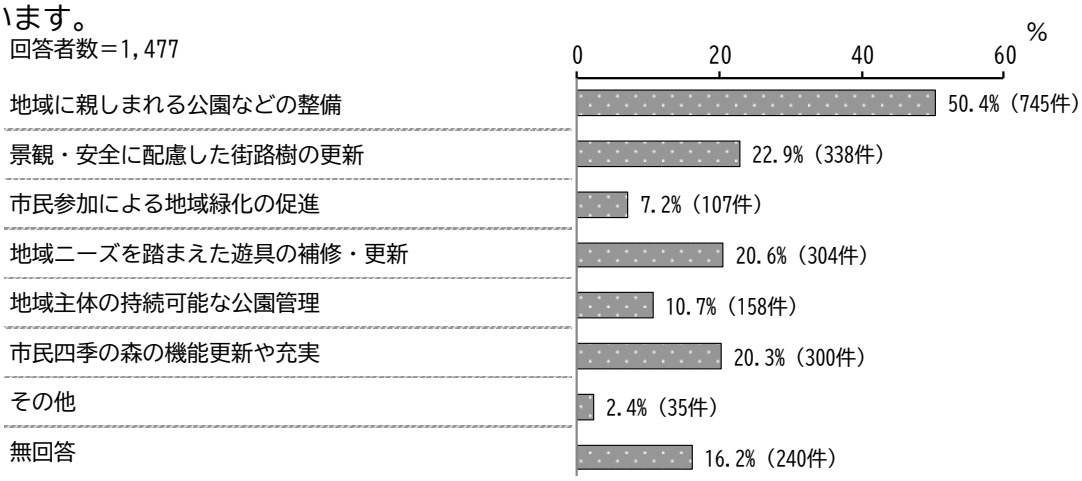
年齢別にみると、年齢が下がるほど「満足」の割合が高い傾向にあり、10 歳代から 60 歳代まで年齢が上がるほど「ふつう」の割合が高い傾向にあります。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 47　「公園・緑地・緑道」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「地域に親しまれる公園などの整備」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「景観・安全に配慮した街路樹の更新」の割合が 22.9%、「地域ニーズを踏まえた遊具の補修・更新」の割合が 20.6%となっています。

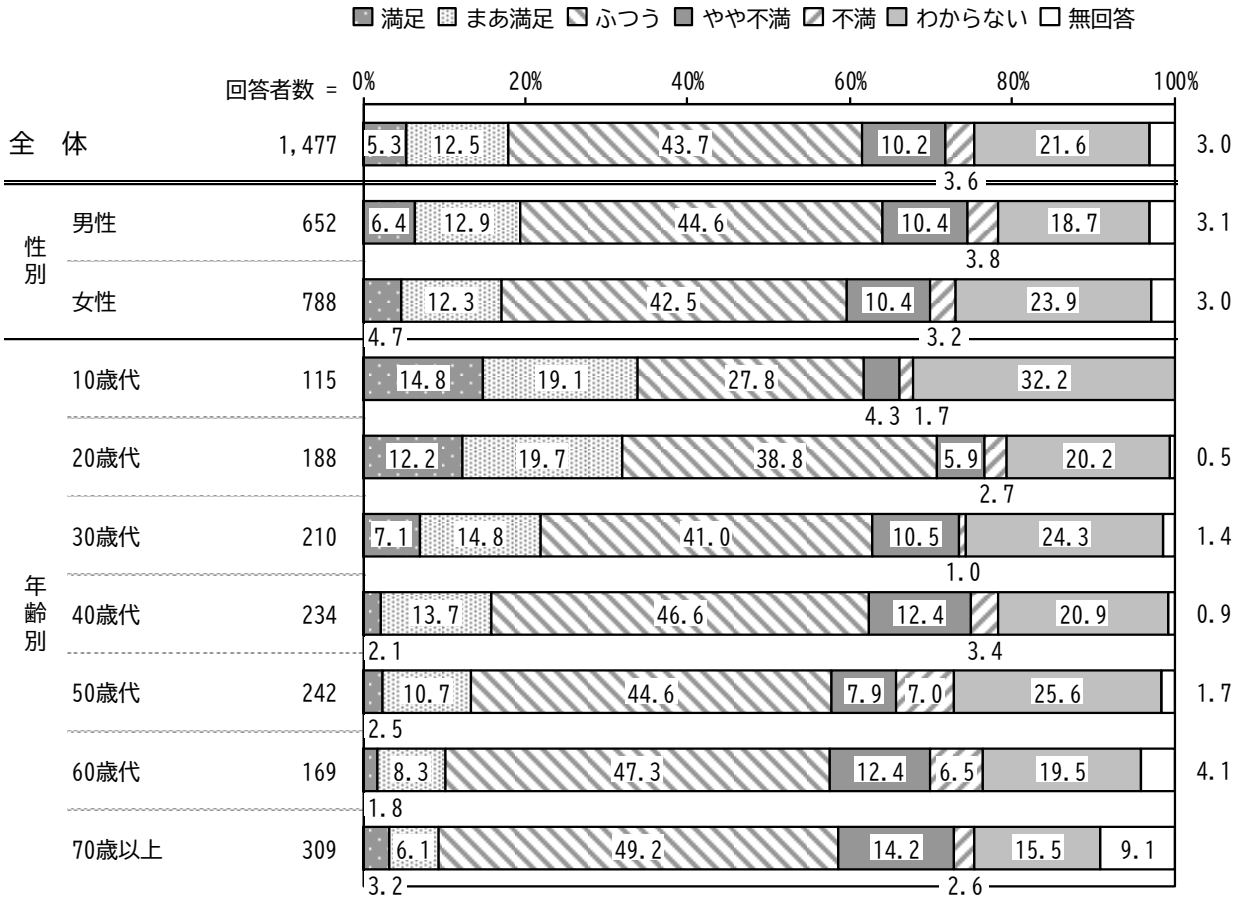


「住宅・居住」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

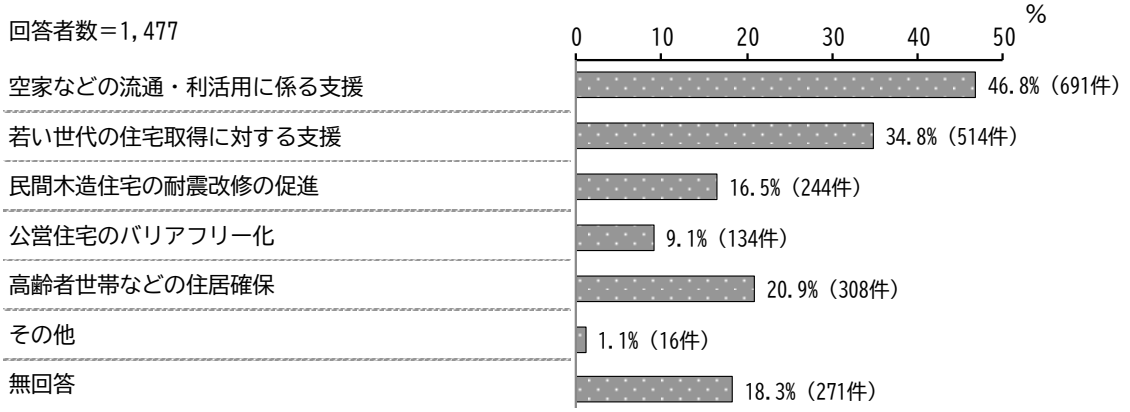
年齢別にみると、年齢が下がるほど“満足”の割合が高くなっています。また、10 歳代で「ふつう」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 48　「住宅・居住」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「空家などの流通・利活用に係る支援」の割合が 46.8%と最も高く、次いで「若い世代の住宅取得に対する支援」の割合が 34.8%、「高齢者世帯などの住居確保」の割合が 20.9%となっています。

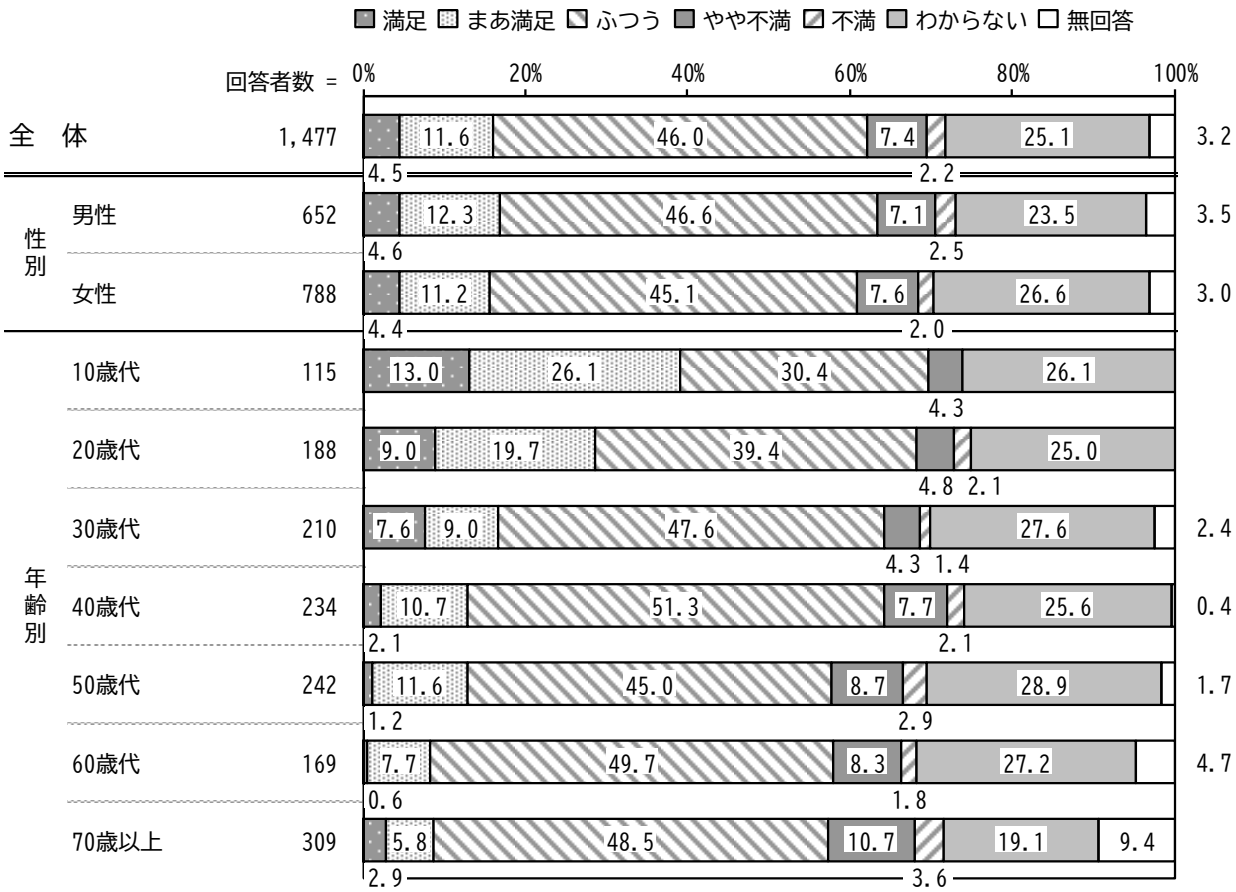


「協働・情報共有」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

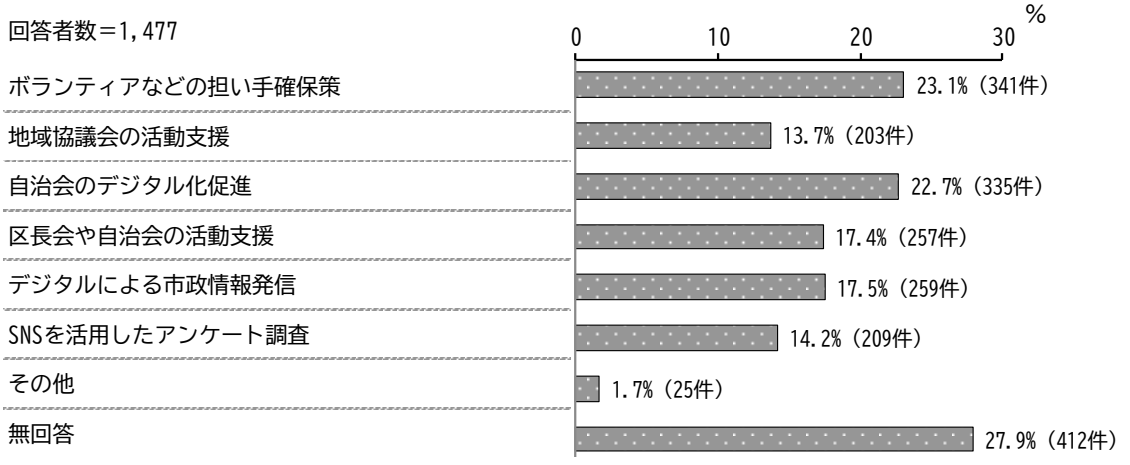
年齢別にみると、60 歳代から 10 歳代まで年齢が下がるほど“満足”の割合が高い傾向にあります。また、10 歳代で「まあ満足」の割合が高く、「ふつう」の割合が低くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 49　「協働・情報共有」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「ボランティアなどの担い手確保策」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「自治会のデジタル化促進」の割合が 22.7%、「デジタルによる市政情報発信」の割合が 17.5%となっています。

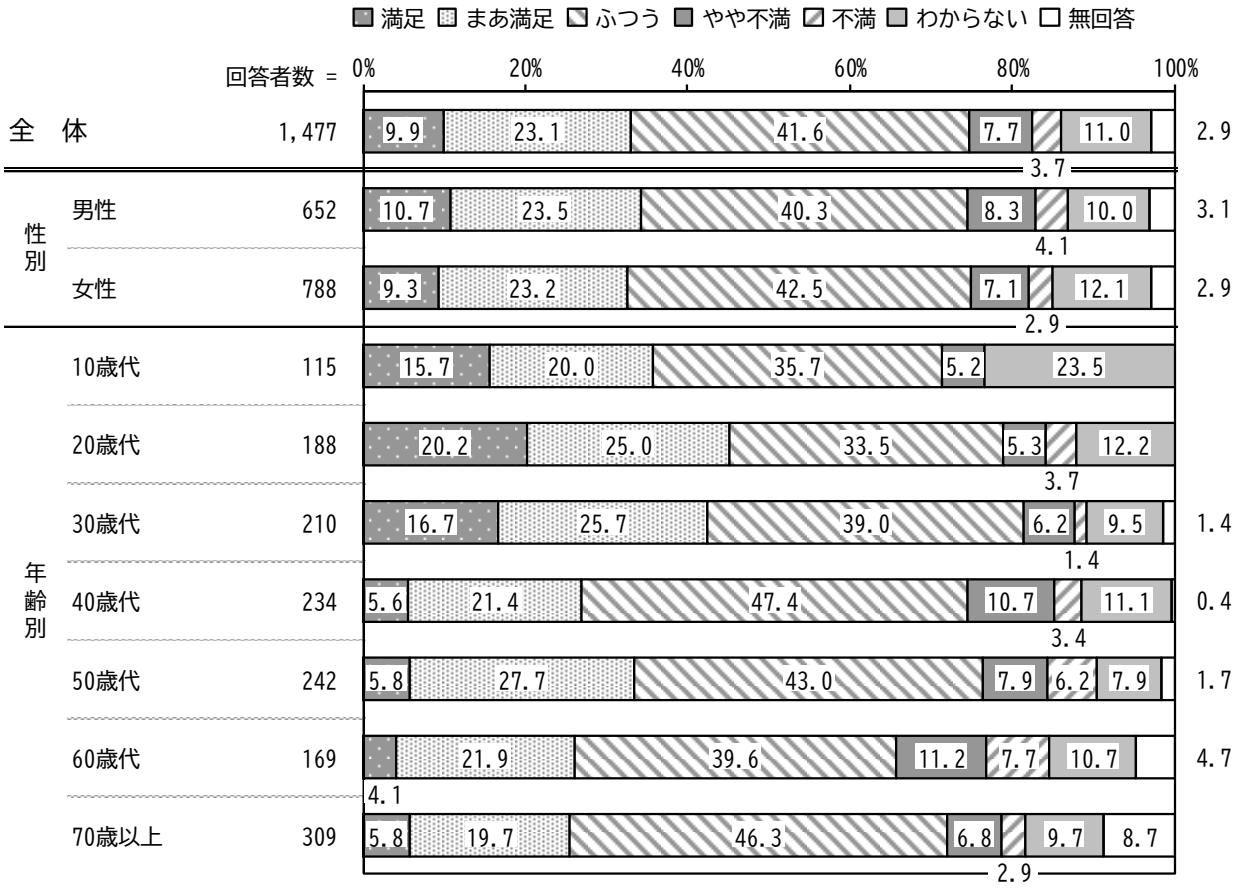


「行政サービス」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

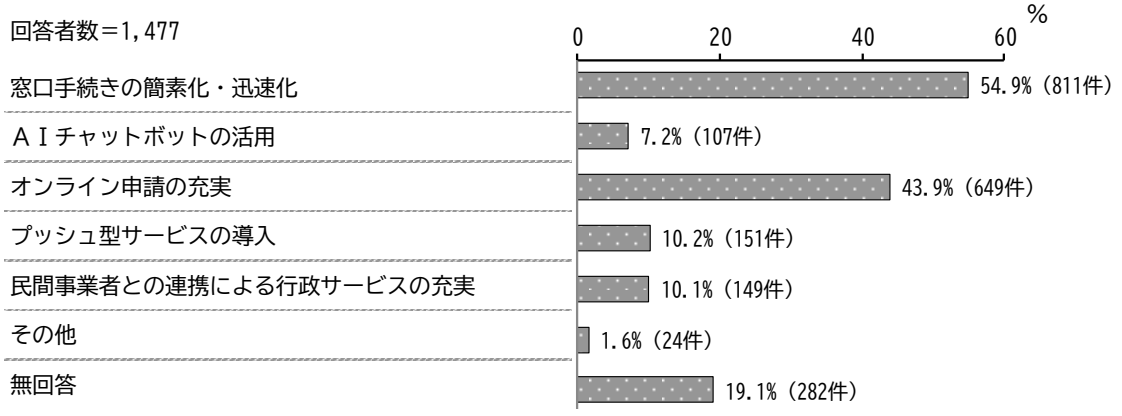
年齢別にみると、10 歳代から 60 歳代まで年齢が上がるほど“不満”の割合が高い傾向にあります。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 50　「行政サービス」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「窓口手続きの簡素化・迅速化」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「オンライン申請の充実」の割合が 43.9%、「プッシュ型サービスの導入」の割合が 10.2%となっています。

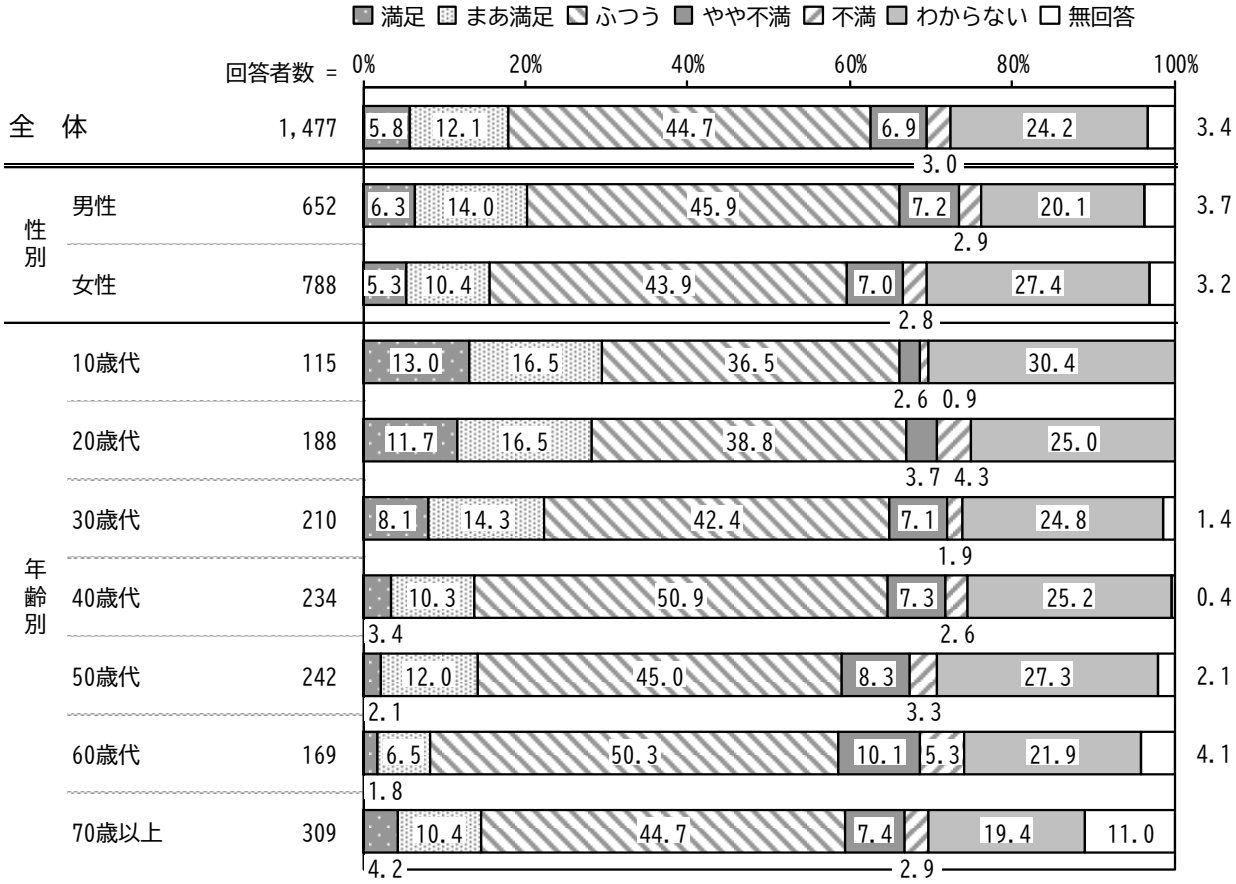


「行政運営」

【性・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

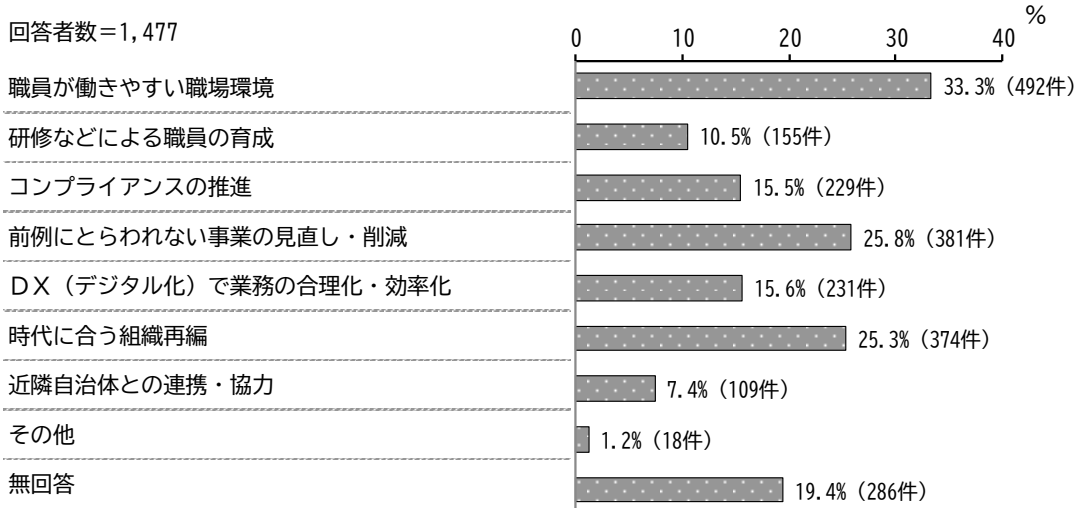
年齢別にみると、10 歳代から 60 歳代まで年齢が上がるほど“不満”の割合が高くなっています。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 51　「行政運営」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「職員が働きやすい職場環境」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「前例にとらわれない事業の見直し・削減」の割合が 25.8%、「時代に合う組織再編」の割合が 25.3%となっています。

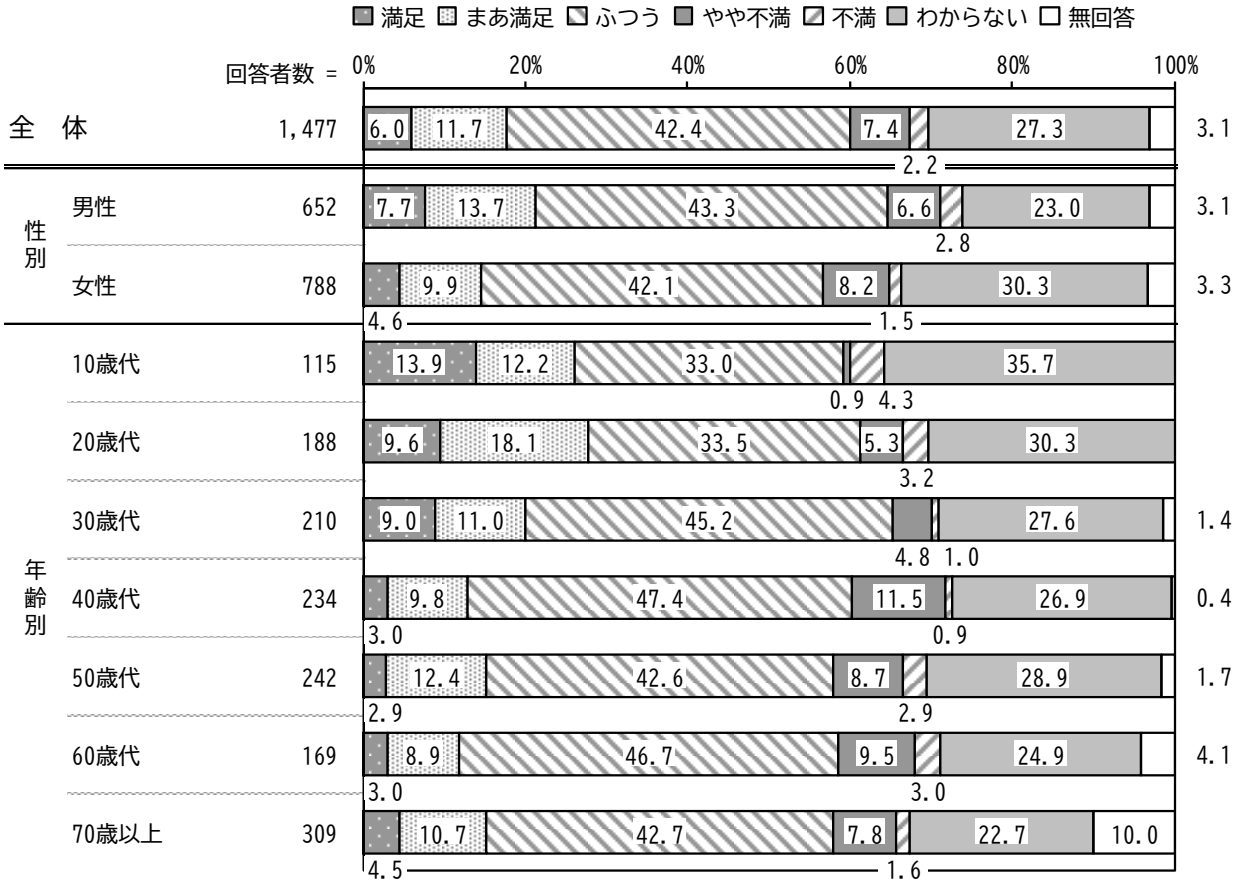


「財政運営」

【性・年齢別】

性別にみると、男性で“満足”の割合が高くなっています。

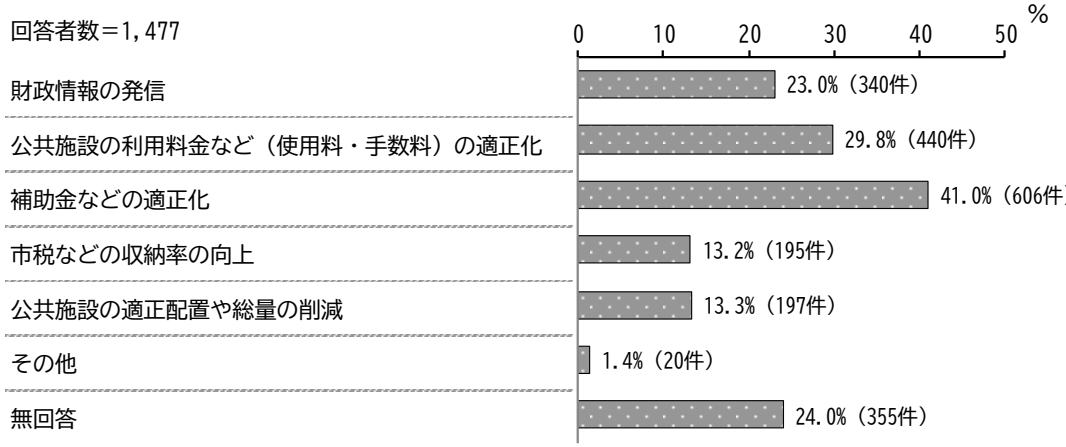
年齢別にみると、60 歳代から 20 歳代まで年齢が下がるほど“満足”の割合が高い傾向にあります。



わからない・判断がつかない場合は、○なしで回答してください。

問 52　「財政運営」について、今後より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

「補助金などの適正化」の割合が 41.0%と最も高く、次いで「公共施設の利用料金など（使用料・手数料）の適正化」の割合が 29.8%、「財政情報の発信」の割合が 23.0%となっています。



問 53　小牧市のまちづくりについて、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

意見を分類すると以下のようになっています。

No	内容	件数
1	子育て・保育支援の拡充	30 件
2	学校教育・部活動の充実	8 件
3	公園・レジャー・スポーツ施設の整備・再開	16 件
4	観光・史跡・イベント・賑わい創出	58 件
5	公共交通（バス・電車）の充実・見直し	44 件
6	道路整備・道路環境・渋滞対策	37 件
7	自転車・歩行者の安全対策・道幅確保	18 件
8	治安・防犯・外国人施策・環境衛生	44 件
9	高齢者・障害者・医療・福祉の充実	20 件
10	地域振興・地域格差是正・自治会運営	35 件
11	行政運営・税金・情報発信・アンケートへの要望	41 件
12	小牧市の住みやすさ評価・感謝・応援	36 件
13	その他	7件

まちづくり調査　結果報告書

発行年月：令和８年 11 月
発　　行：小牧市市長公室秘書政策課
〒485-8650
愛知県小牧市堀の内三丁目１番地
電　　話：0568-76-1105